上下水道事業年報

令　和　４　年　度

桑名市上下水道部

桑名市の概要

桑名市の概要

桑名市は、平成 16 年 12 月６日に、旧桑名市・多度町・長島町の１市２町が合併して誕生しました。

市域は、右図のとおり三重県の北部に位置し、名古屋市から 25km 圏にあり、東は愛知県、北は岐阜県に接し、南は伊勢湾や四日市圏域に接しています。

地形は、養老山系南東部に位置する山地・丘陵地帯と、伊勢湾に流れる木曽三川と員弁川がつくる沖積平野、木曽川・長良川によってつくられた輪中に代表される低く平坦な水郷地帯により形成されています。

また、西部丘陵地には名古屋圏でも有数の住宅団地や工業団地が形成されています。

このように、この地域は古くから東海道の要衝、多度大社の門前、水郷のまちとして、共通する経済圏・生活圏のなかで、多様な歴史と文化を育みながら三重県の北の玄関として発展を続けてまいりました。

【三重県全図】

桑名市（令和５年３月末）

・面積　　１３６．６５ km²
・人口　　１３９，１６９ 人
・世帯数　　６１，１００ 世帯

水道事業			
創設認可	明治 37 年	６月	１日
供用開始	大正 13 年	10 月	13 日
下水道事業（法適用）			
建設事業開始	昭和 35 年	12 月	27 日
供用開始（汚水）	昭和 54 年	４月	１日
法適用	平成 22 年	４月	１日
農業集落排水事業（法非適用）			
特別会計設置	平成 ４年	４月	１日
供用開始	平成 ８年	４月	９日

目　　次

第１編　機構

(1)　上下水道部機構図 …… 1
(2)　職員配置状況 …… 1
(3)　事務分掌 …… 2
(4)　職員構成 …… 4

第２編　水道事業

１　水道事業の創設と沿革

(1)　創設 …… 5
(2)　沿革 …… 7
(3)　認可経緯 …… 11

２　施　設　概　要

(1)　桑名地区 …… 18
(2)　多度地区 …… 24
(3)　長島地区 …… 26
(4)　水道施設一覧表 …… 27
(5)　桑名市上水道給水区域図 …… 28

３　業　務　状　況

(1)　水道水源取水内訳 …… 30
(2)　取水量・受水量・配水量の推移 …… 31
(3)　薬品使用量、動力用電力使用量及び電力料金 …… 32
(4)　事業の推移状況 …… 33
(5)　給水件数 …… 34
(6)　水道メーター設置状況 …… 35
(7)　水道メーター開閉栓及び取替件数 …… 35
(8)　給水工事件数 …… 36
(9)　水道料金収納体系状況 …… 37
(10)　水道用途別使用量 …… 38
(11)　地区別水道使用水量 …… 40
(12)　導・送水管総延長 …… 42
(13)　配水管総延長 …… 43
(14)　水源地別水質試験結果 …… 44
(15)　水道料金 …… 46

４　財　務　状　況

(1)　概況 …… 47
(2)　比較損益計算書 …… 48
(3)　比較貸借対照表 …… 50
(4)　事業費用分析表 …… 52
(5)　比較資本的収支計算書 …… 53
(6)　企業債 …… 53
(7)　水道事業比較経営診断表 …… 54
(8)　指標解説 …… 55

第３編　下水道事業

１　は　じ　め　に　……　57

２　公共下水道事業の沿革

（1）　沿革　……　58

（2）　認可経緯　……　60

（3）　普及状況　……　72

３　施　設　概　要

（1）　流域関連公共下水道事業（桑名・多度地区）施設概要　……　73

（2）　単独公共下水道事業（長島地区）施設概要　……　77

（3）　下水道施設一覧　……　79

（4）　桑名市下水道計画図（汚水）　……　80

（5）　桑名市下水道計画図（雨水）　……　82

４　業　務　状　況

（1）　整備状況　……　84

（2）　事業の推移状況　……　86

（3）　受益者負担金制度　……　87

（4）　下水道使用料　……　87

（5）　下水道用途別使用量　……　88

（6）　普及促進　……　90

（7）　排水設備工事件数　……　91

（8）　下水道排水（排除）基準　……　92

５　財　務　状　況

（1）　概況　……　93

（2）　比較損益計算書　……　94

（3）　比較貸借対照表　……　96

（4）　事業費用分析表　……　98

（5）　比較資本的収支計算書　……　99

（6）　企業債　……　99

（7）　公共下水道事業比較経営診断表　……　100

（8）　指標解説　……　101

６　農業集落排水事業

（1）　沿革　……　102

（2）　普及状況　……　102

（3）　農業集落排水施設使用料　……　102

（4）　施設概要　……　103

（5）　農業集落排水事業比較経営診断表　……　104

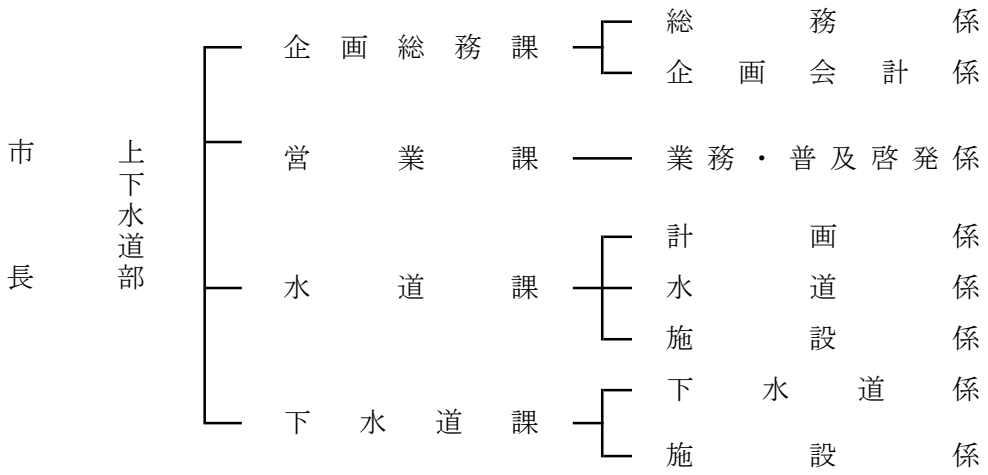
７　合併浄化槽設置整備事業補助金交付

（1）　概要　……　105

第１編

機　　構

(1)　上下水道部機構図



(2)　職員配置状況

		水道事業		下水道事業			合計		
		主事	技師	参事	主事	技師	参事	主事	技師
部長		—	—	1	—	—	1	—	—
企画総務課	課長	1	—	—	—	—	—	1	—
	主幹	—	—	—	1	—	—	1	—
	総務係	3	—	—	1	—	—	4	—
	企画会計係	3	—	—	2	—	—	5	—
	企画総務課付						—	—	(3)
営業課	課長	—	—	—	1	—	—	1	—
	業務・普及啓発係	2(1)	—	—	2	1(1)	—	4(1)	1(1)
水道課	課長	—	1	—	—	—	—	—	1
	計画係	—	3(1)	—	—	—	—	—	3(1)
	水道係	1	7(1)	—	—	—	—	1	7(1)
	施設係	—	6(1)	—	—	—	—	—	6(1)
下水道課	課長	—	—	—	—	1	—	—	1
	下水道係	—	—	—	—	7	—	—	7
	施設係	—	—	—	—	3	—	—	3
計		10(1)	17/(3)	1	7	12/(1)	1	17/(1)	29/(7)
合計		27/(4)		20/ (1)			47/ (8)		

(注1)　(　)内は、外書きで兼務職員を表す。
(注2) 企画総務課付職員は、契約監理課との兼務職員を表す。
(注3) 再任用短時間勤務職員を除く。

(3) 事 務 分 掌

企 画 総 務 課

(1) 諸規程の制定及び改廃に関すること。
(2) 公印の保管及び管理に関すること。
(3) 職員の人事、給与及び勤務条件に関すること。
(4) 職員の福利厚生及び安全衛生に関すること。
(5) 労働組合に関すること。
(6) 職員の研修等に関すること。
(7) 車両の維持管理等に関すること。
(8) 物品、工事等の入札及び契約に関すること。
(9) 協会協議会等に関すること。
(10) 渉外に関すること。
(11) 経営計画及び財政計画に関すること。
(12) 企業債及び一時借入金に関すること。
(13) 広報広聴に関すること。
(14) 現金、有価証券及び貯蔵品等の出納並びに保管に関すること。
(15) 財産等の取得、管理及び処分に関すること。
(16) 出納及び収納取扱金融機関に関すること。
(17) 会計システムの運用及び調整に関すること。
(18) 統計及び調査に関すること。
(19) 予算及び決算の調製に関すること。
(20) 部内の事務の連絡調整に関すること。
(21) 部の庶務に関すること。
(22) 他の課の主管に属しない事項に関すること。

営　業　課

(1) 水道料金、下水道使用料等に関すること。
(2) 事業収入等の収納、還付及び欠損処分等に関すること。
(3) 使用水量の用途、計量及び証明等に関すること。
(4) 水道使用の開始、休止及び停止等に関すること。
(5) 業務状況及び事業統計に関すること。
(6) 料金システムの運用及び調整に関すること。
(7) 量水器の取替、点検及び維持管理等に関すること。
(8) 合併処理浄化槽の補助金に関すること。
(9) 水洗化の普及促進及び啓発活動に関すること。
(10) 排水設備設置に伴う融資斡旋に関すること。
(11) 下水道受益者負担金等に関すること。

水　道　課

(1) 施設等の使用の許可及び使用に関すること。
(2) 施設等に係る占用継続申請に関すること。
(3) 補助事業の申請に関すること。
(4) 各種竣(しゅん)工図面の整理及び管理に関すること。
(5) 下水道工事に係る水道管移設工事の設計及び施行に関すること。
(6) 所管に属する事業の補償に関すること。
(7) 事業計画に関すること。
(8) 計画決定及び認可申請に関すること。
(9) 水道施設の運転管理及び維持管理に関すること。
(10) 水道台帳の整備保管に関すること。
(11) 施設の建設改良に係る土木工事等の設計及び施行に関すること。

(12) 修繕工事及び維持管理に係る工事の設計並びに施行に関すること。
(13) 主管工事の監督及び検査に関すること。
(14) 施設の修繕、建設改良に係る電気機械設備工事等の設計及び施行に関すること。
(15) 水源の保護に関すること。
(16) 受水に関すること。
(17) 水質検査及び水質保全に関すること。
(18) 薬品の保管及び監守に関すること。
(19) 取水、浄水、送水及び配水設備に関すること。
(20) 水道使用の監視及び取締りに関すること。
(21) 給水装置工事事業者の指定及び指導に関すること。
(22) 給水装置工事の申請、審査及び検査に関すること。
(23) 専用水道、簡易専用水道、貯水槽水道施設の調査及び指導に関すること。

下　水　道　課

(1) 水路及び管渠(きょ)等の使用の許可並びに使用に関すること。
(2) 水路及び管渠等に係る占用継続申請に関すること。
(3) 補助事業の申請に関すること。
(4) 施設の修繕、建設改良に係る電気機械設備工事等の設計及び施行に関すること。
(5) 下水道施設の運転管理及び維持管理に関すること。
(6) 各種竣工図面の整理及び管理に関すること。
(7) 所管に属する事業の補償に関すること。
(8) 事業計画に関すること。
(9) 計画決定及び認可申請に関すること。
(10) 下水道台帳の整備保管に関すること。
(11) 浄化センター、ポンプ場及び農業集落排水処理施設の運転管理並びに維持管理に関すること。
(12) 浄化センター、ポンプ場及び農業集落排水処理施設の業務委託に関すること。
(13) 浄化センター、ポンプ場及び農業集落排水処理施設の修繕、建設改良に係る電気機械設備工事等の設計並びに施行に関すること。
(14) 主管工事の監督及び検査に関すること。
(15) 施設の建設改良に係る土木工事等の設計及び施行に関すること。
(16) 修繕工事及び維持管理に係る工事の設計並びに施行に関すること。
(17) 公共下水道事業等の供用開始に関すること。
(18) 除害施設の設置及び指導等に関すること。
(19) 下水道接続承認に関すること。
(20) 下水道使用の監視及び取締りに関すること。
(21) 下水道排水設備指定工事店の指定及び指導に関すること。
(22) 排水設備の設置及び使用開始に関すること。
(23) 排水設備の申請、審査及び検査に関すること。

(4)　職員構成

①　給料（本俸）別職員構成

令和5年3月31日現在（単位：人・%）

区　分	参事		主事		技師		合計	
	職員数	比率	職員数	比率	職員数	比率	職員数	比率
100千円以上 150千円未満	—	0.0	—	0.0	—	0.0	—	0.0
150 〃 200 〃	—	0.0	—	0.0	3	10.3	3	6.4
200 〃 250 〃	—	0.0	4	23.5	7	24.1	11	23.4
250 〃 300 〃	—	0.0	2	11.8	3	10.3	5	10.6
300 〃 350 〃	—	0.0	1	5.9	5	17.3	6	12.8
350 〃 400 〃	—	0.0	7	41.2	9	31.1	16	34.0
400千円以上	1	100.0	3	17.6	2	6.9	6	12.8
合計	1	100.0	17	100.0	29	100.0	47	100.0
給料総額（円）	451,600		5,679,200		8,808,800		14,939,600	
一人当たり平均給料（円）	451,600		334,071		303,752		317,864	

（注）　再任用短時間勤務職員を除く。

②　年齢別職員構成

令和5年3月31日現在（単位：人・%）

区　分	水道事業				下水道事業					合計				
	主事	技師	計	比率	参事	主事	技師	計	比率	参事	主事	技師	職員数	比率
25歳未満	—	3	3	11.1	—	—	2	2	10.0	—	—	5	5	10.6
25歳以上 30歳未満	1	1	2	7.4	—	—	—	—	0.0	—	1	1	2	4.3
30 〃 35 〃	2	2	4	14.8	—	—	2	2	10.0	—	2	4	6	12.8
35 〃 40 〃	1	1	2	7.4	—	2	—	2	10.0	—	3	1	4	8.5
40 〃 45 〃	1	2	3	11.1	—	1	2	3	15.0	—	2	4	6	12.8
45 〃 50 〃	1	1	2	7.4	—	1	2	3	15.0	—	2	3	5	10.6
50 〃 55 〃	4	3	7	26.0	—	2	2	4	20.0	—	6	5	11	23.4
55歳以上	—	4	4	14.8	1	1	2	4	20.0	1	1	6	8	17.0
合計	10	17	27	100.0	1	7	12	20	100.0	1	17	29	47	100.0
平均年齢	43.3	41.8	42.3		55.0	45.6	42.3	44.1		55.0	44.2	42.0	43.1	

（注）　再任用短時間勤務職員を除く。

③　勤続年数別職員構成

令和5年3月31日現在（単位：人・%）

区　分	水道事業				下水道事業					合計				
	主事	技師	計	比率	参事	主事	技師	計	比率	参事	主事	技師	職員数	比率
5年未満	2	4	6	22.2	—	1	2	3	15.0	—	3	6	9	19.1
5年以上 10年未満	2	5	7	26.0	—	—	6	6	30.0	—	2	11	13	27.7
10 〃 15 〃	2	—	2	7.4	—	1	1	2	10.0	—	3	1	4	8.5
15 〃 20 〃	—	1	1	3.7	—	1	—	1	5.0	—	1	1	2	4.3
20 〃 25 〃	1	1	2	7.4	—	1	—	1	5.0	—	2	1	3	6.4
25 〃 30 〃	2	2	4	14.8	1	2	2	5	25.0	1	4	4	9	19.1
30 〃 35 〃	1	3	4	14.8	—	1	1	2	10.0	—	2	4	6	12.8
35年以上	—	1	1	3.7	—	—	—	—	0.0	—	—	1	1	2.1
合計	10	17	27	100.0	1	7	12	20	100.0	1	17	29	47	100.0
平均勤続年数	14.7	15.6	15.3		29.0	20.1	11.6	15.5		29.0	16.9	13.9	15.3	

（注）　再任用短時間勤務職員を除く。

第２編

水　道　事　業

1　水道事業の創設と沿革

(1)　創設

①　創設まで

桑名市は、三重県の北部にあり東は伊勢湾、西は養老山脈、鈴鹿連峰、北は揖斐、長良、木曽の三大河川、員弁川(町屋川)に囲まれたデルタ地帯に位置しています。

市の西部丘陵地帯は、第三紀層の砂利、砂、粘土でできています。また、市街地及びその付近一帯の平坦地は第四紀新層に属し、かつては海であった所に木曽三川と町屋川の泥砂が堆積して形成されたもので、豪雨の度に溢水を繰り返し、しばしば家屋が浸水の被害を受ける湿潤の地でありました。そのため井戸水の多くは有機性の混雑物による微臭や濁色を帯び、飲用に適した井戸を得ることは古来甚だ難しいことでした。

関ケ原の戦の功により慶長６年(1601年)初代桑名藩主に封じられた本多平八郎忠勝は入封後巨大な土木工事を起こし、桑名城の修築、市街地の町割り(都市計画)に着手しました。第二代忠政の時代に及ぶこの「慶長の町割」には上水道も構想されていたようですが、実現を見ぬまま元和３年(1617年)本多氏は姫路へ転封となりました。次いで来封した松平隠岐守定勝の嗣子定行は民生安定の第一策としてこれをとり上げ、周到な計画の下に工事に着手し、江戸初期の寛永３年(1626年)には南域の町屋川の清流を水路で桑名市街に引き住民の用水とする大事業の一部を完成しました。これが「町屋御用水」の始まりです。以後この御用水は補修拡張が重ねられ、明治に至る約300年間にわたって桑名町民はその恩恵を享受してきました。その一部は今でも農業用水路として活用されています。

【町屋御用水・通り井（「久波奈名所図会」長円寺所蔵）】

②　私設諸戸水道の創設

町屋御用水は、川水を水路によって導いたもので、当時に於いては立派な水道でしたが、汚物の流入、汚水の浸透は避けられず、降雨があれば濁る、水道としては不完全なものでした。

旧桑名町の隣村であった赤須賀村も元来飲料水の乏しい地域で、当時桑名、赤須賀に連年悪疫が流行した大きな原因は飲料水の不良にありました。衛生的な水道の建設はこれに気づいた住民の20年来の宿願となっており、桑名町議会も早くから種々調査を行ったものの、当時の町財政を以ては完遂の見込みが立たず、遂にこれを断念せざるを得ませんでした。

これを憂えた桑名の富豪諸戸清六氏は、「事は急を要する、これを町議会に図れば実現は難しい、一刻も早く住民の困窮を救済するため私財を投げうってでもこれを実現しなければならない」と決心し、明治32年に水道建設のため水源調査に着手しました。探査を続けるうち小野山、愛宕山下の竪抗の湧水の水質が優れ、飲料水にも好適であることがわかったのでその地を水源に決定しました。

そして、東太一丸の邸宅との間約2,000mに口径３インチ（7.6センチ）の鋳鉄管を布設して自家用の水道を設け、余った水を邸前に設置した水槽に引込んで町民に開放しました。これにより計画の成功を確信して町民の使用に堪え得る水源の調査を進め､先に発見した水源の周辺に水脈を探り当てて予定の水量を確保しました。

そして、この湧水を集めるため空継ぎ土管を伏せ、配水池を設け、鋳鉄管を布設して整備を行い、共用栓を55か所に設置し、町民に無料で開放しました。水源調査開始から６年後の明治37年６月でした。

明治39年11月12日に諸戸清六氏が死亡後、この水道設備は二代目諸戸清六、精太の両氏により管理運営されていましたが、大正13年桑名町へ寄附されました。この貯水池遺構は三重県指定史跡の指定（平成20年３月19日）を受け管理されています。

【諸戸水道貯水池の遺構（左）給水塔（右）　出典：諸戸水道調査報告書】

(2)　沿革

①　第一次拡張事業（昭和３年～昭和４年）

諸戸清六が精魂こめて建設した水道設備も、水源の水量が建設当時の日量890㎥から年々減少する一方、町民の生活は向上して専用給水栓を要求する声も高まってきました。また、防火用設備としてこれを見れば、水源地の標高差が僅かであるため水圧が低く、有事の際の使用も危ぶまれることから水量の増加と水圧の増強が叫ばれるようになりました。このような状況の下、昭和２年８月10日付けで許可を受け昭和３年５月より第一次拡張事業が着工されました。

この事業は、水源を町屋川の伏流水に求め、桑名市上野字笠松（当時は益生村）標高34mに浄水場を設けてポンプを以て揚水し、浄化した水を口径12インチの鋳鉄管を通じて自然流下にて桑名町に導き旧諸戸水道の配水管に連絡すると共に、市街地の配水管網を整備し各戸に給水をするものでありました。この事業は昭和４年９月末日に完成しました。

②　第二次拡張事業（昭和27年～昭和31年）

明治22年市町村制度が実施されて桑名町が誕生、以後大正12年に赤須賀村と、昭和８年には益生村と合併。一方大山田村は、昭和３年西桑名町となり、昭和12年４月桑名町と西桑名町が合併して「桑名市」が誕生しました。当時西桑名町には昭和５年７月14日付けにて布設許可を受け、昭和６年２月末日竣工した西桑名町簡易水道があったのでこれを引き継ぎ、昭和13年５月31日その配水管との連絡工事を行った結果、浄水場からの給水区域は大きく広がりました。

第二次世界大戦中の昭和19年12月６日突如襲った三河湾地震では本市の水道も配水管の破損等大きな被害を受けました。震災からの復旧後間もない昭和20年７月17日、桑名市は未曾有の焼夷弾攻撃を受け、続く24日には痛烈な爆弾攻撃を受けて焦土と化し、水道事業においても給水戸数9,773戸のうち約70％が被災する大きな被害を受けました。その後昭和23年３月には一応の復旧工事を完成したが水需要の拡大は続き、昭和25年には１日最大配水量4,200㎥をはるかに超過する5,300㎥を記録するに至りました。その結果水圧は急激に低下し、制水弁による調整をしても管末地域では昼間一滴の水も出ないという出水不良の状態に陥りました。そこで急遽第二次拡張事業を策定、昭和26年４月に厚生省の許可を受けて昭和27年４月送水管より着手し、昭和31年３月に完成しました。

③　第三次拡張事業（昭和37年～昭和40年）

第二次拡張事業完了後数年を経た昭和30年には深谷・久米の両村、翌年には城南村が桑名市と合併しましたが、当時簡易水道を有していたのは城南村だけでした。

昭和34年９月26日襲来した伊勢湾台風により揖斐川堤防が決壊した際、飲料用井戸水が汚水、汚物によって汚染されるという衛生上の問題が発生したため、昭和36

年、昭和37年在良、昭和40年に久米、昭和41年には七和の各地区に簡易水道を建設し給水を開始しました。

一方上水道では市勢の発展に伴う著しい人口増加により昭和36年給水能力に不足をきたしたため、城南地区簡易水道の上水道への統合を含めた第三次拡張事業の認可を昭和37年３月に受け、城南地区に浅井戸を１井建設して簡易水道の既設配管に上水道管を連結するとともに、浄水場の緩速ろ過池を増強して給水区域の拡大、給水能力の強化を図り、昭和41年３月に工事は完成しました。

④　第四次拡張事業（昭和42年～昭和52年）

（当初計画）

市勢の発展とともに水需要は年々上昇の一途をたどり、さらに西部丘陵地帯には日本住宅公団及び民間企業によって大規模住宅団地の開発が計画されたため計画人口をはじめ水源等施設全般の見直しを行い、昭和42年３月31日に第四次拡張事業として厚生省の認可を受けました。

（第一次変更事業）（昭和42年～昭和52年）

第四次拡張事業は、昭和42年３月の認可以来順調に進捗しましたが、当初計画で水道統合の対象外であった久米･七和地区の簡易水道も、市勢の発展に伴う水量の不足や地下水の水質変動により、存続させることは困難となったため事業計画の一部変更を行い、市域全体を上水道給水区域（一部を除く。）とした第四次拡張、第一次変更事業の認可を昭和44年３月20日に受けました。

（第二次変更事業）（昭和53年～昭和62年）

昭和43年に着工した第四次拡張事業は、計画目標を昭和52年とし、名古屋市の近郊住宅地域として急速な市勢の発展が予想されるため、計画給水人口156,000人、計画１日最大給水量65,000㎥で計画を進めましたが、昭和48年の石油ショックを初めとする経済不況等により大規模な「大山田土地区画整理事業」等も遅れてきたので、過去の実績を基礎に給水人口、給水量の予測を見直して「三重県北勢水道用水供給事業」からの受水と現在の自己水源と合わせて給水方式の整備編成のため、第四次拡張、第二次変更事業の認可を昭和53年３月31日に受けました。

（第三次変更事業）（平成元年～平成10年）

昭和43年に着工した第四次拡張（第一次二次変更）事業による、水源施設、浄水施設、配水施設等の整備のほか、深谷、在良、久米、七和の各簡易水道の上水道統合と町屋、西部、南部の３水源の完成と、三重県北勢水道用水供給事業からの受水を合わせ76,000㎥の配水能力を有するようになりました。

しかしながら昭和３年第一次拡張事業以来60余年を経た水道施設の老朽化が進み、

また、住宅団地開発等により水需要の増大が予想されることから給水人口及び水道施設等の見直しを行ない、第四次拡張、第三次変更事業の認可を平成元年２月20日に受けました。

⑤　第五次拡張事業（平成13年～平成25年）

昭和42年を初年度とする第四次拡張事業は、三次に亘る変更を重ね、平成12年度まで長期にわたって自己水源の開発や県水の受水、水質改善、配水施設等の整備を推進してきましたが、この間、大山田、新西方、星川、播磨特定地区など市内各地で開発が行われ、今後も伊勢湾岸自動車道桑名インターチェンジ開設、東海環状自動車道、中部国際空港の整備など交通アクセスの向上や快適で質の良い宅地開発が北部山間部をはじめ市内各所で進められており、一層の水需要が見込まれることや給水区域を市内全域に拡張する必要があることから、平成13年度を初年度とし、平成25年度を目標年度とする第五次拡張事業の認可を平成13年２月16日に受けました。

⑥　一市二町の合併

平成16年12月６日の一市二町（旧桑名市・旧多度町・旧長島町）の合併に伴い、事業の規模は給水人口161,740人、１人１日最大給水量648L、１日最大給水量104,843㎥(県営水道から１日30,800㎥受水)となりました。

合併協定に基づき、合併後３年が経過した平成20年４月１日に、水道料金の地域格差を是正し、需要者の負担を公平にするため、市内の水道料金を統一しました。

⑦　第五次拡張事業変更の届出

料金統一により、平成21年３月、厚生労働省に平成30年度を目標とする桑名市上水道事業変更届出書を提出し（平成21年３月30日受理）、桑名市上水道事業、桑名市多度上水道事業、桑名市長島上水道事業を統合しました。

また、古野浄水場取水量減少に伴い取水地点の位置の変更を行い、平成24年3月に厚生労働省に変更の届出を行いました（平成24年3月29日受理）。

⑧　新水道ビジョンの策定

合併後の平成18年３月に、基本計画（桑名市水道ビジョン）を策定しました。

策定後、水質基準の改定等の法改正、厚生労働省からの水道ビジョンの改定、耐震化計画策定や水安全計画の策定等のほか、東日本大震災による被災など、近年の上水道を取り巻く社会・経済情勢の変化には著しいものがありました。

このような背景を踏まえ、本市上水道事業を適正に運営していくため上水道の維持管理や施設の老朽化対策・災害対策など、取り組むべき事業内容を改めて検討する必要が生じていることから、平成26年３月に「桑名市新水道ビジョン」を策定しました。

⑨　第五次拡張事業変更の認可

社会情勢の変化により、人口減少社会で厳しくなる事業環境への対応及び、水道施設の更新・強靱化による水道の「持続性確保」が課題となっています。

令和４年８月、厚生労働省に令和13年度を目標とする水道事業変更認可申請書を提出し（令和４年８月26日受理）、令和４年10月６日に認可を受けました。

これは、1日最大給水量を69,220m^3/日に変更し、町屋水源、西部水源、南部水源及び、多度南部系水源について、クリプトスポリジウム等の対策や浄水方法の強化のため、浄水方法の変更や取水地点の変更を行いました。

(3) 認可経緯

① 旧桑名市

		明治37年（1904年）	昭和2年（1927年）	昭和26年（1951年）	昭和37年（1962年）
事業内容		私設諸戸水道の創設 地下水、涌水を貯水池に導入し、町内55か所の共用栓を供給し、住民の自由使用に任じた。 (富豪諸戸清六翁) 大正13年桑名町営水道となる。	第一次拡張 専用給水栓の設置と防火設備の完備を期して、本格的な上水道事業に発展した。	第二次拡張 戦災の復旧と市政の復興を目指して、給水量の増加を計画し給水区域の拡張を行う。	第三次拡張 市勢とみに発展し、人口増加著しく、給水量の激増に対処すると共に、城南地区簡易水道を統合する。
認可年月日			昭和2年8月10日	昭和26年4月3日	昭和37年3月31日
工事費		169,360 円	378,500 円	114,140,000 円	122,330,000 円
計画要項	給水区域	桑名町、他２か所	桑名町全域、益生村一部	桑名市の一部	桑名市の一部
	給水人口	17,000 人	30,000 人	42,000 人	61,000 人
	１日最大給水量	890㎥/日 １人当り52L/日	4,200㎥/日 １人当り140L/日	10,500㎥/日 １人当り250L/日	21,350㎥/日 １人当り350L/日
	水源	現在の桑名市尾ノ山南地区で横坑、竪坑による、地下水並びに湧水	員弁川の伏流水 集水埋渠φ450㎜×180m	員弁川の伏流水 集水埋渠φ450㎜×360m 城南水源　浅井戸～１井	員弁川の伏流水 集水埋渠φ450㎜×360m 城南水源　浅井戸～２井
	取水方法	自然流下	ポンプ揚水	ポンプ揚水	ポンプ揚水
	導水施設		φ450㎜× 44m φ250㎜×818m	φ300㎜×820m φ250㎜×818m	φ350㎜×980m φ300㎜×820m
	浄水施設		緩速ろ過池（3池）	緩速ろ過池（6池） 塩素滅菌	緩速ろ過池（7池） 塩素滅菌
	配水池	容量　925㎥(1池)	容量　1,740㎥	容量　3,600㎥	容量　4,140㎥
	配水管	φ200㎜～50㎜ 14,708m	φ300㎜以下　34,926m	φ350㎜以下　80,516m	φ350㎜以下　96,374m

昭和42年（1967年）	昭和44年（1969年）	昭和53年（1978年）	平成元年（1989年）	平成13年（2001年）
第四次拡張 市勢大いにのび、名古屋市、四日市市の衛星都市として工業の発展、住宅地の開発等進む。市内に散在する簡易水道４か所を統合する。	第四次拡張変更 市勢の発展と共に、人口の社会増がめざましく、第四次拡張に対して変更を行う。 市内に散在する簡易水道２か所を統合する。	第四次拡張第２次変更 経済不況等による、市勢発展の鈍化に伴い給水量給水人口等の見直しを、三重県営北勢水道用水供給事業から受水する。	第四次拡張第３次変更 地下水の浄水方法及び生活様式の変化に伴い給水量の見直しを行い施設変更を行う。三重県営北勢水道用水供給事業から受水する。	第五次拡張 市北部の大型団地（播磨地区）開発に伴う水源から配水までの見直しと、一部給水区域外であった市北西部山間地を拡張し給水区域を市内全域として、拡張事業を行う。
昭和42年3月31日	昭和44年3月20日	昭和53年3月31日	平成元年2月20日	平成13年2月16日
784,000,000 円	2,826,000,000 円	4,172,798,000 円	3,380,000,000 円	12,710,000,000 円
桑名市内全域(一部を除く)	桑名市内全域(一部を除く)	桑名市内全域(一部を除く)	桑名市内全域(一部を除く)	桑名市内全域
114,000 人	156,000 人	132,000 人	134,000 人	134,000 人
47,500㎥/日 １人当り417L/日	65,000㎥/日 １人当り417L/日	76,000㎥/日 １人当り576L/日	78,500㎥/日 １人当り586L/日	81,000㎥/日 １人当り604L/日
員弁川の伏流水 集水埋渠φ800㎜× 80m 集水埋渠φ600㎜×240m 城南水源　浅井戸～２井 七和水源　浅井戸～１井	員弁川の伏流水 集水埋渠φ800㎜× 80m 集水埋渠φ600㎜×240m 七和水源　浅井戸～１井 西部水源　浅井戸～４井 南部水源　浅井戸～１井 和泉水源　浅井戸～１井 町屋水源　浅井戸～２井	員弁川の伏流水 集水埋渠φ800㎜× 80m 集水埋渠φ600㎜×240m 七和水源　浅井戸～１井 西部水源　浅井戸～４井 南部水源　浅井戸～１井 和泉水源　浅井戸～１井 町屋水源　浅井戸～２井 県水受水点 大山田配水場、蓮花寺配水場、南部配水場	員弁川の伏流水 集水埋渠φ800㎜× 80m 集水埋渠φ600㎜×240m 西部水源　浅井戸～６井 （七和水源含む） 南部水源　浅井戸～３井 額田水源　浅井戸～２井 県水受水点 大山田配水場、大山田東配水場、南部配水場	員弁川の伏流水 集水埋渠φ800㎜× 80m 集水埋渠φ600㎜×240m 西部水源　浅井戸～８井 南部水源　浅井戸～３井 額田水源　浅井戸～２井 県水受水点 大山田配水場、大山田東配水場、南部配水場
ポンプ揚水	ポンプ揚水	ポンプ揚水	ポンプ揚水	ポンプ揚水
φ800㎜以下 L=1,390m	φ800㎜以下 L=2,147m	φ800㎜以下 L=2,147m	φ800㎜以下 L=5,057m	φ800㎜以下 L=3,556m
緩速ろ過池（7池） 塩素滅菌	緩速ろ過池（7池） 塩素滅菌	緩速ろ過池（7池） 塩素滅菌	緩速ろ過池（7池） 遊離炭酸除去設備 西部、南部 次亜塩素滅菌、塩素滅菌	緩速ろ過池（7池） 遊離炭酸除去設備 西部、南部 次亜塩素滅菌
容量　4,510㎥	容量　13,810㎥	容量　27,170㎥	容量　30,500㎥	容量　45,920㎥
φ400㎜　3,529m φ350㎜以下　241,625m 計　245,154m	φ400㎜　5,942m φ350㎜以下　242,790m 計　248,732m	φ600㎜　1,611m φ500㎜　30m φ400㎜　8,063m φ350㎜以下　417,013m 計　426,717m	φ600㎜　2,471m φ500㎜　920m φ400㎜　10,663m φ350㎜以下　440,892m 計　454,946m	φ600㎜　2,165.5m φ500㎜　1,551.6m φ400㎜　15,886.4m φ350㎜以下　587,977.0m 計　607,580.5m

② 旧多度町

		昭和38年（1963年）	昭和49年（1974年）	昭和58年（1983年）	平成10年（1998年）
事業内容		認可 本町は地下水位が低く、飲料水他防火用水の確保、認可甚だ困難を極めている。ここに新しく水道を布設して完全給水を実施して町発展に寄与せんとする。	第一次拡張 水需要の増加と生活水準の向上により、現施設が限界に達し、今後の需要増に対処するため第一次拡張事業を行う。	第二次拡張 昭和５１年度で第一次拡張事業を完了したが近年水需要の増加により、今後予想されるそれらの要因や工場の生活用水確保するため第二次拡張事業を行う。	変更認可 ５号井水道悪化及び８号井の揚水量の減少に伴い、この２井を廃止し、５号井の計画取水量を６号井に増量し、また旧８号井に替る新たな８号井を設ける取水地点の変更を行うものである。
認可年月日		昭和38年12月26日	昭和49年3月30日	昭和58年8月4日	平成10年12月1日
工事費		100,000,000 円	68,000,000 円	1,467,000,000 円	167,774,000 円
計画要項	給水区域	多度町全域	多度町全域	多度町全域	古野、美鹿除く多度町全域
	給水人口	10,000 人	12,000 人	16,000 人	10,350 人
	１日最大給水量	2,000㎥/日 １人当り200L/日	3,600㎥/日 １人当り300L/日	12,400㎥/日 １人当り775L/日	12,400㎥/日 １人当り1,198L/日
	水源	地下水（深井戸）2本 φ300㎜× 51m×2本	地下水（深井戸）3本 φ300㎜× 51m×3本	地下水（深井戸）6本 地下水（浅井戸）2本 北部系、北部第２系 中部系、南部系に分類	地下水（深井戸）7本 φ300㎜× 51m×1本 φ300㎜×100m×1本 φ400㎜× 50m×2本 （内1本予備） φ600㎜× 21m×1本 φ300㎜×110m×1本 φ350㎜×100m×1本
	取水方法	ポンプ揚水	ポンプ揚水	ポンプ揚水	ポンプ揚水
	導水施設	送水ポンプ室90㎡ 1棟 送水ポンプ 2台	送水ポンプ室90㎡ 1棟 送水ポンプ 2台		φ150㎜×φ250㎜ L=7,503m
	浄水施設	塩素滅菌機 2台 塩素滅菌槽 1槽			多度北部、中部、北部 第２送水場 塩素滅菌機 12台
	配水池	容量 357㎥（1池）	容量 536㎥（2池）	容量 5,786㎥（3池）	容量 5,786㎥（3池）
	配水管	φ200㎜～φ75㎜ 42,531m φ 40㎜～φ25㎜ 3,000m	φ200㎜～φ75㎜ 43,841m φ 40㎜～φ25㎜ 3,000m	φ400㎜～φ75㎜ 68,172m	φ400㎜～φ300㎜ 5,900m φ250㎜～φ 75㎜ 64,872m
	送水管	φ200㎜ 1,473m	φ200㎜ 1,473m	φ300㎜～φ200㎜ 3,880m	φ300㎜ 1,650m φ250㎜ 730m φ200㎜ 1,500m

平成16年（2004年）		
変更認可 平成16年12月6日の市町村合併により古野簡易水道、美鹿簡易水道を上水道が譲り受け事業統合を行う。		
平成16年12月3日		
167,774,000 円	148,000,000 円	117,532,000 円
多度地区	美鹿地区	古野地区
10,350 人	550 人	840 人
12,400㎥/日 １人当り1,198L/日	180㎥/日 １人当り327L/日	363㎥/日 １人当り432L/日
地下水（深井戸）7本 φ300㎜× 51m×1本 φ300㎜×100m×1本 φ400㎜× 50m×2本 （内1本予備） φ600㎜× 21m×1本 φ300㎜×110m×1本 φ350㎜×100m×1本	肱江川 渓流水 （表面水）	多度川 渓流水 （表面水）
ポ ン プ 揚 水	自 然 流 下	自 然 流 下
φ150㎜×φ250㎜ L=7,503m	φ100㎜ L=517m	φ150㎜×φ250㎜ L=1,487m
多度北部、中部、北部 第２送水場 塩素滅菌機 12台	浄水場 緩速ろ過池 2池	浄水場 緩速ろ過池 3池
容量 5,786㎥（3池）	容量 135㎥（2池）	容量 242㎥（3池）
φ400㎜～φ300㎜ 5,900m φ250㎜～φ 75㎜ 64,872m	φ150㎜～φ50㎜ 4,280m	φ150㎜～φ30㎜ 2,644m
φ300㎜ 1,650m φ250㎜ 730m φ200㎜ 1,500m		

③　旧長島町

		昭和42年（1967年）	昭和50年（1975年）	平成7年（1995年）	平成11年（1999年）
事業内容		認可 長島簡易水道と伊曽島簡易水道、小島簡易水道を統合して長島水道として認可を受けた。 ※旧長島簡易水道は第一水源となる。 ※旧伊曽島簡易水道は第二水源となる。	第一次拡張 昭和５１年からの北勢広域水道の受水に備えるため送水管を布設した。	第二次拡張 第一次拡張認可から１９年経過し、人口及び使用量の増加によって水量不足となっている。平成６年度に長良川河口堰が完成するので、2,900㎥／日取水し水量不足を解消する。	第三次拡張 第二次拡張認可から５年経過し、人口動態及び使用形態が変化して、将来の水需要を見直す必要が生じた。
認可年月日		昭和42年2月10日	昭和50年6月20日	平成7年3月28日	平成11年12月6日
工事費		78,990,000 円	33,075,000 円	739,328,566 円	758,431,000 円
計画要項	給水区域	長島町全域	長島町全域	長島町全域	長島町全域
	給水人口	10,000 人	15,000 人	16,500 人	16,000 人
	１日最大給水量	2,000㎥/日 １人当り200L/日	6,900㎥/日 １人当り460L/日	6,900㎥/日 １人当り418L/日	10,900㎥/日 １人当り682L/日
	水源	地下水（深井戸）3本 第一水源 φ300㎜×238m φ300㎜×250m 第二水源 φ300㎜×300m	県営北勢広域水道より受水 4,300㎥/日 自己水（地下水） 2,800㎥/日	県営北勢広域水道より受水 4,300㎥/日 長良川導水取水 2,900㎥/日	県営北勢広域水道より受水 8,300㎥/日 自己水（地下水） 2,800㎥/日
	取水方法	ポンプ揚水	自然流下	自然流下（県水受水） ﾎﾟﾝﾌﾟ揚水（長良導水）	自然流下（県水受水） ﾎﾟﾝﾌﾟ揚水（長良導水）
	導水施設	φ450㎜× 44m φ250㎜×818m		φ250㎜×4,260m	
	浄水施設	第一水源 急速ろ過池（1池） 高速凝集沈殿池（1池） 塩素滅菌機 2機 第二水源 壁掛け塩素滅菌機 2台			
	配水池	容量　200㎥（1池） 300㎥（1池）		容量　2,000㎥（1池）	容量　2,000㎥（1池）
	配水管	φ200㎜以下　84,465m		φ250㎜～φ150㎜　1,929m	φ200㎜　1,643.7m
	送水管		φ300㎜以下　2,080m		

④　桑名市（事業統合後）

			平成21年（2010年）	平成24年（2012年）
事業内容			第五次拡張変更 市町村合併により、桑名市多度上水道事業及び桑名市長島上水道事業を桑名市上水道事業へ譲り受けし、事業統合を行った。 今後は各事業の計画を反映させながら、事業を進めていく。	第五次拡張変更 取水量減少により、古野浄水場取水地点（多度川上流）の変更を行った。
認可（届出）年月日			平成21年3月30日	平成24年3月29日
事業費			13,067,586,000 円	10,375,173,000 円
計画要項	給水区域		桑名市全域	桑名市全域
	給水人口		143,256 人	143,256 人
	1日最大給水量		78,255㎥/日 1人当り546L/日	78,255㎥/日 1人当り546L/日
	水源		表流水 古野 400 ㎥/日 美鹿 198 ㎥/日 新所水源 2,900 ㎥/日 伏流水 員弁川（2級河川） 10,000 ㎥/日 地下水 浅井戸 西部1～8号井 33,000 ㎥/日 浅井戸 南部1～3号井 9,700 ㎥/日 浅井戸 額田1～2号井 5,800 ㎥/日 深井戸 北部系第1～2、4号井 5,900 ㎥/日 深井戸 中部系第6号井 2,400 ㎥/日 深井戸 南部系第7、8号井 4,100 ㎥/日 その他 県水（木曽川用水系） 24,300 ㎥/日 県水（長良川水系） 2,000 ㎥/日 計画取水量（合計） 100,698 ㎥/日	表流水 古野 400 ㎥/日 美鹿 198 ㎥/日 新所水源 2,900 ㎥/日 伏流水 員弁川（2級河川） 10,000 ㎥/日 地下水 浅井戸 西部1～8号井 33,000 ㎥/日 浅井戸 南部1～3号井 9,700 ㎥/日 浅井戸 額田1～2号井 5,800 ㎥/日 深井戸 北部系第1～2、4号井 5,900 ㎥/日 深井戸 中部系第6号井 2,400 ㎥/日 深井戸 南部系第7、8号井 4,100 ㎥/日 その他 県水（木曽川用水系） 24,300 ㎥/日 県水（長良川水系） 1,100 ㎥/日 計画取水量（合計） 99,798 ㎥/日
	浄水施設		町屋水源地（町屋） 緩速ろ過 西部水源地 塩素滅菌のみ 南部水源地 塩素滅菌のみ 町屋水源地（額田） 塩素滅菌のみ 北部系送水場 塩素滅菌のみ 中部系送水場 塩素滅菌のみ 多度南部配水場 塩素滅菌のみ 古野浄水場 緩速ろ過 美鹿浄水場 緩速ろ過 新所浄水場 凝集沈殿＋急速ろ過	町屋水源地（町屋） 緩速ろ過 西部水源地 塩素滅菌のみ 南部水源地 塩素滅菌のみ 町屋水源地（額田） 塩素滅菌のみ 北部系送水場 塩素滅菌のみ 中部系送水場 塩素滅菌のみ 多度南部配水場 塩素滅菌のみ 古野浄水場 緩速ろ過 美鹿浄水場 緩速ろ過 新所浄水場 凝集沈殿＋急速ろ過
	管路	導管水路 500 mm未満	14,479 m DIP,GP,SUS,VP	14,479 m DIP,VP,SP,SUS
		導管水路 500～1,000 mm未満	1,087 m DIP	2,486 m DIP
		送管水路 500 mm未満	46,324 m DIP,GP,SUS,VP	50,094 m DIP,SP,SUS,VP,PE
		送管水路 500～1,000 mm未満	7,052 m DIP,GP,SUS	7,052 m DIP,SP,SUS
		配管水路 75 mm未満	79,448 m DIP,GP,SUS,PEP,VP,LP	79,448 m DIP,SP,SUS,VP,PE
		配管水路 75～250 mm未満	707,927 m DIP,GP,SUS,PEP,VP	707,927 m DIP,SP,SUS,VP,PE
		配管水路 250～500 mm未満	43,291 m DIP,GP,SUS	45,731 m DIP,SP,SUS
		配管水路 500～1,000 mm未満	2,727 m DIP,GP,SUS	2,727 m DIP,SP,SUS
		計	902,335 m	909,944 m

令和４年（2022年）		
第五次拡張変更認可 クリプトスポリジウム等の対策や浄水方法の強化のため、水源の新設や浄水方法の変更を行った。		
令和4年10月6日		
23,793,704,000 円		
桑名市全域		
141,750人		
69,220㎥/日 １人当り488L/日		
表流水	古野	400 ㎥/日
	美鹿	198 ㎥/日
	新所水源	2,900 ㎥/日
伏流水	員弁川（2級河川）	10,000 ㎥/日
地下水	浅井戸 西部1～8号井	33,000 ㎥/日
	浅井戸 南部1～3号井	6,400 ㎥/日
	浅井戸 額田1～2号井	5,800 ㎥/日
	深井戸 北部系第2、4号井	5,900 ㎥/日
	深井戸 中部系第6号井	2,400 ㎥/日
	深井戸 南部系第8、9号井	5,300 ㎥/日
その他	県水（木曽川用水系）	24,300 ㎥/日
	県水（長良川水系）	1,100 ㎥/日
	計画取水量（合計）	97,698 ㎥/日
町屋水源地（町屋）	膜ろ過	
西部水源地	膜ろ過	
南部水源地	急速ろ過	
町屋水源地（額田）	塩素滅菌のみ	
北部系送水場	塩素滅菌のみ	
中部系送水場	塩素滅菌のみ	
多度南部配水場	塩素滅菌のみ	
古野浄水場	緩速ろ過	
美鹿浄水場	緩速ろ過	
新所浄水場	凝集沈殿＋急速ろ過	
14,479 m	DIP,VP,SP,SUS	
2,487 m	DIP	
52,024 m	DIP,SP,SUS,VP,PE	
10,387 m	DIP,SP,SUS	
79,448 m	DIP,SP,SUS,VP,PE	
707,927 m	DIP,SP,SUS,VP,PE	
43,291 m	DIP,SP,SUS	
2,727 m	DIP,SP,SUS	
912,770 m		

2　施 設 概 要

(1)　桑名地区

①　町屋水源系

	町屋水源地	上野浄水場	額田1号井	額田2号井
竣　　工	昭和44年	昭和45年	平成25年	平成25年
所　在　地	桑名市大字稗田 外川原919-1	桑名市大字上野 笠松282	桑名市大字額田 前川原19～21	桑名市大字額田 南川原133-1
用 地 面 積	4,778.00㎡ BL+11.246m	13,765.10㎡ BL+34.282m	1,136.00㎡ BL+13.515m	312.00㎡ GL+13.3m
最大取水能力	10,000㎥/日（伏流水）	－	3,800㎥/日	2,000㎥/日
最大送水能力	10,000㎥/日（伏流水）	－	－	－
集　水　管	φ800 L=80m（導水管） φ600 L=240m	－	－	－
取　水　井	－	－	浅井戸 φ1,000×21.5m　1井	浅井戸 φ600×22.0m　1井
着　水　井	RC造 16m×3m×10.4m　1井 RC造 4.8m×3.4m×3.0m　1井	RC造（分水井） 7m×3.83m×2.45m　2井	－	－
ろ　過　池	－	緩速ろ過池 468㎡ 18m×26m　7池	－	－
浄　水　池	RC造 300㎥　1池	－	－	－
配　水　池	－	RC造 1,800㎥ 31.4m×19.7m×3.0m　3池 緊急遮断弁 φ300, φ300 φ200, φ150　4基	－	－
管　理　棟	RC造 315㎡ 地下1階地上1階建　1棟 RC造 174㎡ 地上2階建　1棟	RC造 408㎡ 地上3階建　1棟	RC造 114.03㎡ 地上1階建　1棟	RC造 20.82㎡ 地上1階建　1棟
ｴｱｰﾁｬﾝﾊﾞｰ設備	RC構造 16㎡ 地上１階建　1棟 3㎥　1基 3.5㎥　1基	－	RC構造 14.04㎡ 地上１階建　1棟 2.5㎥　1基	－
滅菌設備	CB造 15㎡ 平屋建　1棟	RC造 6.6㎡ 地上1階建　3棟 RC造 30㎡(貯蔵室) 地上１階建　1棟	－	－
取水ポンプ	－	－	水中ポンプ φ125×2.7㎥/min×14m ×3,600/60s^{-1}×15kw　1台	水中ポンプ φ80×1.4㎥/min×13m ×3,600/60s^{-1}×5.5kw　1台
導水ポンプ	水中ポンプ φ200×4.7㎥／min× 46m×3,600/60s^{-1}×55kw　4台	－	－	－
送水ポンプ	水中ポンプ φ125×2.05㎥／min× 66m×3,600/60s^{-1}×37kw　3台	－	－	－
滅　菌　機	次亜注入ポンプ 38ml/min　2台	次亜注入ポンプ 38ml/min　5台	－	－
自家発電装置	ガスタービン機関 三相交流発電機 6,600V625KVA750ps　1台	ディーゼル機関 三相交流発電機 220V50KVA65ps　1台	ディーゼル機関 三相交流発電機 220V150KVA180ps　1台	－

② 桑名西部水源系

	桑名西部水源地 (1号井～4号井)	西部5号井	西部6号井	西部7・8号井
竣　工	昭和44年 平成11年	昭和40年 平成5年	平成8年	平成14年
所　在　地	桑名市大字芳ケ崎 字前友1629,1631	桑名市大字五反田 字前友2050-1	桑名市大字星川 字森忠前2242	桑名市大字芳ケ崎 字前友1648
用地面積	13,128.00㎡ BL+19.091m	1,047.00㎡ GL+19.0m	755.00㎡ GL+19.0m	1,663.00㎡ BL+19.091m
最大取水能力	1号井4,800㎥/日 2号井4,700㎥/日 3号井4,700㎥/日 4号井4,700㎥/日	4,700㎥/日	3,400㎥/日	7号井 3,000㎥/日 8号井 3,000㎥/日
最大送水能力	33,000㎥/日	－	－	－
取　水　井	浅井戸 φ600×25.0m　4井	浅井戸 φ900×20.0m　1井	浅井戸 φ1,000×20.0m　1井	7号井 浅井戸 φ1,000×17.0m　1井 8号井 浅井戸 φ1,000×21.5m　1井
浄　水　池	RC造 1,500㎡ 17m×30m×3m　1池 RC造 1,800㎡ 20m×30m×3m　1池 RC造 250㎡ 4m×32m×2m　1池	－	－	－
配　水　池	－	－	－	－
管　理　棟	RC造 1,122.22㎡ 地下1階地上2階建　1棟	RC造 38㎡ 地上1階建　1棟	RC造 10㎡ 地上1階建　1棟	RC造 114㎡ 地上1階建　1棟
滅菌設備	RC造 78.57㎡ 地上1階建　1棟	－	－	－
遊離炭酸除去設備	RC造 302㎡ 地上1階建　1棟	－	－	－
ｴｱｰﾁｬﾝﾊﾞｰ設備	RC造 15㎡ 地上1階建　2棟 3㎥　2基	－	－	－
取水ポンプ	水中ポンプ φ150×3.75㎥/min×40m ×3,600/60s^{-1}×37kw　4台	水中ポンプ φ150×3.75㎥/min×40m×3,600/60s^{-1}×37kw　1台	水中ポンプ φ150×3.47㎥/min×30m×3,600/60s^{-1}×30kw　1台	7号井 水中ポンプ φ150×3.47㎥/min×30m×3,600/60s^{-1}×30kw　1台 8号井 水中ポンプ φ150×3.47㎥/min×30m×3,600/60s^{-1}×30kw　1台
送配水ポンプ	両吸込渦巻 φ250×φ150 ×6.51㎥/min×99m ×1,800/60s^{-1}×160kw　6台	－	－	－
滅菌機	次亜注入ポンプ 38ml/min　8台	－	－	－
自家発電装置	ｶﾞｽﾀｰﾋﾞﾝ機関 三相交流発電機 6,600V1,250KVA　1台	－	－	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ機関 三相交流発電機 220V150KVA180ps　1台

	西方配水場	大山田配水場	松ノ木配水・加圧所	星見ケ丘配水場
竣　　工	昭和44年	昭和52年 昭和61年	平成14年	平成5年
所　在　地	桑名市大字西方 南之広1117	桑名市松ノ木 四丁目8-1	桑名市松ノ木 四丁目7-59	桑名市星見ケ丘 一丁目210
用地面積	3,081.44㎡ BL+79.759m	4,125.57㎡ BL+92.142m	1,645.71㎡ GL+92.0m	396.96㎡ BL+90.8m
最大取水能力	－	－	－	－
最大送配水能力	－	12,000㎥/日	5,000㎥/日	1,000㎥/日
取　水　井	－	－	－	－
浄　水　池	－	－	－	－
配　水　池	PC造 2,500㎥ φ24m×6m　1池 緊急遮断弁 φ250mm　1基	PC造 3,000㎥ φ25m×6.3m　1池 PC造 2,800㎥ φ24m×6.3m　1池 緊急遮断弁 φ600mm　1基	PC造 980㎥ φ14.2m×6.2m （有効容量630㎥）　1池 緊急遮断弁 φ150mm　1基	PC造 1,930㎥ φ12.4m×19m （有効容量360㎥）　1池 緊急遮断弁 φ150mm　1基
管　理　棟	LGS造 23㎡ 地上1階建　1棟	RC造 260㎡ 地下1階地上2階建　1棟	RC造 188.23㎡ 地下1階地上1階建　1棟	－
滅菌設備	－	－	－	－
遊離炭酸除去設備	－	－	－	－
ｴｱｰﾁｬﾝﾊﾞｰ設備	－	－	0.6㎥　1基	－
取水ポンプ	－	－	－	－
送配水ポンプ	－	両吸込渦巻 φ200×φ150 ×4.3㎥/min×35m ×1,800/60s^{-1}×37kw　4台	水中ポンプ φ125×1.9㎥/min×55m ×3,600/60s^{-1}×30kw　3台	水中ポンプ φ80×0.9㎥/min×23m ×3,600/60s^{-1}×5.5kw　2台
滅　菌　機	－	－	－	－
自家発電装置	－	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ機関 三相交流発電機 220V250KVA360ps　1台	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ機関 三相交流発電機 220V150KVA180ps　1台	可搬式ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ機関 220V25KVA　1台

大山田東配水場	桑名北部配水場	七和配水場	播磨配水場
昭和63年	昭和44年 平成 5年	昭和44年	平成14年
桑名市藤が丘 四丁目107	桑名市大字蛎塚 新田字温泉562-2	桑名市大字森忠 広見1545	桑名市陽だまりの丘 五丁目305
6,645.00㎡ BL+92.3m	1,526㎡ BL+37.812m	2,764.14㎡ BL+66.207m	3,474.94㎡ GL+116.207m
—	—	—	—
10,000㎥/日	—	—	—
—	—	—	—
RC造（受水槽）270㎥ 11m×6m×6.4m 1池	—	—	—
PC造二重構造 8,000㎥ φ40.5m×6.2m 1池 緊急遮断弁 φ600mmφ400mm 2基	PC造 1,000㎥ φ16m×5m 1池 緊急遮断弁 φ250mm 1基	—	PC造二段構造 超高区900㎥ φ20m×3m 高区2,310㎥ φ20m×7.5m 1池 緊急遮断弁 φ200mm，φ150mm 2基
RC造 84㎡ 地上1階建 1棟	RC造 12㎡ 地上1階建 1棟	RC造 20㎡ 地上1階建 1棟	RC造 29.46㎡ 地上1階建 1棟
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
水中ポンプ φ200×4.87㎥/min×11.4m×3,600/60s^{-1}×15kw 2台	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—

③　桑名南部水源系

	桑名南部水源地 (1号井)	南部2号井	南部3号井	桑名南部配水場
竣　　工	平成6年	平成5年	－	昭和56年
所　在　地	桑名市大字島田 川北1056-3	桑名市大字島田 川北1066-7	桑名市大字島田 幸田819	桑名市大字能部 松葉谷1498-1
用地面積	927.00㎡ BL+17.547m	220.48㎡ GL+16.9m	422.00㎡ GL+16.9m	6,805.00㎡ GL+65.0m
最大取水能力	3,100㎥/日	3,300㎥/日	－	－
最大送水能力	9,700㎥/日	－	－	－
取　水　井	浅井戸 φ1,000×25.0m　1井	浅井戸 φ1,000×25.0m　1井	浅井戸 φ1,000×24.0m　1井	－
浄　水　池	RC造 420㎡ 10m×9m×6m　1池	－	－	－
配　水　池	－	－	－	PC造 4,000㎥　φ28m×6.5m　1池 緊急遮断弁 φ600mm　1基
管　理　棟	RC造 370.75㎡ 地上3階建　1棟	PC造 86.19㎡ 地上2階建　1棟	－	RC造 40㎡ 地下1階地上1階建　1棟
取水ポンプ	水中ポンプ φ150×3.47㎥/min ×30m×3,600/60s^{-1} ×30kw　1台	水中ポンプ φ150×3.47㎥/min ×30m×3,600/60s^{-1} ×30kw　1台	－	－
送配水ポンプ	水中ポンプ φ150×3.1㎥/min ×90m×1,800/60s^{-1} ×75kw　3台	－	－	－
ｴｱｰﾁｬﾝﾊﾞｰ設備	鉄骨構造 9㎡ 地上１階建　1棟 3㎥　1基	－	－	－
滅　菌　機	次亜注入ポンプ 38ml/min　2台	－	－	－
自家発電装置	ガスタービン機関 三相交流発電機 6,600V400KVA480ps　1台	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ機関 三相交流発電機 220V100KVA122ps　1台	－	－

赤尾配水場	赤尾加圧所	城南配水・減圧所
平成3年	平成3年	平成6年
桑名市赤尾台 四丁目12	桑名市赤尾台 四丁目1	桑名市大字和泉 リノ割1170,1170-1
7,228.00㎡ GL+86.0m	218.00㎡ GL+45.0m	617.00㎡
—	—	—
—	1,000㎥/日	—
—	—	—
—	—	—
PC造 1,000㎥ φ18m×4m 1池 緊急遮断弁 φ150mm 1基	—	—
RC造 20㎡ 地上1階建 1棟	RC造 48㎡ 地上1階建 1棟	RC造 13㎡ 地上1階建 1棟
—	—	—
—	水中ポンプ φ65×0.75㎥/min ×50m×3,600/60s^{-1} ×11kw 2台	—
—	—	—
—	—	—
—	可搬式ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ機関 220V45KVA 1台	—

(2)　多度地区

①　多度北部水源系

	多度1・2号井	多度4号井	多度北部送水場	多度北部第2送水場	多度北部配水場
竣　　工	昭和39年 昭和59年	昭和60年	昭和59年	昭和60年	昭和59年
所 在 地	桑名市多度町柚井 堺川24	桑名市多度町柚井 関東1435-2	桑名市多度町戸津 八里311	桑名市多度町多度 向山738-9	桑名市多度町小山 貝穀谷2656-6
用地面積	512.50㎡ GL+5.7m	104.11㎡	392.40㎡ GL+4.3m	625.00㎡ GL+18.6m	1,925.00㎡ GL+97.0m
最大取水能力	1号井1,800㎥/日 2号井1,800㎥/日	2,300㎥/日 (予備井戸2,300㎥)	－	－	－
最大送配水能力	－	－	3,600㎥/日	2,300㎥/日	－
取 水 井	深井戸 1号井 φ300×51.0m　1井 2号井 φ300×100.0m　1井	深井戸 φ400×50.0m　2井	－	－	－
原 水 池	RC造 75㎥ 4.8m×6.4m×2.5m　1池	－	－	－	－
浄 水 池	－	－	RC造 117㎥ 5.0m×9.5m×2.5m　2池	RC造 104.5㎥ 5.43m×7.7m×2.5m　1池 RC造 123.5㎥ 5.0m×9.5m×2.6m　1池	－
配 水 池	－	－	－	－	PC造二重構造 3,000㎥ φ22.3m　1池 緊急遮断弁 φ250　1基
取水ポンプ	水中ポンプ φ125×1.4㎥/min ×17m×3,600/60s^{-1} ×11kw　2台	水中ポンプ φ125×1.74㎥/min ×23m×3,600/60s^{-1} ×11kw　2台	－	－	－
送配水ポンプ	水中ポンプ φ80×1.2㎥/min ×24.5m×3,600/60s^{-1} ×7.5kw　3台	－	多段渦巻ポンプ φ100×1.3㎥/min ×108m×1,800/60s^{-1} ×45kw　4台	多段渦巻ポンプ φ100×1.16㎥/min ×98m×1,800/60s^{-1} ×37kw　4台	－
管 理 棟	RC造 103.22㎡ 地上1階建　1棟	RC造　32.00㎡ 地上1階建　1棟	RC造　122.43㎡ 地上1階建　1棟	RC造　128.00㎡ 地上1階建　1棟	－
滅 菌 機	－	－	滅菌ポンプ 38ml/min　4台	滅菌ポンプ 38ml/min　4台	－
自家発電装置	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ発電機 220V90KVA　1台	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ発電機 220V65KVA　1台	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ発電機 220V200KVA　1台	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ発電機 220V150KVA　1台	－

② 多度中部水源系

	多度6号井	多度中部送水場	小山配水場
竣工	昭和59年	昭和59年	昭和39年、昭和59年、平成23年
所在地	桑名市多度町大字御衣野 石原140-2	桑名市多度町小山 西谷通1261-1	桑名市多度町小山西 天王平2100-1
用地面積	48.00㎡ GL+11.3m	115.00㎡ GL+24.5m	804.00㎡ GL+67.0m
最大取水能力	2,400㎥/日	－	－
最大送配水能力	－	2,400㎥/日	－
取水井	深井戸 φ600×21.0m 1井	－	－
浄水池	－	RC造 50㎥ 3.0m×6.8m×2.5m 2池	－
配水池	－	－	RC造 911㎥ 1池 RC造 375㎥ 1池 緊急遮断弁 φ250mm 1基
ｴｱｰﾁｬﾝﾊﾞｰ設備	－	3㎥ 1基	－
取水ポンプ	水中ポンプ φ125×1.66㎥/min×32m× 3,600/60s^{-1}×15kw 1台	－	－
送水ポンプ	－	多段渦巻ポンプ φ125×1.66㎥/min×60m× 1,800/60s^{-1}×30kw 2台	－
管理棟	－	RC造 57.94㎡ 地上1階建 1棟	RC造 28.0㎡ 地上1階建 1棟
滅菌機	－	滅菌ポンプ 38ml/min 2台	－

③ 多度南部水源系

	多度7号井	多度8号井	多度南部配水場
竣工	昭和59年	平成13年	昭和59年
所在地	桑名市多度町大字御衣野 亥ノ谷2000-5	桑名市多度町大字御衣野 松ノ下698-2	桑名市多度町大字御衣野 山ノ奥1511-7
用地面積	204.00㎡ GL+40.4m	143.00㎡ GL+6.5m	5,688.00㎡ GL+76.0m
最大取水能力	2,100㎥/日（井戸2,100㎥）	2,000㎥/日（井戸2,000㎥）	－
最大送配水能力	－	－	－
取水井	深井戸 φ350×110.0m 1井	深井戸 φ350×105.0m 1井	－
配水池	－	－	PC造φ19.6m 1,500㎥ 1池 緊急遮断弁φ250 1基
ｴｱｰﾁｬﾝﾊﾞｰ設備	－	0.5㎥ 1基	－
取水ポンプ	水中ポンプ φ125×1.46㎥/min×65m× 3,600/60s^{-1}×30kw 1台	水中ポンプ φ125×1.39㎥/min×90m× 3,600/60s^{-1}×37kw 1台	－
管理棟	RC造 36.00㎡ 地上1階建 1棟	RC造 31.50㎡ 地上1階建 1棟	－
滅菌設備	－	－	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造 14.00㎡ 1室
滅菌機	－	－	次亜注入ポンプ 38ml/min 1台
自家発電装置	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ発電機 220V70KVA 1台	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ発電機 200V200KVA 1台	－

④　古野水源系、美鹿水源系

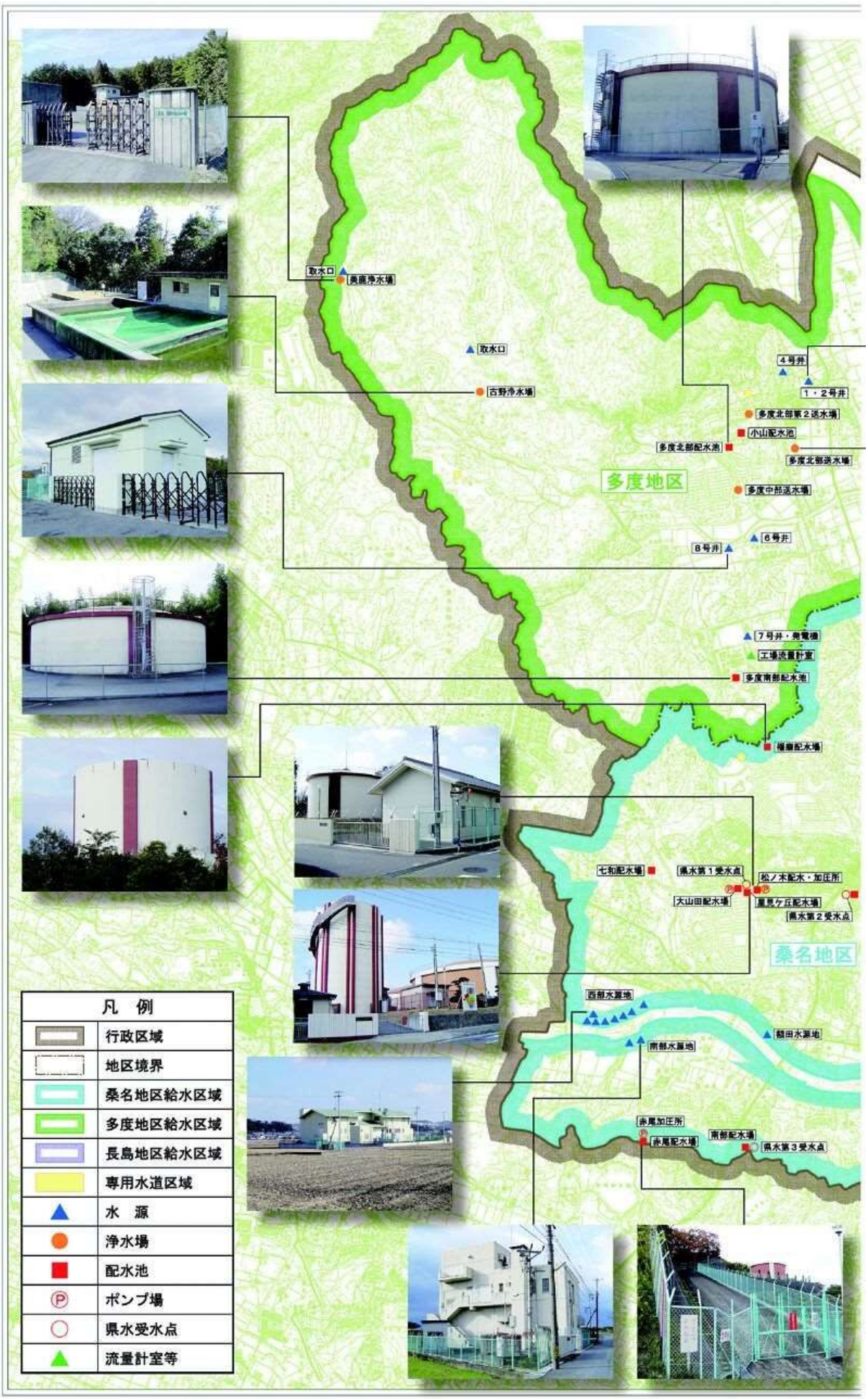
	古野浄水場	美鹿浄水場
竣　　工	昭和58年	昭和61年
所　在　地	桑名市多度町古野1226-6他	桑名市多度町美鹿878-2他
用地面積	1,128㎡ GL+152.5m	2,284.91㎡ BL+205.888m
最大取水能力	400㎥/日（表流水400㎥）	198㎥/日（表流水198㎥）
着　水　井	RC造 21㎥ 1.5m×5.0m×2.8m　1池	RC造 3.75㎥ 1.0m×2.5m×1.5m　1池
配　水　池	RC造 240㎥ 5.5m×7.5m×3.0m　2池構造　1池	RC造 135㎥ 4.5m×6.0m×2.5m　2池構造　1池
普通沈殿池	RC造 162.54㎥ 2.7m×21.5m×2.8m　1池	RC造 81.25㎥ 2.5m×13.0m×2.5m　1池
ろ　過　池	緩速ろ過池 48㎡　RC造 6.0m×8.0m　3池	緩速ろ過池 45㎡　RC造 6.0m×7.5m　2池
滅　菌　機	次亜注入ポンプ38ml/min　1台	次亜注入ポンプ38ml/min　1台
管　理　棟	CB造 14.62㎡　地上2階建　1棟	CB造 7.6㎡　地上2階建　1棟

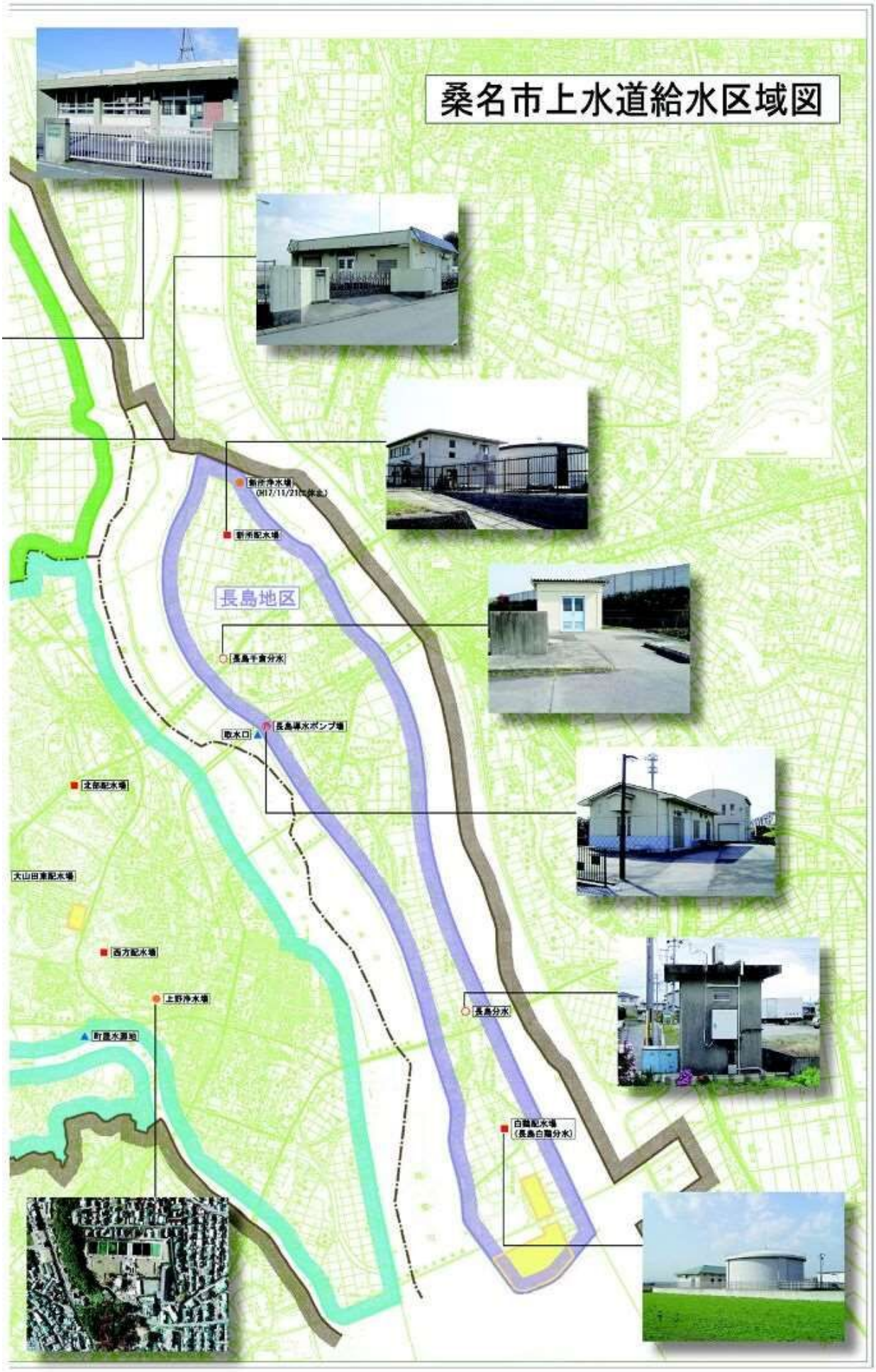
(3)　長島地区

	新所配水場	白鶏配水場	長島導水ポンプ場
竣　　工	平成6年	平成14年	平成10年
所　在　地	桑名市長島町 新所東河原50-1	桑名市長島町 白鶏171-2	桑名市長島町 西外面神明下873-1
用地面積	3,011.18㎡	2,005.00㎡	1,518.24㎡
配　水　池	PC造 2,000㎥ φ20m×6.5m　1池	PC造 2,000㎥ φ20m×6.5m　1池	－
管　理　棟	PC造 403㎡ 地下1階地上2階建　1棟	SRC造 325㎡ 地下1階地上1階建　1棟	RC造 121㎥ 平屋建　1棟
導水ポンプ	－	－	水中ポンプ φ75×1.01㎥/min×27m× 3,600/60s^{-1}×7.5kw　3台
配水ポンプ	多段渦巻ポンプ φ150×2.3㎥/min×50m× 1,800/60s^{-1}×45kw　3台	多段渦巻ポンプ φ150×2.3㎥/min×50m× 1,800/60s^{-1}×45kw　3台	－
滅　菌　機	次亜注入ポンプ 2.4～24CC/min　2台	次亜注入ポンプ 2.4～24CC/min　2台	－
自家発電装置	ﾊﾟｯｹｰｼﾞ型 ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ機関 200KVA　1台	ﾊﾟｯｹｰｼﾞ型 ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ機関 220KVA　1台	ﾊﾟｯｹｰｼﾞ型 ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ機関 60KVA　1台

(4)　水道施設一覧表

施設名	所在地	敷地面積(㎡)
町屋水源地	桑名市大字稗田外川原 919-1	4,778.00
上野浄水場	〃　大字上野字笠松 282	13,765.10
額田1号井	〃　大字額田前川原　19～21	1,136.00
額田2号井	〃　大字額田前川原　南河原133-1	312.00
桑名西部水源地(1号井～4号井)	〃　大字芳ケ崎前友 1629、1631	13,128.00
西部5号井	〃　大字五反田前友 2050-1	1,047.00
西部6号井	〃　大字星川森忠前 2242	755.00
西部7・8号井	〃　大字芳ケ崎前友 1648	1,663.00
西方配水場	〃　大字西方字南之広 1117	3,081.44
大山田配水場	〃　松ノ木四丁目 8-1	4,125.57
松ノ木配水・加圧所	〃　松ノ木四丁目 7-59	1,645.71
星見ケ丘配水場	〃　星見ケ丘一丁目 210	396.96
大山田東配水場	〃　藤が丘四丁目 107	6,645.00
桑名北部配水場	〃　大字蛎塚新田字温泉 562-2	3,500.65
七和配水場	〃　大字森忠広見 1545	2,764.14
播磨配水場	〃　陽だまりの丘五丁目 305	3,474.94
桑名南部水源地(1号井)	〃　大字島田川北 1056-3	927.00
南部2号井	〃　大字島田川北 1066-7	220.48
南部3号井	〃　大字島田幸田 819	422.00
桑名南部配水場	〃　大字能部字松葉谷 1498-1	6,805.00
赤尾配水場	〃　赤尾台四丁目 12	7,228.00
赤尾加圧所	〃　赤尾台四丁目 1	218.00
城南配水・減圧所	〃　大字和泉リノ割 1170,1170-1	617.00
多度1・2号井	〃　多度町柚井堺川 24	512.50
多度4号井	〃　多度町柚井関東 1435-2	104.11
多度北部送水場	〃　多度町戸津八里 311	392.40
多度北部第2送水場	〃　多度町多度向山 738-9	625.00
多度北部配水場	〃　多度町小山字貝穀谷 2656-6	1,925.00
多度6号井	〃　多度町御衣野石原 140-2	48.00
多度中部送水場	〃　多度町小山西谷通 1261-1	115.00
小山配水場	〃　多度町小山西天王平 2100-1	804.00
多度7号井	〃　多度町御衣野亥ノ谷 2000-5	204.00
多度8号井	〃　多度町御衣野松ノ下 698-2	143.00
多度南部配水場	〃　多度町御衣野山ノ奥 1511-7	5,688.00
古野浄水場	〃　多度町古野 1226-6他	1,128.00
美鹿浄水場	〃　多度町美鹿 878-2他	2,284.91
新所浄水場	〃　長島町新所堤添 1184-68	4,035.11
新所配水場	〃　長島町新所東河原 50-1	3,011.18
白鶏配水場	〃　長島町白鶏 171-2	2,005.00
長島導水ポンプ場	〃　長島町西外面神明下 873-1	1,518.24


取水口
奥鹿浄水場
取水口
古野浄水場
4号井
1・2号井
多度北部第2送水場
小山配水池
多度北部配水池
多度北部送水場
多度地区
多度中部送水場
6号井
8号井
7号井・発電機
工場流量計室
多度南部配水池
福徳配水場
七和配水場
県水第1受水点
松ノ木配水・加圧所
大山田配水場
星見ケ丘配水場
県水第2受水点
桑名地区
西部水源地
南部水源地
頼田水源地
赤尾加圧所
赤尾配水場
南部配水場
県水第3受水点
凡　例
行政区域
地区境界
桑名地区給水区域
多度地区給水区域
長島地区給水区域
専用水道区域
水　源
浄水場
配水池
ポンプ場
県水受水点
流量計室等


桑名市上水道給水区域図
新所浄水場
(H17/11/21休止)
新所配水場
長島地区
長島千倉分水
長島導水ポンプ場
取水口
北部配水場
大山田東配水場
西方配水場
上野浄水場
町屋水源地
長島分水
白鶴配水場
(長島白鶴分水)

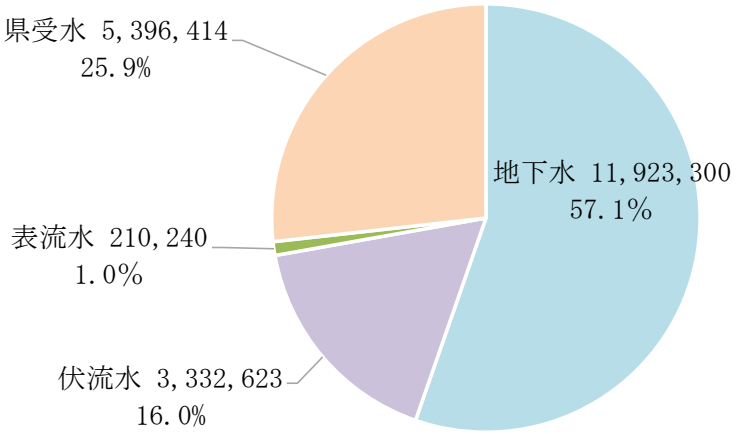
3　業務状況

(1)　水道水源取水内訳

水源系		施設名	取水方法	取水施設数	公称能力（㎥/日）	最大取水量（㎥/日）	取水及び受水量（㎥/年）
町屋水源系		町屋水源地	伏流水	1	10,000	10,000	3,332,623
額田水源系		額田1号井	浅井戸水	1	3,800	3,800	995,737
		額田2号井	浅井戸水	1	2,000	2,000	555,725
西部水源系		西部1号井	浅井戸水	1	4,800	4,800	1,235,117
		西部2号井	浅井戸水	1	4,700	4,700	1,235,227
		西部3号井	浅井戸水	1	4,700	4,700	1,230,413
		西部4号井	浅井戸水	1	4,700	4,700	1,193,984
		西部5号井	浅井戸水	1	4,700	－	休止中
		西部6号井	浅井戸水	1	3,400	3,400	1,029,400
		西部7号井	浅井戸水	1	3,000	3,000	1,001,715
		西部8号井	浅井戸水	1	3,000	3,000	1,021,799
南部水源系		南部1号井	浅井戸水	1	3,100	3,100	855,980
		南部2号井	浅井戸水	1	3,300	－	休止中
		南部3号井	浅井戸水	1	3,300	－	未施工
多度北部送水系		多度1号井	深井戸水	1	1,800	1,800	248,969
		多度2号井	深井戸水	1	1,800	1,800	270,565
多度北部第２送水系		多度4号井	深井戸水	2（1井予備）	2,300	2,300	447,813
多度中部送水系		多度6号井	深井戸水	1	2,400	2,400	327,353
多度南部系		多度7号井	深井戸水	1	2,100	－	休止中
		多度8号井	深井戸水	1	2,000	2,000	273,503
多度川水系		古野浄水場	表流水	1	400	400	140,160
肱江川水系		美鹿浄水場	表流水	1	198	198	70,080
取水量計				23	71,498	58,098	15,466,163
北勢水道系（企業庁）	木曽川水系	桑名第1分水	受水	1	6,000	25,400	1,606,106
		桑名第2分水	受水	1	8,000		897,511
		桑名第3分水	受水	1	4,100		749,928
		長島分水	受水	1	3,100		1,299,215
		長島白鶏分水	受水	1	900		230,455
		長島千倉分水	受水	1	2,200		331,533
		木曽川水系小計			24,300		5,114,748
	長良川水系	長島白鶏分水	受水	(1)	1,100		281,666
		長良川水系小計			1,100		281,666
受水量計				6	25,400	25,400	5,396,414
合計				29	96,898	83,498	20,862,577

水源別構成割合

単位：㎥



(2)　取水量・受水量・配水量の推移

（単位：㎥）

区分 年度	取水量・受水量			配水量	1日平均 配水量	1日最大 配水量
	自己水	県水	計			
令和２年度	15,062,435	5,620,226	20,682,661	19,902,361	54,527	60,241
令和３年度	15,184,342	5,523,827	20,708,169	19,772,192	54,170	59,024
令和４年度	15,466,163	5,396,414	20,862,577	19,979,258	54,737	64,592
４月	1,245,423	424,487	1,669,910	1,607,076	53,569	55,911
５月	1,295,268	436,125	1,731,393	1,665,343	53,720	56,347
６月	1,271,730	459,367	1,731,097	1,648,380	54,946	58,731
７月	1,316,681	493,606	1,810,287	1,716,000	55,354	58,866
８月	1,321,809	488,790	1,810,599	1,706,835	55,059	58,912
９月	1,271,108	441,483	1,712,591	1,648,984	54,966	56,993
10月	1,308,861	464,312	1,773,173	1,713,912	55,287	57,284
11月	1,274,358	438,024	1,712,382	1,637,432	54,581	55,899
12月	1,326,889	429,260	1,756,149	1,703,000	54,935	57,419
１月	1,326,385	442,269	1,768,654	1,705,186	55,006	64,592
２月	1,192,539	439,792	1,632,331	1,545,187	55,185	57,891
３月	1,315,112	438,899	1,754,011	1,681,923	54,255	55,932
月平均	1,288,847	449,701	1,738,548	1,664,938	—	—
日平均	42,373	14,785	57,158	54,738	—	—

(3)　薬品使用量、動力用電力使用量及び電力料金

区分 年度	次亜塩素酸ソーダ (kg)	電力量 (Kwh)	電力料金 (円)	配水量1㎥当たり電力料金 (円)
令和２年度	75,005	9,888,402	149,482,430	7.51
令和３年度	73,920	9,996,888	165,954,535	8.39
令和４年度	74,770	10,267,491	264,276,300	13.23
４　月	4,955	845,382	17,229,581	10.72
５　月	5,275	841,580	17,855,681	10.72
６　月	5,535	840,061	18,220,297	11.05
７　月	6,795	872,717	20,126,578	11.73
８　月	6,430	879,138	21,316,106	12.49
９　月	9,890	871,642	22,326,363	13.54
10　月	6,140	853,339	22,765,363	13.28
11　月	5,545	854,840	23,934,560	14.62
12　月	9,080	858,869	26,322,644	15.46
１　月	4,025	880,537	27,994,547	16.42
２　月	5,560	834,889	23,618,367	15.29
３　月	5,540	834,497	22,566,213	13.42
月平均	6,231	855,624	22,023,025	—
日平均	205	28,130	724,045	—

(4)　事業の推移状況

項目＼年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
給水区域内戸数　(戸)	64,483	64,885	65,278
給水区域内人口　(人)	141,045	139,712	139,169
計画給水人口　(人)	143,256	143,256	141,750
給水戸数　(戸)	64,475	64,877	65,269
給水人口　(人)	141,025	139,692	139,149
配水量　(㎥)	19,902,361	19,772,192	19,979,258
有収水量　(㎥)	16,760,718	16,611,266	16,339,945
1日最大配水量　(㎥)	60,241	58,683	64,592
1日平均配水量　(㎥)	54,527	54,170	54,737
有収率　(%)	84.21	84.01	81.78
供給単価　(円)	123.01	137.78	139.65
給水原価　(円)	133.02	133.64	143.41
導送配水管布設延長　(m)	1,030,886	1,033,405	1,035,271
給水収益　(千円)	2,061,717	2,288,618	2,281,871
総収益　(千円)	2,722,591	2,667,662	2,672,429
総費用　(千円)	2,529,357	2,502,823	2,621,631

(注1) 給水収益・総収益・総費用は消費税及び地方消費税を含まない。

(注2) 平成24年度年報から、導送配水管布設延長についてはＧＩＳシステムによる総延長を掲載している。

(5)　給水件数

①　口径別　（単位：件）

口径 / 年度	φ13	φ20	φ25	φ30	φ40	φ50	φ75	φ100	φ150	φ200	計
令和２年度	22,914	32,348	1,524	12	582	194	40	4	3	2	57,623
令和３年度	22,906	32,770	1,519	12	586	192	39	4	3	2	58,033
令和４年度	22,832	33,149	1,539	12	580	193	36	4	3	2	58,350

②　地区別　（単位：件）

地区別 / 年度	日　進	精　義	立　教	城　東	益　世	修　徳	大　成	大　和	桑　部
令和２年度	2,488	1,716	1,537	445	3,276	1,490	5,206	4,181	2,110
令和３年度	2,489	1,730	1,548	442	3,252	1,501	5,329	4,221	2,128
令和４年度	2,490	1,742	1,525	438	3,320	1,500	5,363	4,270	2,158

地区別 / 年度	在　良	七　和	久　米	深　谷	城　南	大山田	多　度	長　島	計
令和２年度	3,610	5,491	2,691	1,956	4,747	6,736	4,327	5,616	57,623
令和３年度	3,609	5,529	2,720	1,922	4,843	6,792	4,343	5,635	58,033
令和４年度	3,621	5,560	2,705	1,927	4,912	6,815	4,359	5,645	58,350

③　用途別　（単位：件）

用途 / 年度	一般用	湯屋用	プール用	その他	計
令和２年度	57,601	5	15	2	57,623
令和３年度	58,010	5	12	6	58,033
令和４年度	58,330	6	10	4	58,350

④　消火栓設備設置数　（単位：個）

区分 / 年度	単口	双口	計
令和２年度	3,230	28	3,258
令和３年度	3,232	28	3,260
令和４年度	3,233	28	3,261

(6)　水道メーター設置状況

（単位：個）

区分 / 口径	直読式	隔測式	計
φ13 ㎜	27,401	2	27,403
φ20 ㎜	34,594	0	34,594
φ25 ㎜	1,753	0	1,753
φ30 ㎜	13	0	13
φ40 ㎜	657	8	665
φ50 ㎜	0	221	221
φ75 ㎜	0	61	61
φ100 ㎜	0	6	6
φ150 ㎜	0	3	3
φ200 ㎜	0	2	2
計	64,418	303	64,721

(7)　水道メーター開閉栓及び取替件数

（単位：件）

区分	開栓			閉栓			取替		
口径	新設	開始	計	撤去	休止	計	検定満期	故障	計
φ13 ㎜	123	1,654	1,777	50	1,859	1,909	3,304	3	3,307
φ20 ㎜	398	2,126	2,524	17	2,149	2,166	5,066	5	5,071
φ25 ㎜	15	33	48	5	33	38	117	0	117
φ30 ㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ40 ㎜	4	9	13	1	11	12	55	0	55
φ50 ㎜	2	9	11	1	10	11	22	0	22
φ75 ㎜	0	18	18	1	20	21	4	0	4
φ100 ㎜	0	2	2	0	2	2	1	0	1
φ150 ㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ200 ㎜	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ﾘﾓｰﾄﾒｰﾀｰ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	542	3,851	4,393	75	4,084	4,159	8,569	8	8,577

(8)　給水工事件数

（単位：件）

区分 年度	新設工事	増設工事	舗装先行工事	撤去工事	修繕工事	計
令和２年度	547	544	25	3	0	1,119
令和３年度	455	637	17	4	0	1,113
令和４年度	548	555	15	3	0	1,121
４月	38	36	3	0	0	77
５月	37	34	3	3	0	77
６月	40	47	0	0	0	87
７月	53	45	0	0	0	98
８月	40	35	1	0	0	76
９月	32	61	2	0	0	95
10月	58	54	0	0	0	112
11月	49	39	0	0	0	88
12月	69	44	1	0	0	114
１月	33	57	4	0	0	94
２月	34	64	1	0	0	99
３月	65	39	0	0	0	104

(9)　水道料金収納体系状況

年度＼区分		直配納付	委託集金	口座振替	クレジット	計
令和２年度	件　数（件）	62,495	53	238,805	36,108	337,461
	比　（%）	18.52	0.02	70.77	10.69	100.00
令和３年度	件　数（件）	64,637	12	241,433	41,012	347,094
	比　（%）	18.62	0.00	69.56	11.82	100.00
令和４年度	件　数（件）	65,016	0	240,239	44,162	349,417
	比　（%）	18.61	0.00	68.75	12.64	100.00
４月	件　数（件）	4,234	0	15,276	2,391	21,901
	比　（%）	19.33	0.00	69.75	10.92	100.00
５月	件　数（件）	6,937	0	24,739	4,590	36,266
	比　（%）	19.13	0.00	68.22	12.65	100.00
６月	件　数（件）	4,031	0	15,335	2,493	21,859
	比　（%）	18.44	0.00	70.15	11.41	100.00
７月	件　数（件）	6,640	0	24,871	4,718	36,229
	比　（%）	18.33	0.00	68.65	13.02	100.00
８月	件　数（件）	4,094	0	15,320	2,539	21,953
	比　（%）	18.65	0.00	69.79	11.56	100.00
９月	件　数（件）	6,671	0	24,844	4,803	36,318
	比　（%）	18.37	0.00	68.41	13.22	100.00
10月	件　数（件）	4,109	0	15,265	2,559	21,933
	比　（%）	18.73	0.00	69.60	11.67	100.00
11月	件　数（件）	6,733	0	24,736	4,859	36,328
	比　（%）	18.53	0.00	68.09	13.38	100.00
12月	件　数（件）	4,084	0	15,279	2,592	21,955
	比　（%）	18.60	0.00	69.59	11.81	100.00
１月	件　数（件）	6,664	0	24,725	4,936	36,325
	比　（%）	18.35	0.00	68.07	13.58	100.00
２月	件　数（件）	4,052	0	15,173	2,637	21,862
	比　（%）	18.53	0.00	69.40	12.07	100.00
３月	件　数（件）	6,767	0	24,676	5,045	36,488
	比　（%）	18.55	0.00	67.63	13.82	100.00

(10)　水道用途別使用量

区分 / 年度	一般用			湯屋用		
	件数（件）	使用量（㎥）	1件当り（㎥）	件数（件）	使用量（㎥）	1件当り（㎥）
令和２年度	337,300	16,713,101	49.55	24	23,505	979.38
令和３年度	346,911	16,556,745	47.73	30	23,836	794.53
令和４年度	349,157	16,257,890	46.56	31	26,234	846.26
４　月	21,895	881,332	40.25	0	0	0.00
５　月	36,231	1,793,038	49.49	5	4,671	934.20
６　月	21,845	915,705	41.92	0	0	0.00
７　月	36,193	1,811,306	50.05	5	4,481	896.20
８　月	21,940	922,548	42.05	0	0	0.00
９　月	36,282	1,864,182	51.38	5	4,756	951.20
10　月	21,920	896,726	40.91	0	0	0.00
11　月	36,295	1,828,862	50.39	5	4,516	903.20
12　月	21,915	905,781	41.33	0	0	0.00
１　月	36,311	1,791,640	49.34	5	4,079	815.80
２　月	21,854	929,305	42.52	2	8	4.00
３　月	36,476	1,717,465	47.08	4	3,723	930.75

学校プール用			その他			合計		
件数（件）	使用量（㎥）	1件当り（㎥）	件数（件）	使用量（㎥）	1件当り（㎥）	件数（件）	使用量（㎥）	1件当り（㎥）
126	24,009	190.55	12	103	8.58	337,462	16,760,718	49.67
131	27,841	212.53	24	2,844	118.50	347,096	16,611,266	47.86
203	54,974	270.81	26	847	32.58	349,417	16,339,945	46.76
6	40	6.67	0	0	0.00	21,901	881,372	40.24
26	2,592	99.69	4	61	15.25	36,266	1,800,362	49.64
12	4,250	354.17	2	18	9.00	21,859	919,973	42.09
26	22,872	879.69	5	20	4.00	36,229	1,838,679	50.75
12	9,596	799.67	1	8	8.00	21,953	932,152	42.46
27	7,499	277.74	4	52	13.00	36,318	1,876,489	51.67
12	2,248	187.33	1	1	1.00	21,933	898,975	40.99
27	4,472	165.63	1	60	60.00	36,328	1,837,910	50.59
40	906	22.65	0	0	0.00	21,955	906,687	41.30
5	28	5.60	4	501	125.25	36,325	1,796,248	49.45
6	451	75.17	1	8	8.00	21,863	929,772	42.53
4	20	5.00	3	118	39.33	36,487	1,721,326	47.18

(11)　地区別水道使用水量

地区 ＼ (期別)(月別)	第１期 （４月・５月）	第２期 （６月・７月）	第３期 （８月・９月）
日　　進	96,241	98,119	99,765
精　　義	94,871	96,859	103,577
立　　教	56,388	61,119	73,787
城　　東	11,063	11,288	11,371
益　　世	140,178	145,408	148,303
修　　徳	139,803	139,956	143,587
大　　成	225,084	229,564	231,981
大　　和	254,517	258,006	263,208
桑　　部	85,416	90,132	89,845
在　　良	152,791	158,684	160,864
七　　和	234,533	245,207	245,025
久　　米	103,222	109,007	106,400
深　　谷	76,194	76,709	76,239
城　　南	203,903	211,444	210,378
大山田	254,975	261,373	257,675
多　　度	216,117	224,718	227,484
長　　島	336,438	341,059	359,152
計	2,681,734	2,758,652	2,808,641

（単位：㎥）

第４期 （１０月・１１月）	第５期 （１２月・１月）	第６期 （２月・３月）	計	構成比 （%）
97,535	98,398	100,420	590,478	3.61
98,008	98,514	93,762	585,591	3.58
58,149	59,162	59,838	368,443	2.25
11,363	11,077	11,519	67,681	0.41
146,848	145,247	147,745	873,729	5.35
139,292	142,791	133,778	839,207	5.14
229,976	228,625	216,400	1,361,630	8.33
263,839	248,700	246,388	1,534,658	9.40
87,479	89,596	91,380	533,848	3.27
155,410	157,356	161,452	946,557	5.79
238,045	235,362	245,424	1,443,596	8.84
103,219	105,966	109,838	637,652	3.90
74,933	74,877	69,545	448,497	2.74
206,382	201,029	200,472	1,233,608	7.55
255,736	252,979	238,410	1,521,148	9.31
220,994	214,191	214,769	1,318,273	8.07
349,677	339,065	309,958	2,035,349	12.46
2,736,885	2,702,935	2,651,098	16,339,945	100.00

(12)　導・送水管総延長

（単位：m）

材質 / 口径	鋳鉄管	鋼　管	ｽﾃﾝﾚｽ管	ﾋﾞﾆｰﾙ管	ﾎﾟﾘ管	その他	計
φ900 mm	126.4	－	－	－	－	13.7	140.1
φ700 mm	94.5	1,155.9	－	－	－	10.7	1,261.1
φ600 mm	3,269.8	201.8	98.3	－	－	30.1	3,600.0
φ500 mm	1,610.7	－	79.9	－	－	－	1,690.6
φ450 mm	618.8	－	－	－	－	2.9	621.7
φ400 mm	10,559.8	47.1	231.0	－	－	93.0	10,930.9
φ350 mm	3,363.6	113.1	43.5	－	－	3.6	3,523.8
φ300 mm	11,506.5	111.4	110.8	－	－	362.8	12,091.5
φ250 mm	8,372.8	－	－	634.8	－	7.6	9,015.2
φ200 mm	12,499.6	154.2	62.6	－	476.4	125.8	13,318.6
φ150 mm	1,961.4	－	0.8	923.3	583.2	2.6	3,471.3
φ100 mm	100.4	－	－	1,964.3	－	－	2,064.7
φ75 mm	4.8	－	－	－	5.7	32.0	42.5
φ75mm未満	－	－	－	－	－	11.4	11.4
計	54,089.1	1,783.5	626.9	3,522.4	1,065.3	696.2	61,783.4

（注）平成24年度年報から、総延長についてはＧＩＳシステムによる総延長を掲載しています。

(13)　配水管総延長

（単位：m）

材質 / 口径	鋳鉄管	鋼　管	ｽﾃﾝﾚｽ管	ﾋﾞﾆｰﾙ管	ﾎﾟﾘ管	その他	計
φ600㎜以上	2,483.6	―	33.7	―	―	-	2,517.3
φ500 ㎜	1,087.8	―	30.1	―	―	-	1,117.9
φ400 ㎜	12,610.2	126.3	593.4	―	―	201.5	13,531.4
φ350 ㎜	3,125.7	―	―	―	―	―	3,125.7
φ300 ㎜	14,519.8	1,153.9	117.7	―	―	8.9	15,800.3
φ250 ㎜	12,784.6	63.3	36.8	―	―	10.6	12,895.3
φ200 ㎜	50,324.4	328.8	971.2	7,032.3	1,619.0	91.7	60,367.4
φ150 ㎜	95,171.9	302.9	1,277.1	32,180.3	28,538.9	465.9	157,937.0
φ125 ㎜	237.8	―	―	―	―	―	237.8
φ100 ㎜	135,936.8	997.9	1,274.8	87,204.1	69,588.2	410.3	295,412.1
φ80 ㎜	―	473.0	88.3	―	―	9.9	571.2
φ75 ㎜	109,501.5	1,566.0	214.0	100,564.6	62,800.6	1,097.1	275,743.8
φ75㎜未満	81.0	4,709.4	155.0	63,964.1	64,092.3	1,228.9	134,230.7
計	437,865.1	9,721.5	4,792.1	290,945.4	226,639.0	3,524.8	973,487.9

（注）平成24年度年報から、総延長についてはＧＩＳシステムによる総延長を掲載しています。

(14)　水源地別水質試験結果

水質項目		単位	町屋系	桑名南部系	桑名西部系
			平均値	平均値	平均値
1	一般細菌	個/1mL	0	0	0
2	大腸菌	－	陰性	陰性	陰性
3	カドミウム及びその化合物	mg/L	＜0.0003	＜0.0003	＜0.0003
4	水銀及びその化合物	mg/L	＜0.00005	＜0.00005	＜0.00005
5	セレン及びその化合物	mg/L	＜0.001	＜0.001	＜0.001
6	鉛及びその化合物	mg/L	＜0.001	＜0.001	＜0.001
7	ヒ素及びその化合物	mg/L	＜0.001	＜0.001	＜0.001
8	六価クロム化合物	mg/L	＜0.002	＜0.002	＜0.002
9	亜硝酸態窒素	mg/L	＜0.004	＜0.004	＜0.004
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	＜0.001	＜0.001	＜0.001
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.8	0.7	0.6
12	フッ素及びその化合物	mg/L	0.08	0.08	0.08
13	ホウ素及びその化合物	mg/L	＜0.1	＜0.1	＜0.1
14	四塩化炭素	mg/L	＜0.0002	＜0.0002	＜0.0002
15	1,4-ジオキサン	mg/L	＜0.005	＜0.005	＜0.005
16	シス及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	＜0.004	＜0.004	＜0.004
17	ジクロロメタン	mg/L	＜0.001	＜0.001	＜0.001
18	テトラクロロエチレン	mg/L	＜0.001	＜0.001	＜0.001
19	トリクロロエチレン	mg/L	＜0.001	＜0.001	＜0.001
20	ベンゼン	mg/L	＜0.001	＜0.001	＜0.001
21	塩素酸	mg/L	＜0.06	0.07	0.06
22	クロロ酢酸	mg/L	＜0.002	＜0.002	＜0.002
23	クロロホルム	mg/L	0.001	0.004	0.002
24	ジクロロ酢酸	mg/L	＜0.003	0.003	＜0.003
25	ジブロモクロロメタン	mg/L	0.001	0.001	0.002
26	臭素酸	mg/L	＜0.001	＜0.001	＜0.001
27	総トリハロメタン	mg/L	0.002	0.004	0.004
28	トリクロロ酢酸	mg/L	＜0.003	0.003	＜0.003
29	ブロモジクロロメタン	mg/L	0.001	0.002	0.002
30	ブロモホルム	mg/L	＜0.001	＜0.001	＜0.001
31	ホルムアルデヒド	mg/L	＜0.008	＜0.008	＜0.008
32	亜鉛及びその化合物	mg/L	＜0.1	＜0.1	＜0.1
33	アルミニウム及びその化合物	mg/L	＜0.02	0.02	＜0.02
34	鉄及びその化合物	mg/L	0.02	＜0.01	0.03
35	銅及びその化合物	mg/L	＜0.1	＜0.1	＜0.1
36	ナトリウム及びその化合物	mg/L	6.2	7.8	6.3
37	マンガン及びその化合物	mg/L	0.002	＜0.001	0.002
38	塩化物イオン	mg/L	5.8	7.1	6.1
39	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	mg/L	68	56	66
40	蒸発残留物	mg/L	102	101	115
41	陰イオン界面活性剤	mg/L	＜0.02	＜0.02	＜0.02
42	ジェオスミン	mg/L	＜0.000001	＜0.000001	0.000001
43	2-メチルイソボルネオール	mg/L	＜0.000001	＜0.000001	＜0.000001
44	非イオン界面活性剤	mg/L	＜0.002	＜0.002	＜0.002
45	フェノール類	mg/L	＜0.0005	＜0.0005	＜0.0005
46	有機物（全有機炭素（TOC）の量）	mg/L	0.3	0.4	0.3
47	pH値	－	7.3	7.1	7.3
48	味	－	異常なし	異常なし	異常なし
49	臭気	－	異常なし	異常なし	異常なし
50	色度	度	＜0.5	＜0.5	0.7
51	濁度	度	＜0.1	＜0.1	0.1
	残留塩素	mg/L	0.41	0.44	0.34

多度北部系	多度中部系	多度南部系	古野系	美鹿系	長島系	基準値
平均値	平均値	平均値	平均値	平均値	平均値	
0	0	0	0	0	0	100/mL以下
陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性	検出されないこと
< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	< 0.0003	0.003 mg/L以下
< 0.00005	< 0.00005	< 0.00005	< 0.00005	< 0.00005	< 0.00005	0.0005 mg/L以下
< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.01 mg/L以下
< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.01 mg/L以下
< 0.001	< 0.001	0.002	0.002	0.001	< 0.001	0.01 mg/L以下
< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.02 mg/L以下
< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	0.04 mg/L以下
< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.01 mg/L以下
0.7	0.7	0.1	0.4	0.4	0.2	10 mg/L以下
0.07	0.05	0.06	0.05	0.05	0.10	0.8 mg/L以下
< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	1 mg/L以下
< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002	0.002 mg/L以下
< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	< 0.005	0.05 mg/L以下
< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	< 0.004	0.04 mg/L以下
< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.02 mg/L以下
< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.01 mg/L以下
< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.01 mg/L以下
< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.01 mg/L以下
< 0.06	< 0.06	< 0.06	< 0.06	0.07	0.08	0.6 mg/L以下
< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.02 mg/L以下
< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.003	0.008	0.013	0.06 mg/L以下
< 0.003	< 0.003	< 0.003	0.003	0.003	0.003	0.03 mg/L以下
< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	0.001	0.001	0.1 mg/L以下
< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.01 mg/L以下
< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.006	0.011	0.018	0.1 mg/L以下
< 0.003	< 0.003	< 0.003	0.003	0.005	0.008	0.03 mg/L以下
< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.002	0.003	0.005	0.03 mg/L以下
< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.09 mg/L以下
< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	< 0.008	0.08 mg/L以下
< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	1 mg/L以下
< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	0.04	0.2 mg/L以下
0.02	< 0.01	< 0.01	< 0.01	< 0.01	0.01	0.3 mg/L以下
< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	1 mg/L以下
5.7	16	11	4.8	5.6	6.8	200 mg/L以下
< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	< 0.001	0.001	0.05 mg/L以下
3.8	13	3.2	3.1	3.4	6.9	200 mg/L以下
28	53	29	26	30	20	300 mg/L以下
68	100	100	39	49	42	500 mg/L以下
< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	0.2 mg/L以下
< 0.000001	< 0.000001	< 0.000001	< 0.000001	< 0.000001	0.000003	0.00001 mg/L以下
< 0.000001	< 0.000001	< 0.000001	< 0.000001	< 0.000001	< 0.000001	0.00001 mg/L以下
< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	< 0.002	0.02 mg/L以下
< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005	0.005 mg/L以下
< 0.3	< 0.3	< 0.3	0.3	0.4	0.8	3 mg/L以下
6.9	6.8	7.3	7.7	7.7	7.3	5.8 以上 8.6 以下
異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと
異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと
< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	< 0.5	0.7	5 度以下
< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	< 0.1	2 度以下
0.42	0.46	0.43	0.41	0.38	0.29	0.1 mg/L以上

(15) 水 道 料 金

専用及び共用給水装置 （税抜）

用 途 別	基本料金（1箇月につき）		従量料金（1㎥につき）	
	口径	料金		
一般用	13ミリメートル	1,080円	10㎥まで	11円
	20ミリメートル	1,080円		
	25ミリメートル	1,440円	10㎥を超え 20㎥まで	131円
	30ミリメートル	2,160円		
	40ミリメートル	3,960円	20㎥を超え 40㎥まで	160円
	50ミリメートル	9,000円		
	75ミリメートル	29,700円	40㎥を超え100㎥まで	171円
	100ミリメートル	70,200円		
	150ミリメートル	108,000円	100㎥を超えるもの	176円
	200ミリメートル	198,000円		
湯屋営業用	4,762円		100㎥まで	―
			100㎥を超えるもの	83円
学校プール用	4,608円		100㎥まで	―
			100㎥を超えるもの	108円
臨時用 その他	6,451円		20㎥まで	―
			20㎥を超えるもの	482円

私設消火栓（無計量制） （税抜）

用 途 別	基本料金		摘要
	使用時間	料金	
火災以外の場合に使用するもの	毎10分まで	211円	1口につき

加入金 （税抜）

メーター口径	加入金
13ミリメートル	60,000円
20ミリメートル	130,000円
25ミリメートル	216,000円
40ミリメートル	391,000円
50ミリメートル	580,000円
75ミリメートル	1,490,000円
100ミリメートル	2,840,000円
150ミリメートル	管理者が別に定める額
200ミリメートル	管理者が別に定める額

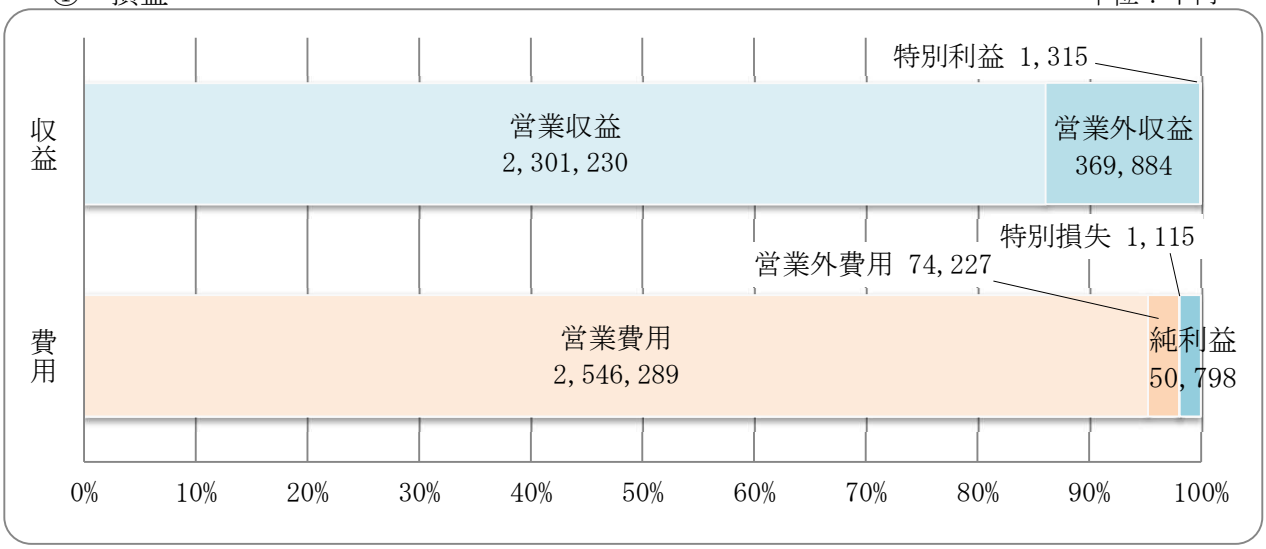
（注1）現行料金は令和５年１月１日から施行。
（注2）給水条例を令和４年６月２９日に改正。

4　財　務　状　況

(1)　概況

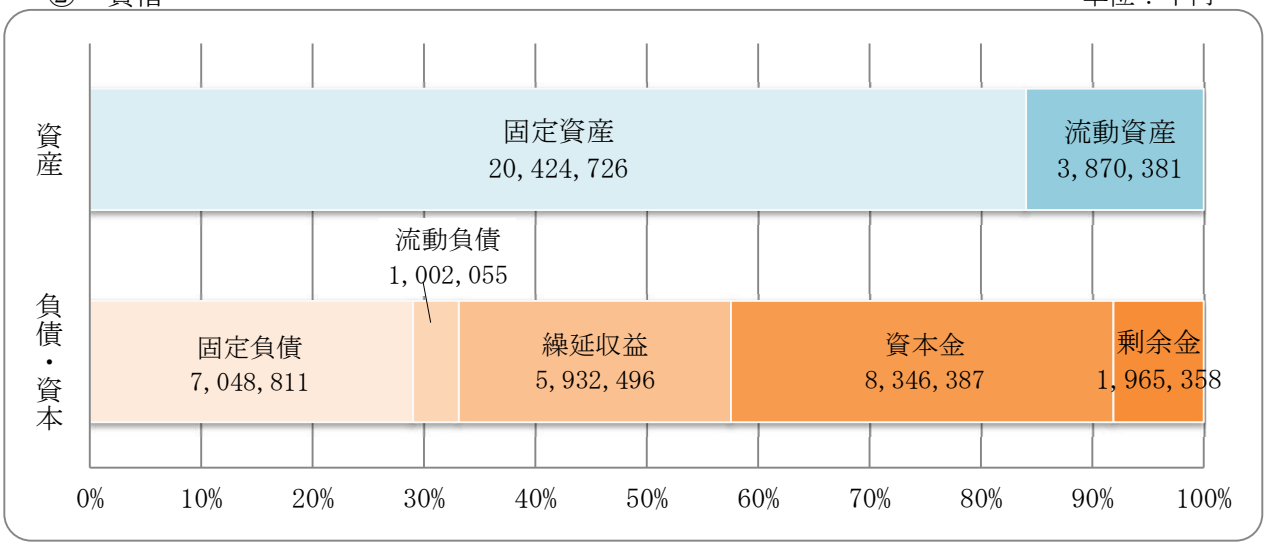
①　損益

単位：千円



②　貸借

単位：千円



(注) ①損益及び②貸借については、消費税及び地方消費税を含まない。

③　経営状況

収益的収支						資本的収支					
項目		令和3年度	令和4年度	増減額	増減率(%)	項目		令和3年度	令和4年度	増減額	増減率(%)
収入	百万円	2, 668	2, 672	4	0. 1	収入	百万円	1, 324	787	△ 537	△ 40. 6
料金収入	百万円	2, 289	2, 282	△ 7	△ 0. 3	企業債	百万円	996	502	△ 494	△ 49. 6
繰入金	百万円	3	6	3	100. 0	繰入金	百万円	21	24	3	14. 3
支出	百万円	2, 503	2, 622	119	4. 8	支出	百万円	1, 911	1, 198	△ 713	△ 37. 3
支払利息	百万円	74	74	0	0. 0	建設改良費	百万円	1, 486	773	△ 713	△ 48. 0
減価償却費	百万円	838	900	62	7. 4	元金償還金	百万円	325	325	0	0. 0
職員給与費	百万円	160	146	△ 14	△ 8. 8	収支差引	百万円	△ 587	△ 411	176	30. 0
収支差引	百万円	165	50	△ 115	△ 69. 7	純損益	百万円	165	50	△ 115	△ 69. 7

(注) 収益的収支は消費税及び地方消費税を含まず、資本的収支は消費税及び地方消費税を含む。

(2)　比較損益計算書

科目 ＼ 年度		令和２年度 金額（円）	構成比（%）	対前年比（%）
収益	営業収益	2,080,571,952	76.43	88.95
	給水収益	2,061,717,010	75.73	88.78
	受託工事収益	15,777,499	0.58	113.89
	その他営業収益	472,200	0.02	352.13
	他会計負担金	2,605,243	0.10	87.85
	営業外収益	640,854,716	23.53	177.00
	受取利息及び配当金	625,355	0.02	89.57
	他会計補助金	275,652,000	10.12	14,981.09
	長期前受金戻入	288,271,662	10.59	95.33
	雑収益	76,305,699	2.80	133.52
	特別利益	1,163,881	0.04	277.51
	過年度損益修正益	0	0.00	－
	その他特別利益	1,163,881	0.04	－
	合計	**2,722,590,549**	**100.00**	**100.78**
費用	営業費用	2,437,086,443	96.36	105.84
	原水及び浄水費	850,554,210	33.63	98.63
	配水及び給水費	390,865,111	15.45	128.42
	受託工事費	10,726,886	0.43	114.51
	業務費	213,061,917	8.42	123.70
	総係費	70,587,197	2.79	86.39
	減価償却費	835,036,992	33.02	96.71
	資産減耗費	66,254,130	2.62	728.73
	営業外費用	91,421,763	3.61	111.55
	支払利息及び企業債取扱諸費	76,463,485	3.02	93.32
	雑支出	14,958,278	0.59	118,575.33
	特別損失	848,644	0.03	91.10
	過年度損益修正損	848,644	0.03	91.10
	合計	**2,529,356,850**	**100.00**	**106.03**
当年度純利益		**193,233,699**	**－**	**61.13**
当年度純損失		**－**	**－**	**－**

令　和　3　年　度			令　和　4　年　度		
金　　額 (円)	構 成 比 (%)	対前年比 (%)	金　　額 (円)	構 成 比 (%)	対前年比 (%)
2,301,538,706	86.27	110.62	2,301,229,985	86.11	99.99
2,288,618,150	85.79	111.01	2,281,871,231	85.39	99.71
11,273,000	0.42	71.45	14,105,100	0.53	125.12
645,900	0.02	136.79	330,100	0.01	51.11
1,001,656	0.04	38.45	4,923,554	0.18	491.54
359,973,605	13.50	56.17	369,884,402	13.84	102.75
749,899	0.03	119.92	702,721	0.03	93.71
1,680,000	0.06	0.61	1,138,000	0.04	67.74
271,187,787	10.17	94.07	275,961,281	10.33	101.76
86,355,919	3.24	113.17	92,082,400	3.44	106.63
6,149,778	0.23	528.39	1,314,780	0.05	21.38
6,436	0.00	―	90,470	0.00	―
6,143,342	0.23	527.83	1,224,310	0.05	19.93
2,667,662,089	**100.00**	**97.98**	**2,672,429,167**	**100.00**	**100.18**
2,426,206,136	96.94	99.55	2,546,289,345	97.13	104.95
879,944,136	35.16	103.46	957,624,210	36.53	108.83
381,035,817	15.22	97.49	386,581,035	14.75	101.46
9,909,593	0.40	92.38	1,242,490	0.05	12.54
204,279,672	8.16	95.88	214,809,831	8.19	105.15
65,634,733	2.62	92.98	63,543,713	2.42	96.81
838,238,326	33.49	100.38	889,595,340	33.93	106.13
47,163,859	1.89	71.19	32,892,726	1.26	69.74
74,900,288	2.99	81.93	74,227,289	2.83	99.10
74,081,454	2.96	96.88	74,199,807	2.83	100.16
818,834	0.03	5.47	27,482	0.00	3.36
1,717,182	0.07	202.34	1,114,180	0.04	64.88
1,717,182	0.07	202.34	1,114,180	0.04	64.88
2,502,823,606	**100.00**	**98.95**	**2,621,630,814**	**100.00**	**104.75**
164,838,483	**―**	**85.31**	**50,798,353**	**―**	**30.82**
―	―	―	―	―	―

（注）消費税及び地方消費税を含まない。

(3)　比較貸借対照表

科目＼年度	令和２年度 金額（円）	構成比（%）	対前年比（%）
固定資産	20,094,405,004	86.52	101.71
有形固定資産	19,868,669,648	85.55	101.75
土地	1,874,791,828	8.07	100.00
建物	836,120,284	3.60	95.95
構築物	14,667,761,217	63.15	102.75
機械及び装置	2,231,470,625	9.61	107.44
車両運搬具	1,648,997	0.01	97.88
工具器具及び備品	11,016,199	0.05	91.16
建設仮勘定	245,860,498	1.06	59.37
無形固定資産	25,735,356	0.11	89.25
受水権	16,212,929	0.07	87.31
水利権	1,694,559	0.01	79.44
施設利用権	7,827,868	0.03	96.25
投資	200,000,000	0.86	100.00
長期貸付金	200,000,000	0.86	100.00
流動資産	3,133,378,536	13.48	101.82
現金預金	2,504,868,964	10.78	98.00
未収金	340,508,529	1.46	88.88
貸倒引当金	△ 14,886,298	△ 0.06	116.19
貯蔵品	8,087,341	0.03	100.62
短期貸付金	100,000,000	0.43	100.00
前払金	194,800,000	0.84	453.02
資産合計	**23,227,783,540**	**100.00**	**101.73**
固定負債	6,161,654,881	26.53	111.48
企業債	5,956,731,249	25.65	111.84
引当金	204,923,632	0.88	101.94
退職給付引当金	204,923,632	0.88	101.94
流動負債	949,595,562	4.09	74.85
企業債	324,763,689	1.40	99.35
未払金	582,936,688	2.51	64.71
未払費用	1,292,213	0.01	42.25
預り金	21,410,972	0.09	112.38
引当金	19,192,000	0.08	101.59
賞与引当金	16,179,000	0.07	102.17
法定福利費引当金	3,013,000	0.01	98.56
繰延収益	6,027,085,792	25.95	98.15
長期前受金	8,102,626,317	34.88	101.66
収益化累計額	△ 2,075,540,525	△ 8.93	113.46
負債合計	**13,138,336,235**	**56.57**	**101.56**
資本金	8,636,690,009	37.18	103.48
剰余金	1,452,757,296	6.25	93.74
資本剰余金	438,429,575	1.89	100.00
受贈財産評価額	38,763,120	0.17	100.00
工事負担金	399,666,455	1.72	100.00
利益剰余金	1,014,327,721	4.36	91.27
減債積立金	316,094,022	1.36	－
建設改良積立金	505,000,000	2.17	100.00
当年度未処分利益剰余金	193,233,699	0.83	31.87
資本合計	**10,089,447,305**	**43.43**	**101.95**
負債資本合計	**23,227,783,540**	**100.00**	**101.73**

令和３年度			令和４年度		
金額 (円)	構成比 (%)	対前年比 (%)	金額 (円)	構成比 (%)	対前年比 (%)
20,619,328,952	84.01	102.61	20,424,726,071	84.07	99.06
20,396,680,851	83.10	102.66	20,205,152,095	83.17	99.06
1,881,452,735	7.66	100.36	1,890,532,735	7.78	100.48
804,696,090	3.28	96.24	769,264,893	3.17	95.60
14,618,456,332	59.56	99.66	14,580,512,716	60.01	99.74
2,797,299,395	11.40	125.36	2,590,937,027	10.67	92.62
1,613,364	0.01	97.84	723,286	0.00	44.83
9,863,629	0.04	89.54	13,706,640	0.06	138.96
283,299,306	1.15	115.23	359,474,798	1.48	126.89
22,648,101	0.10	88.00	19,573,976	0.08	86.43
13,869,662	0.06	85.55	11,539,525	0.05	83.20
1,255,918	0.01	74.11	817,277	0.00	65.07
7,522,521	0.03	96.10	7,217,174	0.03	95.94
200,000,000	0.81	100.00	200,000,000	0.82	100.00
200,000,000	0.81	100.00	200,000,000	0.82	100.00
3,925,991,712	15.99	125.30	3,870,381,364	15.93	98.58
3,383,884,750	13.78	135.09	3,348,232,680	13.78	98.95
375,284,286	1.53	110.21	384,463,014	1.58	102.45
△ 13,931,602	△ 0.06	93.59	△ 9,121,926	△ 0.04	65.48
28,854,278	0.12	356.78	38,107,596	0.16	132.07
100,000,000	0.41	100.00	100,000,000	0.41	100.00
51,900,000	0.21	26.64	8,700,000	0.04	16.76
24,545,320,664	**100.00**	**105.67**	**24,295,107,435**	**100.00**	**98.98**
6,826,986,585	27.81	110.80	7,048,811,223	29.01	103.25
6,628,046,777	27.00	111.27	6,839,341,702	28.15	103.19
198,939,808	0.81	97.08	209,469,521	0.86	105.29
198,939,808	0.81	97.08	209,469,521	0.86	105.29
1,445,443,379	5.88	152.22	1,002,054,761	4.12	69.33
324,684,472	1.32	99.98	290,705,075	1.20	89.53
1,020,480,602	4.16	175.06	617,559,498	2.54	60.52
847,462	0.00	65.58	747,495	0.00	88.20
81,517,843	0.33	380.73	76,394,693	0.31	93.72
17,913,000	0.07	93.34	16,648,000	0.07	92.94
15,001,000	0.06	92.72	13,932,000	0.06	92.87
2,912,000	0.01	96.65	2,716,000	0.01	93.27
6,018,604,912	24.53	99.86	5,932,496,403	24.42	98.57
8,337,077,121	33.97	102.89	8,519,898,308	35.07	102.19
△ 2,318,472,209	△ 9.44	111.70	△ 2,587,401,905	△ 10.65	111.60
14,291,034,876	**58.22**	**108.77**	**13,983,362,387**	**57.55**	**97.85**
8,346,387,285	34.00	96.64	8,346,387,285	34.35	100.00
1,907,898,503	7.78	131.33	1,965,357,763	8.10	103.01
438,429,575	1.79	100.00	445,090,482	1.84	101.52
38,763,120	0.16	100.00	45,424,027	0.19	117.18
399,666,455	1.63	100.00	399,666,455	1.65	100.00
1,469,468,928	5.99	144.87	1,520,267,281	6.26	103.46
799,630,445	3.26	252.97	964,468,928	3.97	120.61
505,000,000	2.06	100.00	505,000,000	2.08	100.00
164,838,483	0.67	85.31	50,798,353	0.21	30.82
10,254,285,788	**41.78**	**101.63**	**10,311,745,048**	**42.45**	**100.56**
24,545,320,664	**100.00**	**105.67**	**24,295,107,435**	**100.00**	**98.98**

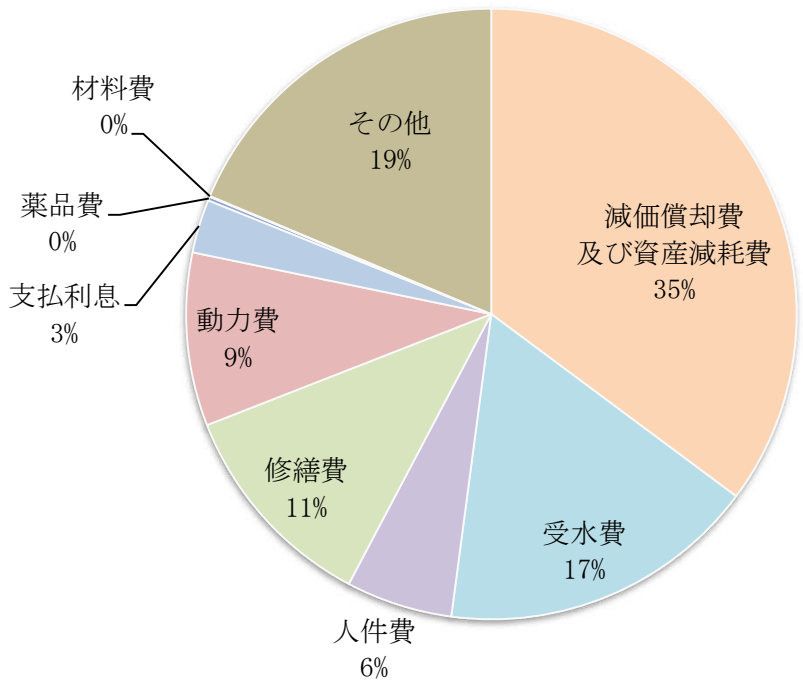
（注）消費税及び地方消費税を含まない。

(4)　事業費用分析表

区分＼年度		令和２年度 支出額（円）	令和２年度 構成比（%）	令和３年度 支出額（円）	令和３年度 構成比（%）	令和４年度 支出額（円）	令和４年度 構成比（%）
人件費	給料手当等	133,317,555	5.27	124,753,618	4.98	113,041,087	4.31
	退職給付費	11,595,258	0.46	12,610,221	0.50	11,524,230	0.44
	法定福利費	27,027,092	1.07	25,822,913	1.03	23,098,112	0.88
支払利息		76,463,485	3.02	74,081,454	2.96	74,199,807	2.83
減価償却費及び資産減耗費		901,291,122	35.63	885,402,185	35.38	922,488,066	35.19
動力費		136,152,711	5.38	150,867,891	6.03	240,251,325	9.16
修繕費		316,723,498	12.52	335,454,325	13.40	297,418,329	11.34
材料費		2,582,822	0.10	1,904,956	0.08	1,207,567	0.05
薬品費		5,085,720	0.20	5,117,320	0.20	5,509,200	0.21
受水費		452,107,265	17.88	450,195,969	17.99	443,368,122	16.91
その他		467,010,322	18.47	436,612,754	17.45	489,524,969	18.68
合計		2,529,356,850	100.00	2,502,823,606	100.00	2,621,630,814	100.00

（注）消費税及び地方消費税を含まない。

令和４年度　事業費用



(5)　比較資本的収支計算書

科目＼年度	令和２年度（円）	令和３年度（円）	令和４年度（円）
企業債	955,300,000	996,000,000	502,000,000
負担金	122,864,814	168,442,989	99,653,430
加入金	63,807,800	59,899,400	85,501,900
投資回収金	100,000,000	100,000,000	100,000,000
収入合計	1,241,972,614	1,324,342,389	787,155,330
建設改良費	1,348,808,314	1,485,819,277	773,219,018
企業債償還金	326,887,820	324,763,689	324,684,472
投資	100,000,000	100,000,000	100,000,000
支出合計	1,775,696,134	1,910,582,966	1,197,903,490
差引収支	△ 533,723,520	△ 586,240,577	△ 410,748,160

（注）消費税及び地方消費税を含む。

(6)　企業債

借入先	種類	未償還残高（円）	構成比（%）
財務省	政府債	1,220,694,256	17.12
地方公共団体 金融機構	機構債	5,909,352,521	82.88
合計		7,130,046,777	100.00

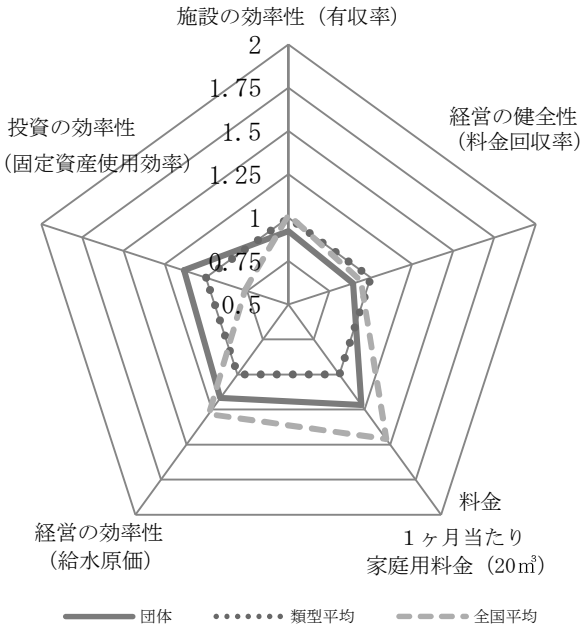
(7)　水道事業比較経営診断表

出典：総務省　令和３年度水道事業経営指標

項　　目		桑名市 令和３年度	桑名市 令和４年度	類型平均	全国平均
事業の概況					
一般家庭用料金（１ヶ月20㎥当たり）	円/月	2,475	2,750	2,260	3,299
平均有収水量	ℓ	326	322	313	297
施設の効率性					
負荷率	%	92.3	84.7	90.9	89.8
最大稼働率	%	62.7	69.0	68.9	67.1
有収率	%	84.0	81.8	88.7	90.1
固定資産使用効率	㎥/万円	9.7	9.9	8.7	6.7
経営の効率性					
供給単価	円/㎥	137.8	139.7	133.9	171.7
給水原価	円/㎥	133.6	143.4	122.9	167.7
料金回収率	%	103.1	97.4	109.0	102.4
自己資本回転率	回	0.14	0.14	0.12	0.13
総資本回転率	回	0.10	0.09	0.09	0.09
固定資産回転率	回	0.11	0.11	0.11	0.10
未収金回転率	回	6.40	6.02	7.86	7.81
総資本利益率	%	0.67	0.21	1.30	1.07
固定資産構成比率	%	84.0	84.1	87.8	88.4
職員一人当たりの給水人口	人/人	6,652	6,626	5,180	3,324
職員一人当たりの有収水量	㎥/人	791,013	778,093	591,724	360,718
職員一人当たりの営業収益	千円/人	109,060	108,911	81,699	65,326
職員給与費対営業収益比率	%	7.0	6.4	8.8	11.2

項　　目		桑名市 令和３年度	桑名市 令和４年度	類型平均	全国平均
財政状態の健全性					
総収支比率	%	106.6	101.9	114.0	111.4
経常収支比率	%	106.4	101.9	114.3	111.4
利子負担率	%	1.1	1.0	1.4	1.4
流動比率	%	271.6	386.2	345.1	261.5
当座比率	%	259.1	371.6	338.2	246.8
自己資本構成比率	%	66.3	66.9	79.0	72.9
固定資産対長期資本比率	%	89.3	87.7	91.0	92.5
企業債償還元金対減価償却費比率	%	57.3	52.9	54.6	70.0

事業効率性の類型平均、全国平均との比較



※類型平均を１とした場合の類型平均及び全国平均との比較

（注1）類型平均及び全国平均値は令和３年度
（注2）類型とは、給水人口別区分：10万人以上15万人未満、水源別区分：その他、有収水量密度別区分：全国平均以上の団体

(8) 指標解説

① 事業の概要

	項目	指標解説	算出方法
1	一般家庭料金（1ヶ月20㎥当たり）（円）	桑名市の場合、1期2ヶ月を料金基準としており、2ヶ月で40㎥を使用した場合の1ヶ月料金で表示。	
2	平均有収水量（ℓ）	節水型社会への移行等により特に都市部を中心に平均有収水量が減少傾向にある。	1日平均有収水量（ℓ） 現在給水人口

② 施設の効率性

	項目	指標解説	算出方法
1	負荷率（%）	水道事業の施設効率を判断する指標のひとつ。数値が大きいほど効率的だが、季節的な水需要の変動が大きいと負荷率が小さくなる。	1日平均配水量 1日最大配水量 ×100
2	最大稼働率（%）	施設の1日配水能力に対する1日最大配水量の割合。水需要の多い季節に対する施設能力の余力を示す。	1日最大配水量 配水能力 ×100
3	有収率（%）	年間配水量に対する有収水量の割合。高いほど良く、低い原因には漏水などがある。	年間総有収水量 年間総配水量 ×100
4	固定資産使用効率（㎥/万円）	有形固定資産に対する年間総配水量の割合。高いほど効率的である。	年間総配水量 有形固定資産

③ 経営の効率性

	項目	指標解説	算出方法
1	供給単価（円/㎥）	年間の水道料金収入を有収水量で割った値。1㎥当たりの平均販売単価。	給水収益 年間総有収水量
2	給水原価（円/㎥）	水道水1㎥を作るのに必要とする経費。	経常費用−(受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯事業費)−長期前受金戻入 年間総有収水量
3	料金回収率（%）	給水にかかる費用のうち、水道料金で回収する割合。	供給単価 給水原価 ×100
4	自己資本回転率（回）	比率が高ければ、投下資本に対して営業活動が活発であることを意味する。	営業収益−受託工事収益 (期首自己資本+期末自己資本)/2 (注)自己資本＝資本金+剰余金+繰延収益
5	総資本回転率（回）	事業に投資された資産が、どれだけ有効に活用されたかを示す指標。	営業収益−受託工事収益 (期首負債資本合計+期末負債資本合計)/2
6	固定資産回転率（回）	投資した固定資産が有効活用されているかどうかを判断する指標。	営業収益−受託工事収益 (期首固定資産+期末固定資産)/2
7	未収金回転率（回）	未収金の回収速度を示し、低ければ営業未収金が未回収のまま残留する期間が長いことを示す。	営業収益−受託工事収益 (期首未収金+期末未収金)/2
8	総資本利益率（%）	事業の総合的な収益力を判断する指標。	経常利益−経常損失 (期首負債資本合計+期末負債資本合計)/2 ×100
9	固定資産構成比率（%）	一般的に比率が低ければ、柔軟な経営が可能となる。	固定資産 固定資産+流動資産+繰延資産 ×100
10	職員一人当たりの給水人口（人/人）	損益勘定職員一人当たりの生産性を給水人口を基準に把握する指標。	現在給水人口 損益勘定職員数
11	職員一人当たりの有収水量（㎥/人）	損益勘定職員一人当たりの生産性を有収水量を基準に把握する指標。	年間総有収水量 損益勘定職員数
12	職員一人当たりの営業収益（千円/人）	損益勘定職員一人当たりの生産性を営業収益を基準に把握する指標。	営業収益−受託工事収益 損益勘定職員数
13	職員給与費対営業収益比率（%）	営業収益に対する職員給与費の割合で、営業収益が職員にどの程度分配されているかを示す。	職員給与費 営業収益－受託工事収益 ×100

④ 財政状態の健全性

	項目	指標解説	算出方法
1	総収支比率（%）	総収益と総費用の比率を表し、100%未満であると総収支が赤字であることを示す。	総収益 総費用 ×100
2	経常収支比率（%）	総収益、総費用からそれぞれ特別利益、特別損失を除く経常収支の比率で、100%未満であれば経常収支で赤字であることを表す。	経常収益 経常費用 ×100
3	利子負担率（%）	利子負担率が高い場合、高金利の企業債を借入れており、経営圧迫の要因となる。	支払利息＋企業債取扱諸費 企業債・長期借入金＋一時借入金 ×100
4	流動比率（%）	企業の安全性を判断する指標で、200%以上が望ましいとされています。	流動資産 流動負債 ×100
5	当座比率（%）	企業の安全性を判断する指標で、短期の負債に対する支払能力を判断する。	現金預金+(未収金－貸倒引当金) 流動負債 ×100
6	自己資本構成比率（%）	企業経営の安定度を図る指標で、一般的に100%に近いほど安定度が高いといえる。	資本金+剰余金+繰延収益 負債資本合計 ×100
7	固定資産対長期資本比率（%）	事業の固定的・長期的な安全性を判断する指標で、100%以下で低いことが望ましい。	固定資産 資本金+剰余金+固定負債+繰延収益 ×100
8	企業債償還元金対減価償却比率（%）	企業債元金がその補てん財源である減価償却費に占める割合を示し、低いほうが健全である。	建設改良のための企業債償還元金 当年度減価償却費－長期前受金戻入 ×100

第３編

下 水 道 事 業

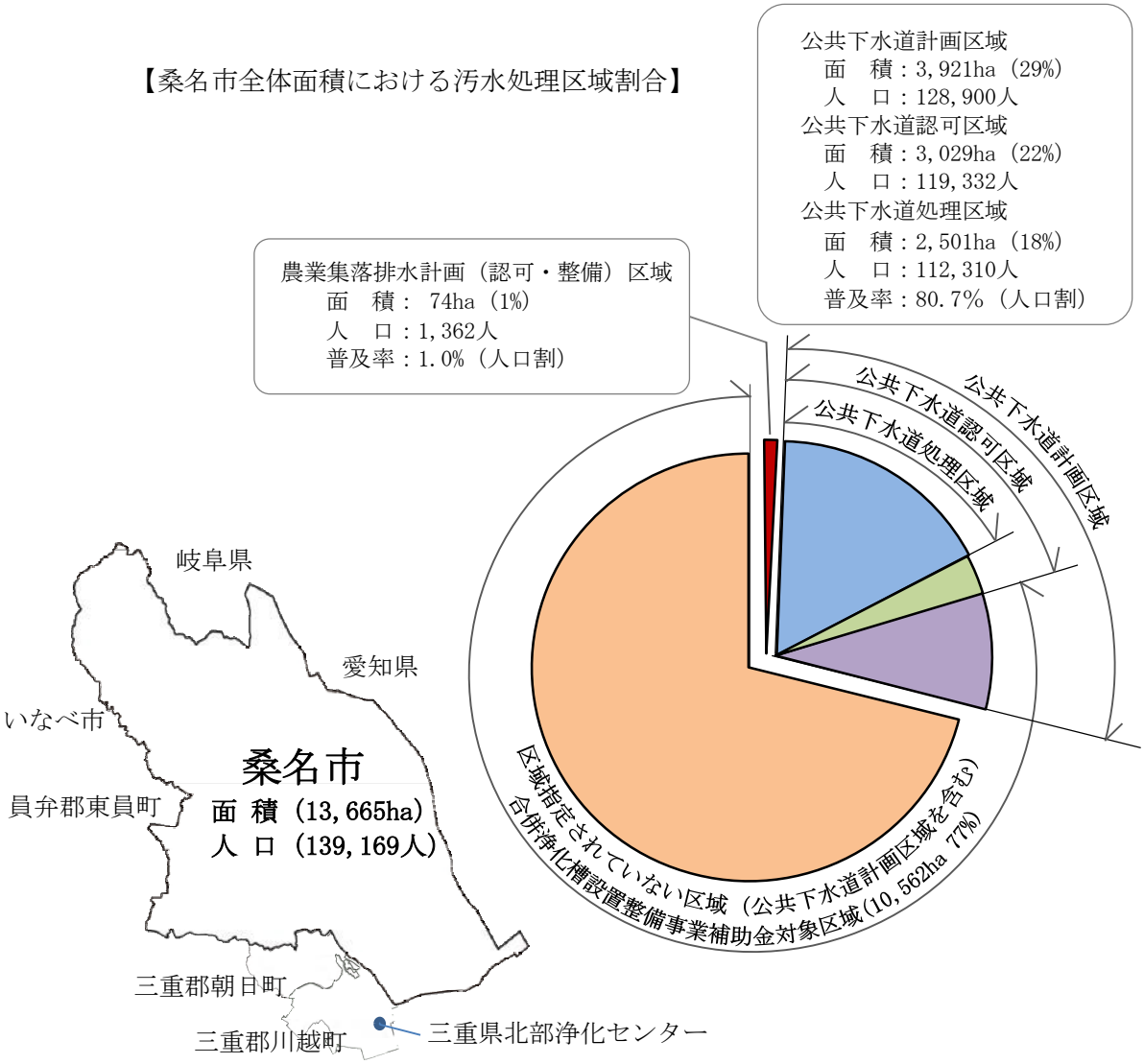
１　はじめに

桑名市において近代的な下水道事業計画は、戦後復興都市計画事業の一環として昭和23年に始まりました。昭和36年には、市街地の浸水被害の防止と、生活環境の改善・水質の汚濁防止を図るため、公共下水道建設に着手し整備を進めてきました。その後、その他生活排水対策事業として、農業集落排水事業に平成４年より着手しました。また、合併処理浄化槽設置整備事業補助金を平成13年に開始し、市全域の生活環境の向上を図ってきました。

しかし、近年の社会情勢の変化のなかで、事業の計画性や透明性の確保のため、公共下水道事業については、平成22年から地方公営企業法の財務適用を行い、平成23年には下水道事業の地方公営企業法全部適用と共に水道事業と下水道事業の組織統合を行いました。

また、農業集落排水事業及び合併処理浄化槽設置整備事業補助金についても上下水道部へ集約し、生活用水と生活排水を一体的に考えることにより、環境への負荷が少なく、地球環境にやさしい水循環社会をめざし事業を推進しています。

【桑名市全体面積における汚水処理区域割合】



2　公共下水道事業の沿革

(1)　沿革

①　流域関連公共下水道

桑名市の下水道は、市街地の浸水被害の防止と、生活環境の改善・水質の汚濁防止を図るため、昭和 36 年に約 334 ヘクタールの計画を策定し、そのうち特に整理を要する汚水 153 ヘクタール、雨水 113 ヘクタールの事業認可を受け、事業に着手し、合流式排水方式で整備を進めてきました。

また、昭和 47 年から日本住宅公団により大山田土地区画整理事業が始められ、これに呼応して市は造成計画に合わせた下水道計画を策定しました。昭和 48 年３月に大山田単独公共下水道事業として分流式排水方式で認可を受け、昭和 54 年に供用を開始し、その後も整備拡大を進めてきました。

四日市・鈴鹿水域流域別下水道整備総合計画が策定され、昭和 52 年に三重県において、北勢水域の河川及び伊勢湾の水質保全を図る目的で、当時の二市九町を対象とした北勢沿岸流域下水道事業（北部処理区）が施行されることになりました。桑名市においてもこの事業に併せて、昭和 53 年に流域関連公共下水道事業として、排水方式を分流式に見直し、計画処理面積 2,365 ヘクタール（大山田地区は除く）の基本計画を策定しました。同年、汚水 164 ヘクタール、雨水 164 ヘクタールの事業認可を受け着手し、現在も順次認可区域の拡大を行っています。

北勢沿岸流域下水道事業の北部浄化センターは、昭和 63 年１月から供用開始(四日市市と川越町のそれぞれ一部)され、桑名市も平成３年１月に一部区域で供用を開始しています。平成 12 年度には、大山田単独公共下水道も流域関連公共下水道に編入しました。

旧桑名市街地は大半が海抜０メートル地帯にあり、排水不良による浸水被害は宿命的でありました。この根本対策として公共下水道施設の整備とともに、雨水の浸水地域の解消を図るために都市下水路事業を促進してきましたが、平成 12 年度に西別所都市下水路を公共下水道に編入し、福島・西桑名・西方・下深谷第一・下深谷第二・江場の７都市下水路全てを流域関連公共下水道に編入しました。

多度地区の下水道事業も、三重県の施行する北勢沿岸流域下水道事業(北部処理区)に基づき流域関連公共下水道として整備を

進めています。

平成３年度に全体計画区域 453 ヘクタールを対象とした基本計画を策定し、平成４年度に 39 ヘクタールの事業認可を受け着手し、順次区域の拡大を行い、現在では、435 ヘクタールを事業計画区域として事業を進めています。

また、平成 15 年度には汚水管整備が完成に近づいたことから、市街化区域 218 ヘクタールを対象に雨水全体計画を立案しました。このうち、市街化による流出量増加に伴う浸水防除対策として香取排水区を新たに事業区域に含め、ポンプ場の整備を進めました。

平成 16 年 12 月６日の一市二町の合併に伴い、平成 20 年に新桑名市として桑名地区と多度地区の北勢沿岸流域関連公共下水道事業を一本化しました。現在では、汚水 2,415 ヘクタール、雨水 1,395 ヘクタールの事業認可の変更を受けて整備を進めており、汚水 1,924 ヘクタール、雨水 1,076 ヘクタールで供用を開始しています。

なお、汚水は、流域下水道の桑名幹線・員弁川幹線に接続し、川越町の北部浄化センターにて処理されて放流し、雨水は、ポンプ場８か所で揖斐川、員弁川、新堀川、多度川へ排除しています。

② 単独公共下水道

長島地区の下水道事業は、平成４年度に「長島町公共下水道基本計画」を策定し、旧長島町既成市街地を中心に 99 ヘクタールの汚水整備区域を対象に平成５年 12 月に当初認可を受け、事業着手しました。

その後、変更認可を重ね、平成 12 年３月には、長島町赤地に長島浄化センター（クリーンピア）の完成と共に一部供用開始を行い、現在では事業認可区域約 614 ヘクタールのうち、596 ヘクタールを整備完了し、577 ヘクタールで供用を開始しています。

雨水関係では、平成 14 年度に、東海豪雨（平成 12 年）において水害被害の大きかった大島排水区について早期に対策が必要と位置づけ、当該地区を対象とした浸水の防除を図るため、342 ヘクタールを対象とした計画を策定し、事業認可区域 136 ヘクタールを公共下水道事業に加えて整備事業を進め、平成 21 年３月末から供用を開始しています。

(2)　認可経緯

①　旧桑名市

		昭和36年（1961年）	昭和48年（1973年）	昭和53年（1978年）
区　　分		単独公共下水道 下水道法事業認可	単独公共下水道 下水道法事業認可	単独公共下水道 下水道法事業認可
認　可　年　月　日		昭和36年2月9日	昭和48年3月9日	昭和53年3月31日
内容	処　理　方　式	合流式	分流式	分流式
	区　域　面　積	汚水　153ha 雨水　113ha	合流　　分流 汚水　153ha　汚水　194ha 雨水　113ha　雨水　292ha	汚水　194ha 雨水　292ha
	人　　口	47,500人	30,300人	30,300人
	処　理　能　力	12,350㎥／日	14,000㎥／日	14,000㎥／日
	特　記　事　項	ポンプ施設 京橋中継ポンプ場 雨水ポンプ　3台 汚水ポンプ　2台 住吉ポンプ場 雨水ポンプ　3台 江場ポンプ場 雨水ポンプ　4台 汚水ポンプ　3台 江場終末処理場 活性汚泥法	ポンプ施設 大山田第一中継ポンプ場 汚水ポンプ　2台 大山田第二中継ポンプ場 汚水ポンプ　2台 大山田第三中継ポンプ場 汚水ポンプ　2台 大山田終末処理場 標準活性汚泥法	合流式区域を北勢沿岸流域下水道へ編入 汚水　153ha 雨水　113ha
	備　　考		執行年度 昭和47年度～昭和52年度	目標年次 昭和58年3月31日

昭和53年（1978年）	昭和54年（1979年）	昭和58年（1983年）	昭和58年（1983年）
流域関連公共下水道 下水道法事業認可	単独公共下水道 下水道法事業認可	流域関連公共下水道 下水道法事業認可	単独公共下水道 下水道法事業認可
昭和53年8月23日	昭和54年	昭和58年3月17日	昭和58年3月31日
分流式	分流式	分流式	分流式
汚水　164ha 雨水　164ha	汚水　194ha 雨水　292ha	汚水　164ha 雨水　164ha	汚水　276ha 雨水　306ha
7,179人	30,300人	7,179人	30,300人
－	14,000㎥／日	－	14,000㎥／日
江場排水区と住吉排水区を追加 　江場排水区　84ha 　住吉排水区　80ha 既成市街地85haを第１期計画として整備を行い既成合流式区域79haについては、昭和58年度以降に分流式に切り替える 　既成合流区域　79ha 　今回整備区域　85ha	大山田終末処理場 　標準活性汚泥法から 　脱窒素活性汚泥法へ変更	住吉排水区（既成合流式）52haの雨水整備（分流式）を行うが、面整備は昭和60年度以降に行う	事業認可区域追加 　大山田処理区　汚水　82ha 　　大山田地区　194ha 　　蓮花寺地区　82ha 　大山田排水区　雨水　82ha 　　大山田地区　224ha 　　蓮花寺地区　82ha 大山田第四中継ポンプ場追加 　汚水ポンプ　2台
目標年次 　昭和58年3月31日	目標年次 　昭和58年3月31日	目標年次 　昭和60年3月31日	目標年次 　昭和64年3月31日

		昭和60年（1985年）	昭和62年（1987年）	平成元年（1989年）
区　　分		流域関連公共下水道 下水道法事業認可	単独公共下水道 下水道法事業認可	流域関連公共下水道 下水道法事業認可
認　可　年　月　日		昭和60年3月31日	昭和62年6月	平成元年6月9日
内容	処　理　方　式	分流式	分流式	分流式
	区　域　面　積	汚水　138ha 雨水　164ha	汚水　276ha 雨水　306ha	汚水　183ha 雨水　209ha
	人　　口	5,300人	30,300人	8,800人
	処　理　能　力	－	14,000㎥／日	－
	特　記　事　項	整備計画の見直しを行い、汚水整備区域を26ha縮小 既成合流式区域の分流化は昭和66年度以降に行う	蓮花寺調整池の一部施設及び敷地面積の変更 大山田第四中継ポンプ場の敷地面積の拡大と管径及び延長の一部変更	事業認可区域追加 桑名西部第一処理分区　19ha 桑名西部第二処理分区　26ha 西別所川排水区　26ha 蓮花寺川右岸第一排水区10ha 稗田排水区　8ha 大山田排水区　1ha 既設合流式区域の汚水整備は平成3年度以降とする
	備　　考	目標年次 昭和66年3月31日	目標年次 昭和73年3月31日	目標年次 平成4年3月31日

平成2年（1990年）	平成4年（1992年）	平成5年（1993年）	平成6年（1994年）
流域関連公共下水道 下水道法事業認可	流域関連公共下水道 下水道法事業認可	流域関連公共下水道 下水道法事業認可	流域関連公共下水道 下水道法事業認可
平成2年2月27日	平成4年3月13日	平成5年5月28日	平成6年8月30日
分流式	分流式	分流式	分流式
汚水　233ha 雨水　233ha	汚水　322ha 雨水　322ha	汚水　637ha 雨水　608ha	汚水　780ha 雨水　672ha
21,100人	23,553人	34,276人	46,605人
－	－	－	－
事業認可区域追加 桑名中部処理分区　50ha 江場排水区　24ha	事業認可区域追加 東方第二処理分区　18ha 桑部第二処理分区　36ha 久米処理分区　35ha 住吉排水区　18ha 古川第一排水区　35ha 古川第二排水区　20ha 古川第三排水区　16ha	事業認可区域追加 桑名中部処理分区　35ha 桑名西部第一処理分区　95ha 桑名西部第二処理分区　5ha 播磨処理分区　180ha 江場排水区　22ha 播磨地区第一排水区　140ha 播磨地区第二排水区　32ha 播磨地区第三排水区　8ha 星川第一排水区　46ha 星川第二排水区　38ha	事業認可区域追加 桑名中部処理分区　39ha 桑名西部第二処理分区　1ha 下深谷部北処理分区　29ha 下深谷部南処理分区　26ha 上深谷部処理分区　4ha 江場城南処理分区　44ha 江場排水区　9ha 深谷第二排水区　29ha 下深谷排水区　21ha 沢北川左岸排水区　5ha
目標年次 平成7年3月31日	目標年次 平成7年3月31日	目標年次 平成9年3月31日	目標年次 平成11年3月31日

		平成8年（1996年）	平成9年（1997年）	平成11年（1999年）
区　　分		流域関連公共下水道 下水道法事業認可	流域関連公共下水道 下水道法事業認可	流域関連公共下水道 下水道法事業認可
認　可　年　月　日		平成8年1月30日	平成9年11月4日	平成11年2月9日
内容	処　理　方　式	分流式	分流式	分流式
	区　域　面　積	汚水　841ha 雨水　729ha	汚水　1,084ha 雨水　901ha	汚水　1,084ha 雨水　901ha
	人　　口	51,190人	67,539人	67,539人
	処　理　能　力	－	－	－
	特　記　事　項	事業認可区域追加 桑名西部第一処理分区　4ha 桑名西部第二処理分区　1ha 播磨処理分区　56ha 播磨地区第一排水区　-1ha 播磨地区第二排水区　1ha 新西方排水区　57ha	事業認可区域追加 桑名中部処理分区　93ha 東方第一処理分区　3ha 東方第二処理分区　22ha 桑名西部第一処理分区　7ha 桑名西部第二処理分区　23ha 桑部第二処理分区　14ha 久米第二処理分区　22ha 播磨処理分区　4ha 江場城南処理分区　55ha 住吉排水区　2ha 江場排水区　82ha 福島排水区　22ha 西桑名排水区　35ha 西方排水区　9ha 江場第一排水区　22ha	桑名中部処理分区、江場城南処理分区において、汚水幹線ルート及び管径の変更
	備　　考	目標年次 平成12年3月31日	目標年次 平成15年3月31日	目標年次 平成15年3月31日

平成12年（2000年）	平成13年（2001年）	平成14年（2002年）	平成16年（2004年）
流域関連公共下水道 下水道法事業認可	流域関連公共下水道 下水道法事業認可	流域関連公共下水道 下水道法事業認可	流域関連公共下水道 下水道法事業認可
平成12年8月29日	平成13年1月25日	平成14年8月16日	平成16年9月7日
分流式	分流式	分流式	分流式
汚水　1,389ha 雨水　1,239ha	汚水　1,389ha 雨水　1,239ha	汚水　1,389ha 雨水　1,239ha	汚水　1,484ha 雨水　1,293ha
75,810人	75,810人	75,810人	81,550人
－	－	－	－
事業認可区域追加 桑名中部処理分区　11ha 桑名西部第一処理分区　5ha 桑名西部第二処理分区　-11ha 桑名西部第三処理分区　13ha 桑部第一処理分区　6ha 久米第二処理分区　3ha 播磨処理分区　276ha 下深谷部南処理分区　2ha 大山田排水区　305ha 西桑名排水区　1ha 西方排水区　9ha 西別所排水区　23ha 大山田単独公共下水道の編入 （汚水276ha、雨水306ha）	立花公園調整池並びに調整池付近管渠の変更及び放流管渠の追加	下深谷排水区においてポンプの増設 桑名駅西側の区画整理に伴う雨水、汚水の管渠変更 大山田汚水中継ポンプ場管理棟の編入 下水道計画区域の拡張による汚水管渠の追加	事業認可区域追加 桑名中部処理分区　26ha 東方第二処理分区　1ha 桑名西部第一処理分区　11ha 桑名西部第三処理分区　7ha 下深谷部北処理分区　4ha 下深谷部南処理分区　10ha 江場城南処理分区　36ha 深谷第二排水区　4ha 下深谷排水区　9ha 西桑名排水区　11ha 西方排水区　16ha 西別所排水区　14ha
目標年次 平成18年3月31日	目標年次 平成18年3月31日	目標年次 平成18年3月31日	目標年次 平成23年3月31日

② 旧多度町

		平成4年（1992年）	平成6年（1994年）	平成8年（1996年）
区分		流域関連公共下水道 下水道法事業認可	流域関連公共下水道 下水道法事業認可	流域関連公共下水道 下水道法事業認可
認可年月日		平成4年10月26日	平成6年8月30日	平成8年5月17日
内容	処理方式	分流式	分流式	分流式
	区域面積	汚水　39ha	汚水　75ha	汚水　128ha
	人口	1,100人	2,450人	3,840人
	処理能力	－	－	－
	特記事項	多度処理分区　39ha 家庭汚水量 468㎥／日最大 工場排水量 49㎥／日最大 地下水量 70㎥／日最大	事業認可区域追加 多度南処理分区　31ha 多度中処理分区　11ha 多度北処理分区　33ha	事業認可区域追加 多度北処理分区　53ha
	備考	目標年次 平成10年3月31日	目標年次 平成12年3月31日	目標年次 平成12年3月31日

平成9年（1997年）	平成12年（2000年）	平成16年（2004年）
流域関連公共下水道 下水道法事業認可	流域関連公共下水道 下水道法事業認可	流域関連公共下水道 下水道法事業認可
平成9年6月27日	平成12年8月11日	平成16年12月24日
分流式	分流式	分流式
汚水　226ha	汚水　401ha	汚水　401ha 雨水　52ha
7,270人	10,110人	9,690人
－	－	－
事業認可区域追加 多度南処理分区　11ha 多度中処理分区　8ha 多度北処理分区　79ha	事業認可区域追加 多度南処理分区　53ha 多度中処理分区　93ha 多度北処理分区　29ha	雨水計画の香取排水区を事業区域に追加し、ポンプ場の整備を行う 香取排水区　52ha 香取ポンプ場 φ1350　240㎥／分　1台 φ500　30㎥／分　1台
目標年次 平成15年3月31日	目標年次 平成18年3月31日	目標年次 平成23年3月31日

③　市町村合併後

桑名市（旧桑名市・旧多度町）

		平成20年（2008年）	平成27年（2015年）	平成30年（2018年）
区　　分		流域関連公共下水道 下水道法事業認可	流域関連公共下水道 下水道法事業認可	流域関連公共下水道 下水道法事業認可
認　可　年　月　日		平成20年10月21日	平成27年3月27日	平成30年3月1日
内容	処　理　方　式	分流式	分流式	分流式
	区　域　面　積	汚水　2,025ha 雨水　1,395ha	汚水　2,124ha 雨水　1,395ha	汚水　2,304ha 雨水　1,395ha
	人　　口	89,640人	89,664人	96,384人
	処　理　能　力	－	－	－
	特　記　事　項	事業認可区域追加 桑名中部処理分区　31ha 東方第二処理分区　22ha 桑名西部第一処理分区　11ha 桑名西部第二処理分区　24ha 下深谷部北処理分区　12ha 下深谷部南処理分区　9ha 江場城南処理分区　25ha 多度南処理分区　95ha 多度中処理分区　118ha 多度北処理分区　194ha 深谷第二排水区　2ha 西桑名排水区　2ha 西方排水区　43ha 西別所排水区　3ha 香取排水区　52ha	事業認可区域追加 桑名中部処理分区　4.2ha 東方第一処理分区　11.7ha 東方第二処理分区　12.1ha 桑名西部第一処理分区　8.8ha 桑部第二処理分区　0.4ha 久米第一処理分区　3.2ha 久米第二処理分区　0.4ha 播磨処理分区　58.3ha 多度南処理分区　0.2ha 多度中処理分区　0.1ha	事業認可区域追加 東方第一処理分区　-3.9ha 東方第二処理分区　64.2ha 桑名西部第一処理分区　69.2ha 久米第一処理分区　-3.1ha 久米第二処理分区　1.0ha 久米第三処理分区　3.2ha 播磨処理分区　22.1ha 多度北処理分区　26.9ha 多度南処理分区　0.2ha
	備　　考	目標年次 平成27年3月31日	目標年次 平成32年3月31日	目標年次 平成34年3月31日

令和３年（2021年）
流域関連公共下水道 下水道法事業認可
令和3年9月28日
分流式
汚水　2,415ha 雨水　1,395ha
105,332人
－
事業認可区域追加 東方第一処理分区　25.3ha 東方第二処理分区　35.6ha 桑名西部第一処理分区　24.1ha 久米第一処理分区　0.1ha 久米第二処理分区　0.1ha 播磨処理分区　25.7ha 多度中処理分区　0.1a 多度南処理分区　0.3ha
目標年次 令和7年3月31日

桑名市（旧長島町）

		平成5年（1993年）	平成9年（1997年）	平成11年（1999年）	平成15年（2003年）
区分		単独公共下水道 下水道法事業認可	単独公共下水道 下水道法事業認可	単独公共下水道 下水道法事業認可	単独公共下水道 下水道法事業認可
認可年月日		平成5年12月7日	平成9年2月7日	平成11年3月26日	平成15年6月13日
内容	処理方式	分流式	分流式	分流式	分流式
	区域面積	汚水　99ha	汚水　99ha	汚水　301ha	汚水　301ha 雨水　136ha
	人口	4,000人	4,000人	11,200人	11,200人
	処理能力	約 3,000㎥／日	約 3,000㎥／日	8,900㎥／日	8,900㎥／日
	特記事項	計画汚水量（日最大）： 2,400㎥／日 処理方式 ： 標準活性汚泥法	幹線管渠の変更	計画汚水量（日最大）： 6,500㎥／日 処理方式 ： 標準活性汚泥法	雨水追加
	備考	目標年次 平成12年3月31日	目標年次 平成12年3月31日	目標年次 平成17年3月31日	目標年次 平成20年3月31日

平成16年（2004年）	平成20年（2008年）	平成25年（2013年）	平成30年（2018年）	令和5年（2023年）
単独公共下水道 下水道法事業認可	単独公共下水道 下水道法事業認可	単独公共下水道 下水道法事業計画の変更	単独公共下水道 下水道法事業計画の変更	単独公共下水道 下水道法事業計画の変更
平成16年7月6日	平成20年3月28日	平成25年3月29日	平成30年3月1日	令和5年3月27日
分流式	分流式	分流式	分流式	分流式
汚水　614ha 雨水　136ha	汚水　614ha 雨水　136ha	汚水　614ha 雨水　136ha	汚水　614ha 雨水　136ha	汚水　614ha 雨水　136ha
16,100人	15,400人	15,200人	14,870人	14,000人
10,100㎥／日	10,000㎥／日	5,500㎥／日	5,500㎥／日	7,000㎥／日
計画汚水量（日最大）： 9,700㎥／日 処理方式　： ステップ流入式多段硝化脱窒法＋凝集剤添加＋急速砂ろ過法	計画汚水量（日最大）： 9,500㎥／日 処理方式　： 凝集剤添加型ステップ流入式多段硝化脱窒法＋急速砂ろ過法及び標準活性汚泥法（凝集剤添加）＋急速砂ろ過法	計画汚水量（日最大）： 5,475㎥／日 処理方式　： 凝集剤添加型ステップ流入式多段硝化脱窒法＋急速砂ろ過法	計画汚水量（日最大）： 5,241㎥／日 処理方式　： 凝集剤添加型ステップ流入式多段硝化脱窒法＋急速砂ろ過法	計画汚水量（日最大）： 6,945㎥／日 処理方式　： （1,2系）標準活性汚泥法＋凝集剤添加＋急速砂ろ過法 （3,4系）ステップ流入式多段硝化脱窒法＋凝集剤添加＋急速砂ろ過法
目標年次 平成23年3月31日	目標年次 平成25年3月31日	目標年次 平成30年3月31日	目標年次 平成35年3月31日	目標年次 令和10年3月31日

(3) 普及状況

① 流域関連公共下水道（桑名・多度地区）

		令和２年度	令和３年度	令和４年度
行政人口(人)	(a)	126,543	125,502	125,083
行政区域内面積(ha)		10,493	―	―
処理区域内人口(人)	(b)	95,822	97,327	98,412
処理区域面積(ha)		1,841.0	1,888.9	1,923.5
処理区域内水洗化人口(人)	(c)	91,370	91,940	91,893
処理区域内世帯数(世帯)	(d)	40,638	41,781	42,922
水洗化世帯数(世帯)	(e)	38,737	39,407	40,007
普及率・人口割(%)	(b/a)	75.7	77.6	78.7
水洗化率・人口割(%)	(c/b)	95.4	94.5	93.4
水洗化率・世帯割(%)	(e/d)	95.3	94.3	93.2

② 単独公共下水道（長島地区）

		令和２年度	令和３年度	令和４年度
行政人口(人)	(a)	14,502	14,210	14,086
行政区域内面積(ha)		3,175	―	―
処理区域内人口(人)	(b)	14,262	14,000	13,898
処理区域面積(ha)		577.3	577.3	577.3
処理区域内水洗化人口(人)	(c)	13,216	13,197	13,149
処理区域内世帯数(世帯)	(d)	5,906	5,817	5,841
水洗化世帯数(世帯)	(e)	5,391	5,383	5,413
普及率・人口割(%)	(b/a)	98.3	98.5	98.7
水洗化率・人口割(%)	(c/b)	92.7	94.3	94.6
水洗化率・世帯割(%)	(e/d)	91.3	92.5	92.7

③ 桑名市全体

		令和２年度	令和３年度	令和４年度
行政人口(人)	(a)	141,045	139,712	139,169
行政区域内面積(ha)		13,668	13,665	13,665
処理区域内人口(人)	(b)	110,084	111,327	112,310
処理区域面積(ha)		2,418.3	2,466.2	2,500.8
処理区域内水洗化人口(人)	(c)	104,586	105,137	105,042
処理区域内世帯数(世帯)	(d)	46,544	47,598	48,763
水洗化世帯数(世帯)	(e)	44,128	44,790	45,420
普及率・人口割(%)	(b/a)	78.0	79.7	80.7
水洗化率・人口割(%)	(c/b)	95.0	94.4	93.5
水洗化率・世帯割(%)	(e/d)	94.8	94.1	93.1

3　施設概要

(1) 流域関連公共下水道事業（桑名・多度地区）施設概要

①　汚水中継ポンプ場

	大山田第一 中継ポンプ場	大山田第二 中継ポンプ場	大山田第三 中継ポンプ場
竣工	昭和52年	昭和54年	昭和53年
所在地	桑名市野田六丁目17-1	桑名市野田四丁目8-18	桑名市松ノ木五丁目15-1
敷地面積	330.00㎡	350.00㎡	360.00㎡
建屋	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
汚水排出能力	1.40㎥/分 横軸汚水用ポンプ2台	1.18㎥/分 横軸汚水用ポンプ2台	1.24㎥/分 横軸汚水用ポンプ2台
汚水沈砂池	2池	2池	2池
処理分区名	播磨処理分区	播磨処理分区	播磨処理分区
ポンプ井	1池	1池	1池
発電設備	100KVA　3φ220V　60Hz	35KVA　3φ220V　60Hz	40KVA　3φ220V　60Hz

	大山田第四 中継ポンプ場	大山田第五 中継ポンプ場	蓮花寺第２ 中継ポンプ場
竣工	平成元年	平成25年	昭和57年
所在地	桑名市藤が丘七丁目401	桑名市大字額田 字池ヶ谷2029-4	桑名市大字蓮花寺皿ヶ谷1605-18
敷地面積	470.00㎡	278.73㎡	24.00㎡
建屋	鉄筋コンクリート造	軽量鉄骨造	コンクリートブロック造
汚水排出能力	3.10㎥/分 横軸汚水用ポンプ2台	1.185㎥/分 縦軸汚水水中ポンプ2台	0.95㎥/分　　2台
汚水沈砂池	1池	－	1池
処理分区名	播磨処理分区	－	－
ポンプ井	1池	1池	－
発電設備	65KVA　3φ220V　60Hz	100KVA　3φ220V　60Hz	12KVA　3φ220V　60Hz

②　汚水中継ポンプ場関連施設

	汚水中継 ポンプ場管理センター
竣工	平成15年
所在地	桑名市松ノ木七丁目17-8
敷地面積	395.15㎡
建屋	鉄骨造
発電設備	32KVA　3φ220V　60Hz

③　雨水ポンプ場

	香取ポンプ場	下深谷ポンプ場	城之堀ポンプ場	甚内ポンプ場
竣　　工	平成22年	昭和55年	昭和49年	平成20年
所　在　地	桑名市多度町香取356	桑名市大字下深谷部字長侭4929-3	桑名市大字下深谷部字城之堀100-3	桑名市大字福島523-1
敷地面積	1,400.00㎡	2,300.00㎡	1,900.00㎡	3,800.00㎡
建築面積	313㎡	221.143㎡	175.50㎡	633.95㎡
排水面積	52.0ha	36.14ha	30.6ha	111.13ha
排水区名	香取排水区	深谷第２排水区	下深谷排水区	西桑名排水区
建　　屋	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
排水能力	30㎥/分 水中ポンプ1台	145㎥/分 立軸斜流ポンプ1台	45㎥/分 立軸斜流ポンプ1台	104㎥/分 立軸斜流ポンプ2台
	240㎥/分 立軸斜流ポンプ1台	49㎥/分 立軸斜流ポンプ2台	200㎥/分 立軸斜流ポンプ1台	206㎥/分 立軸斜流ポンプ2台
	－	－	22㎥/分 水中ポンプ1台	－
沈砂池	－	2池	2池	4池
ポンプ井	1井	1井	1井	1井
発電設備	ディーゼル機関360ps×1,800rpm×6気筒 発電機200KVA×210V 60Hz	ディーゼル機関360ps×1,800rpm×6気筒 発電機300KVA×440V 60Hz	ディーゼル機関388kW×1,800rpm×6気筒 発電機375KVA×440V 60Hz	ディーゼル機関437ps×1,800rpm×6気筒 発電機625KVA×6,600V 60Hz

福島ポンプ場	住吉ポンプ場	江場ポンプ場	西別所ポンプ場
昭和55年	昭和63年	昭和46年	昭和58年
桑名市大字桑名字砂割654-34	桑名市船馬町地先	桑名市大字江場字正金縄415	桑名市大字繁松新田字西之割地内
2,400.00㎡	2,730.00㎡	6,680.00㎡	2,900.00㎡
394.192㎡	658.5㎡	221.143㎡	448㎡
72.28ha	100.01ha	220.01ha	61.94ha
福島排水区	住吉排水区	江場排水区	西別所排水区
鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
78㎥/分 立軸斜流ポンプ2台	120㎥/分 立軸斜流ポンプ2台	200㎥/分 立軸斜流ポンプ3台	87㎥/分 立軸斜流ポンプ2台
195㎥/分 立軸斜流ポンプ2台	300㎥/分 立軸斜流ポンプ2台	277㎥/分 立軸斜流ポンプ3台	168㎥/分 立軸斜流ポンプ2台
－	－	－	－
5池	4池	5池	4池
1井	1井	2井	1井
ディーゼル機関750ps×1,200rpm×6気筒 発電機600KVA×6,600V 60Hz	ディーゼル機関900ps×900rpm×6気筒 発電機750KVA×6,600V 60Hz	ディーゼル機関360ps×1,800rpm×6気筒 発電機300KVA×440V 60Hz	ディーゼル機関600ps×1,200rpm×6気筒 発電機500KVA×440V 60Hz

④　その他小規模雨水ポンプ場

	下深谷第２ポンプ場	城南ポンプ場（農業用施設）	蓮花寺農住ポンプ場	寿農住ポンプ場	第三農住ポンプ場	立花公園ポンプ場
竣工	昭和61年	平成16年	平成8年	平成7年	平成8年	平成14年
所在地	桑名市大字下深谷部字長俣地内	桑名市大字太平町242-6	桑名市大字蓮花寺字宇賀329-1	桑名市神成町2-52	桑名市福島新町6	桑名市立花町1-4
敷地面積	2,260.00㎡	2,520.48㎡	1,320.00㎡	280.00㎡	560.00㎡	30,250.00㎡
建築面積	85.7㎡	388.96㎡	31.50㎡	18.40㎡	24.34㎡	－
排水面積	6.5ha	220ha	3.98ha	2.8ha	3.18ha	－
排水区名	－	城南排水区	－	－	－	－
建屋	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	RC造	鉄骨造	コンクリートブロック造	鉄筋コンクリート造
排水能力	68㎥/分 斜流形水中ポンプ1台	164.6㎥/分 立軸斜流ポンプ3台	7㎥/分 水中ポンプ2台	6㎥/分 水中ポンプ2台	11.2㎥/分 水中ポンプ2台	1.5㎥/分 水中ポンプ2台
	14.5㎥/分 斜流形水中ポンプ1台	－				
	10㎥/分 斜流形水中ポンプ1台	－	0.8㎥/分 水中ポンプ1台			
調整池面積（約）	－	－	1,000㎡	200㎡	270㎡	1,821.4㎡
発電設備	ディーゼル機関 360ps×1,800rpm×6気筒 発電機300KVA×220V 60Hz	ディーゼル機関 740ps×1,800rpm×6気筒 発電機350KVA×440V 60Hz	55KVA×220V 60Hz	60KVA×220V 60Hz	48KVA×220V 60Hz	47KVA×220V 60Hz

(2) 単独公共下水道事業（長島地区）施設概要

① 長島浄化センター

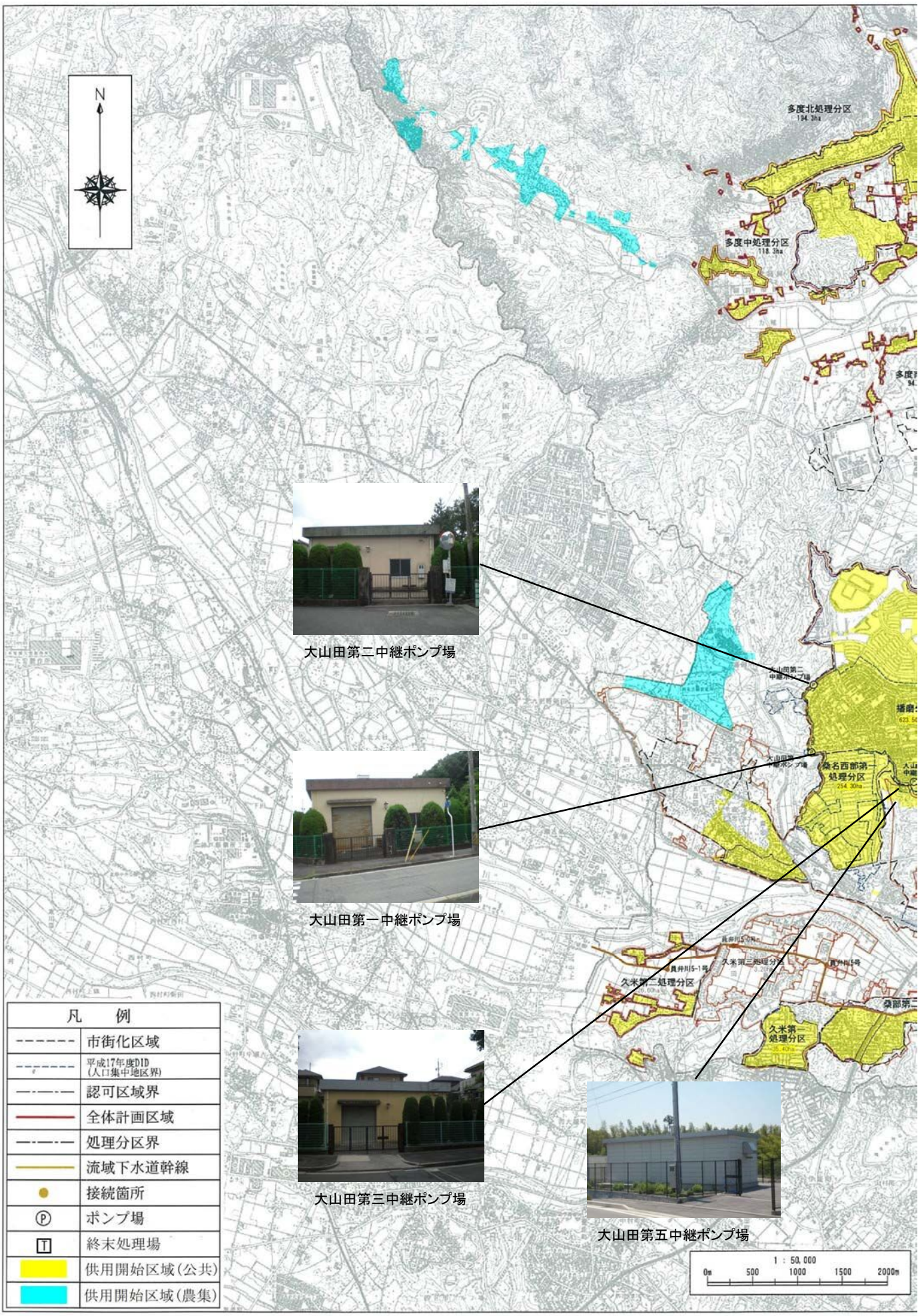
竣工	平成12年	
供用開始	1系平成12年3月、2系平成15年3月、3系平成22年3月	
所在地	桑名市長島町赤地331-1	
敷地面積	21,840㎡	
水処理能力	現在日最大8,200㎥/日　　（4系完成時9,000㎥/日）	
最初沈澱池	容積　1系113㎥×2池、2系225㎥、3系225㎥	
反応槽	容積　1系990㎥、2系990㎥、3系1,096㎥	
最終沈澱池	容積　1系310㎥×2池、2系620㎥、3系745㎥	
砂ろ過設備	3,367㎥/日×2基	2基
原水ポンプ	3.7㎥/min×3台	3台
自動スクリーン	1.5kw　回転レーキ式自動除塵機	1台
送風機	1系684㎥/ｈ×2台、2系1,368㎥/ｈ、3系1,140㎥/ｈ	4台
撹拌機	1系2.2kw×2台、5.5kw×2台、2系2.2kw×2台、5.5kw×2台、3系1.5kw×3台	11台
散気装置	3系2.27㎥/min	一式
返送ポンプ	1系1.0㎥/min×2台、2系1.1㎥/min×2台、3系0.9㎥/min×2台	6台
次亜塩ポンプ	0.3㎥/min×2台	2台
次亜塩タンク	容積　2㎥	1台
脱水機	1系10㎥/ｈ、2系60kg-DS/㎡/ｈ×3㎡	2台
汚泥供給ポンプ	1系15㎥/ｈ×2台、2系13.5㎥/ｈ	3台
薬品供給ポンプ	1系2.4㎥/ｈ×2台、2系1.8㎥/ｈ	3台
薬品タンク	容積　6㎥×2台	2台
脱臭装置	薬品脱臭　横型スクリーン多段接触方式　24㎥/ｈ	1台
薬品脱臭ファン	5.5kw　ターボファン	1台
土壌脱臭ファン	5.5kw　ターボファン	1台
自家用発電機	160kw 200KVA 日立製作所 パッケージ型発電機 1999年据付	1台
計画処理人口	全体計画　　14,000人	
	認可計画　　14,000人	
処理区域面積	全体計画　　614ｈａ	
	認可計画　　614ｈａ	
処理方式	標準活性汚泥法＋ステップ流入式多段硝化脱窒法＋凝集剤添加＋急速ろ過	
処理水放流先	農業排水路　→　長良川水域丸八川	

② 汚水中継ポンプ場

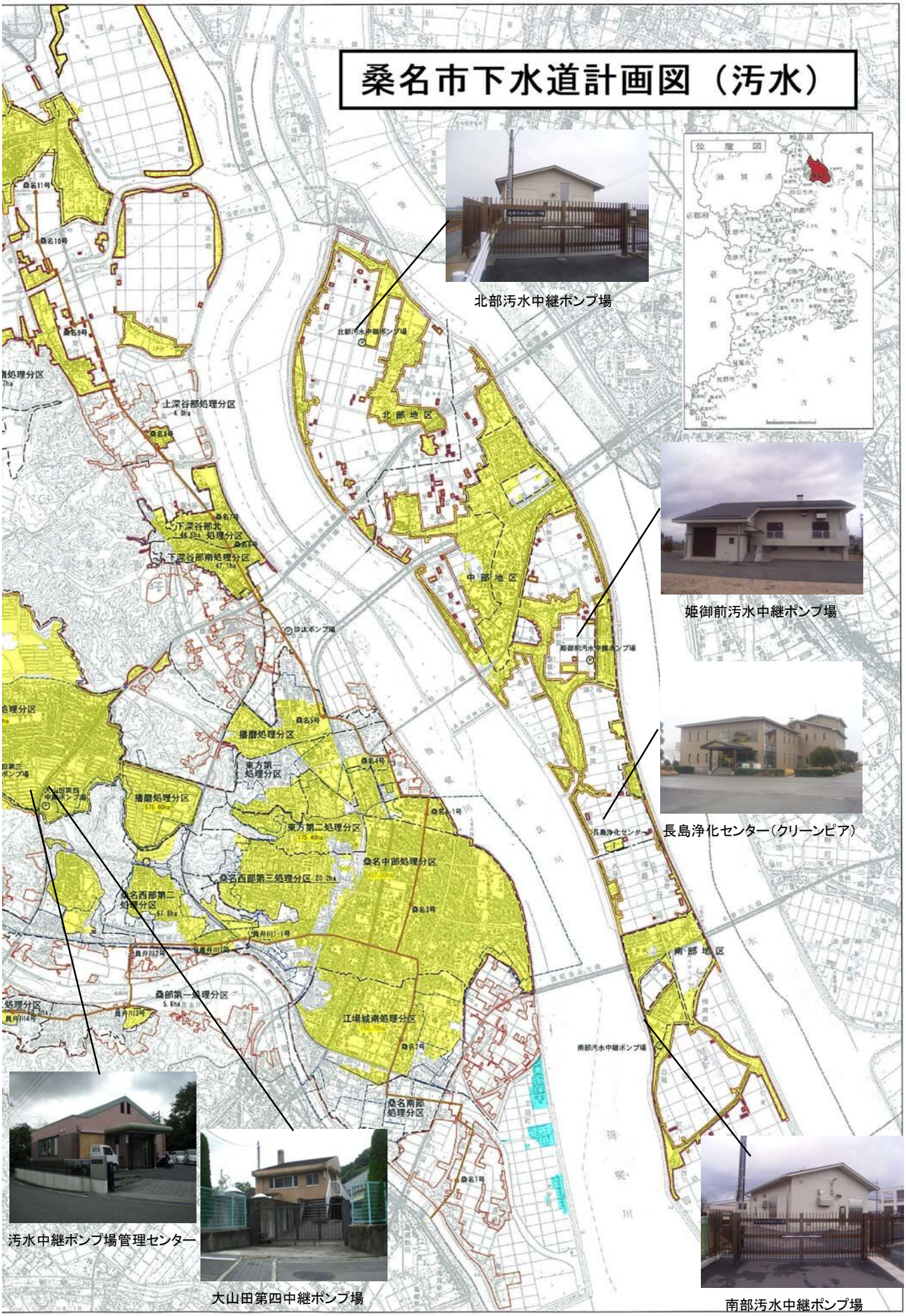
	姫御前汚水中継ポンプ場	北部汚水中継ポンプ場	南部汚水中継ポンプ場
竣工	平成16年	平成22年	平成22年
供用開始	平成16年3月	平成22年3月	平成22年3月
所在地	桑名市長島町源部外面字山ノ割440	桑名市長島町西川字五右エ門西670-3	桑名市長島町白鶏字佐藤1-32
敷地面積	2,994.00㎡	559.09㎡	418.11㎡
水処理能力	現在2台運転時日最大10,080㎥/日	－	－
揚砂ポンプ	3.7kw 0.5㎥/min 水中汚泥汚物ポンプ 1台	－	－
自動スクリーン	0.4kw 自動掻き上げ式 一式	－	－
汚水ポンプ	210㎥/h×3台 30kw	－	－
真空ポンプ	－	口径 80mm 吐出量 5.4㎥/min 吸込圧力 -70Kpa 回転数 1160min^{-1} 3台	口径 65mm 吐出量 3.3㎥/min 吸込圧力 -70Kpa 回転数 1750min^{-1} 3台
圧送ポンプ	－	口径 150mm 吐出量 1.1㎥/min 全揚程 48m 回転数 1765min^{-1} 2台	口径 100mm 吐出量 0.6㎥/min 全揚程 13m 回転数 2000min^{-1} 2台
脱臭装置	活性炭吸着塔 17㎥/h 1台	処理風量 5.0㎥/min 空塔速度 0.282m/sec 1台	処理風量 3.0㎥/min 空塔速度 0.247m/sec 入口濃度 3.0 出口濃度 2.5以下 1台
脱臭ファン	2.2kw FRP製ターボファン 1台	－	－
集水タンク	－	内容量 8㎥ 直径 2200mm 設計圧力 -80Kpa 1基	内容量 4㎥ 直径 1650mm 直胴部 2230mm 設計圧力 -0.08Mpa 1槽
冷却塔	－	冷却水量 44L/min 風量 6.6㎥/min 冷却能力 15.35kw 1台	－
封水タンク	－	形状 1000w×2500L×1400L 容量 2.5㎥ 材質 SUS304 1台	－
床排水ポンプ	－	口径 50mm 出力 0.4kw 吐出量 0.12㎥/min 揚程 8m 1台	口径 50mm 吐出量 0.2㎥/min 揚程 6m 1台
封水ポンプ	－	口径 32mm 出力 0.4kw 吐出量 28L/min 3台	－
酸素発生機	－	酸素発生量 30N㎥/h 吐出圧力 0.45MPa 1台	－
空気圧縮機	－	吐出空気量 0.66㎥/min 吐出圧力 0.69MPa 1台	－
自家用発電機	188.9kw 200KVA 三菱電機 パッケージ型発電機 2002年据付 1台	定格出力 92.0kw 115KVA 三菱重工業 パッケージ型発電機 1台	40kw 50KVA ヤンマーエネルギーシステム パッケージ型発電機 1台

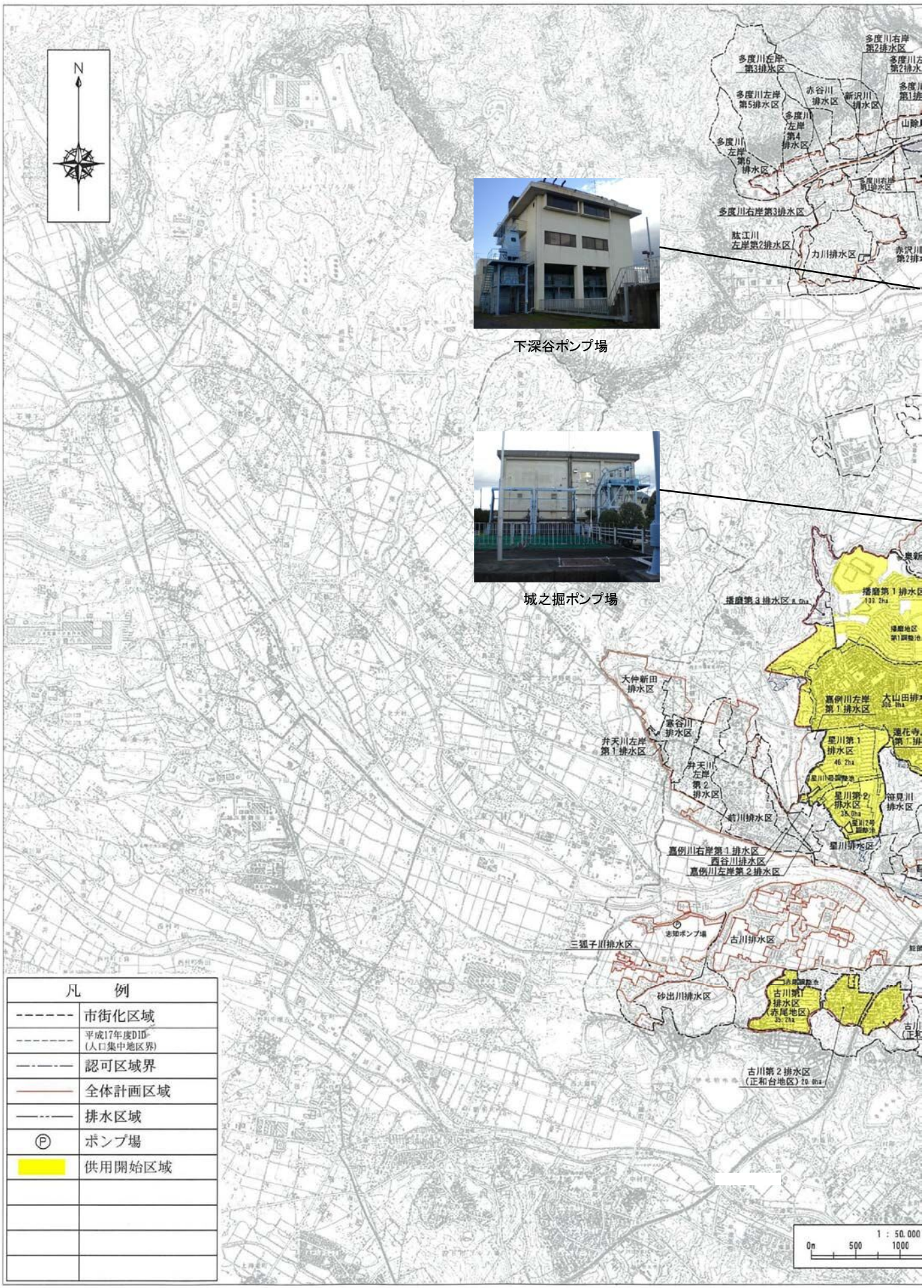
(3) 下水道施設一覧表

施設名	所在地	敷地面積(㎡)
大山田第一中継ポンプ場	桑名市野田六丁目17-1	330.00
大山田第二中継ポンプ場	〃 野田四丁目8-18	350.00
大山田第三中継ポンプ場	〃 松ノ木五丁目15-1	360.00
大山田第四中継ポンプ場	〃 藤が丘七丁目401	470.00
大山田第五中継ポンプ場	〃 大字額田字池ヶ谷2029-4	278.73
蓮花寺第2中継ポンプ場	〃 大字蓮花寺皿ヶ谷1605-18	24.00
汚水中継ポンプ場管理センター	〃 松ノ木七丁目17-8	395.15
香取ポンプ場	〃 多度町香取356	1,400.00
下深谷ポンプ場	〃 大字下深谷部字長侭4929-3	2,300.00
城之堀ポンプ場	〃 大字下深谷部字城之堀100-3	1,900.00
甚内ポンプ場	〃 大字福島523-1	3,800.00
福島ポンプ場	〃 大字桑名字砂割654-34	2,400.00
住吉ポンプ場	〃 船馬町地先	2,730.00
江場ポンプ場	〃 大字江場字正金縄415	6,680.00
西別所ポンプ場	〃 大字繁松新田字西之割 地内	2,900.00
下深谷第2ポンプ場	〃 大字下深谷部字長侭 地内	2,260.00
城南ポンプ場	〃 大字太平町242-6	2,520.48
蓮花寺農住ポンプ場	〃 大字蓮花寺字宇賀329-1	1,320.00
寿農住ポンプ場	〃 神成町2-52	280.00
第三農住ポンプ場	〃 福島新町6	560.00
立花公園ポンプ場	〃 立花町1-4	30,250.00
長島浄化センター	〃 長島町赤地331-1	21,840.00
姫御前汚水中継ポンプ場	〃 長島町源部外面字山ノ割440	2,994.00
北部汚水中継ポンプ場	〃 長島町西川字五右エ門西670-3	559.09
南部汚水中継ポンプ場	〃 長島町白鶏字佐藤1-32	418.11

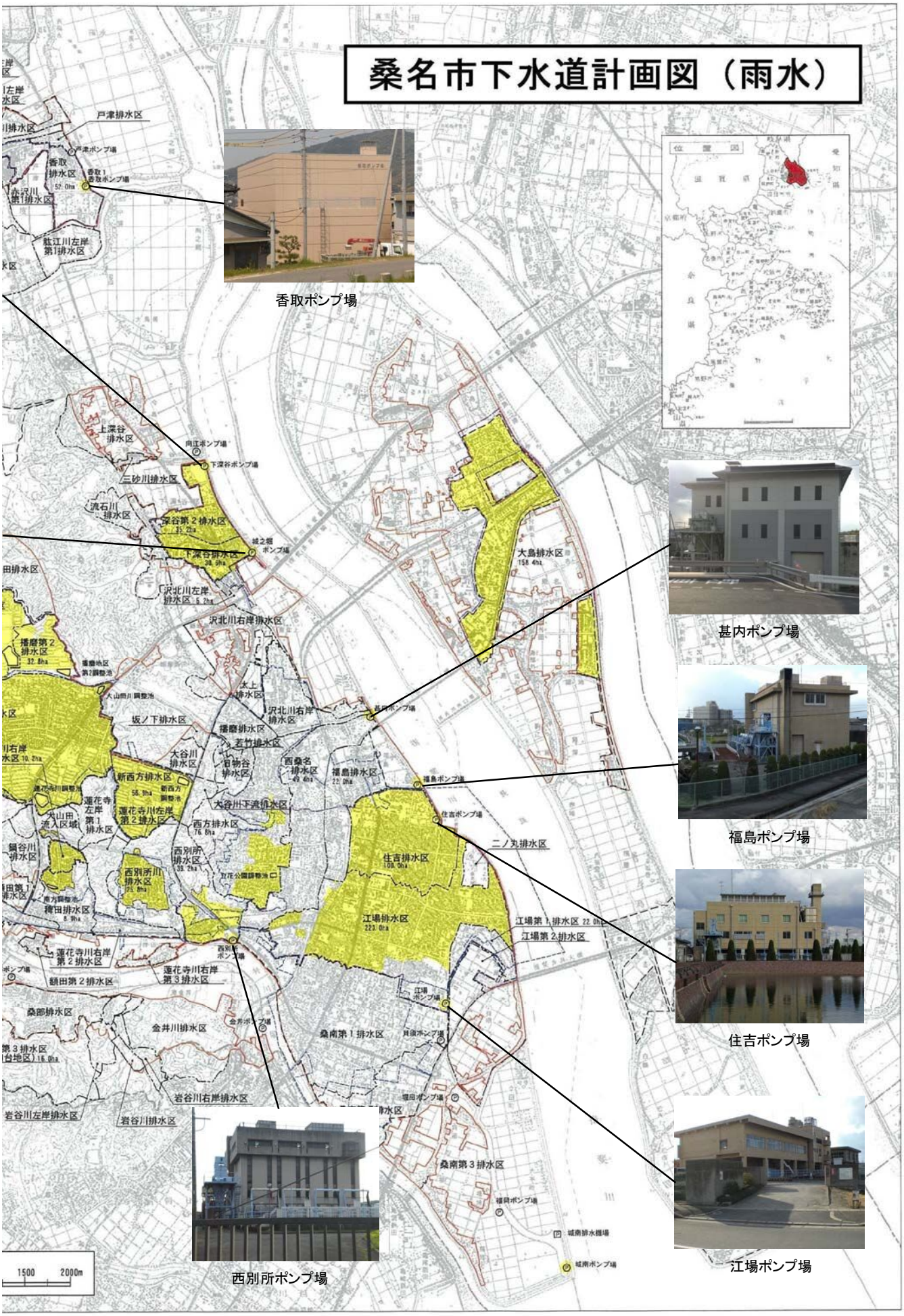

N
多度北処理分区
194.3ha
多度中処理分区
118.3ha
大山田第二中継ポンプ場
大山田第一中継ポンプ場
大山田第三中継ポンプ場
大山田第五中継ポンプ場
桑名西部第一処理分区
254.30ha
久米第二処理分区
久米第三処理分区
久米第一処理分区
真弁川5-1号
真弁川5号
凡　例
市街化区域
平成17年度DID（人口集中地区界）
認可区域界
全体計画区域
処理分区界
流域下水道幹線
接続箇所
ポンプ場
終末処理場
供用開始区域（公共）
供用開始区域（農集）
1：50,000
0m 500 1000 1500 2000m

桑名市下水道計画図（汚水）




N
下深谷ポンプ場
城之掘ポンプ場
多度川右岸第2排水区
多度川左岸第3排水区
多度川左岸第5排水区
赤谷川排水区
新沢川排水区
多度川左岸第4排水区
多度川左岸第6排水区
多度川右岸第3排水区
肱江川左岸第2排水区
力川排水区
播磨第3排水区
播磨第1排水区
大仲新田排水区
嘉例川左岸第1排水区
大山田排水区
寒谷川排水区
弁天川左岸第1排水区
星川第1排水区
蓮花寺第1排水区
弁天川左岸第2排水区
星川第2排水区
笹見川排水区
嶋川排水区
星川排水区
嘉例川右岸第1排水区
西谷川排水区
嘉例川左岸第2排水区
志知ポンプ場
三狐子川排水区
古川排水区
砂出川排水区
古川第1排水区（赤尾地区）
古川第2排水区（正和台地区）
凡　例
市街化区域
平成17年度DID（人口集中地区界）
認可区域界
全体計画区域
排水区域
ポンプ場
供用開始区域
1：50,000
0m 500 1000

桑名市下水道計画図（雨水）



4　業務状況

(1) 整備状況

①　汚水計画

区域	処理分区名	面　積（ha）		人　口（人）	
		認　可	整　備	認　可	整　備
流域関連公共下水道（北部処理区）	桑名中部処理分区	427.00	354.97	24,807	24,090
	東方第一処理分区	36.10	4.91	1,260	614
	東方第二処理分区	175.40	117.25	6,977	6,268
	桑名西部第一処理分区	254.30	161.65	13,663	10,025
	桑名西部第二処理分区	67.80	41.36	3,004	2,221
	桑名西部第三処理分区	20.20	17.10	485	405
	桑部第一処理分区	5.60	5.60	291	294
	桑部第二処理分区	50.70	43.59	3,101	2,836
	久米第一処理分区	35.40	35.30	2,907	2,977
	久米第二処理分区	26.70	25.45	678	597
	久米第三処理分区	3.20	0.00	194	0
	播磨処理分区	623.50	510.12	28,972	29,520
	下深谷部北処理分区	44.60	36.61	1,163	1,471
	下深谷部南処理分区	47.10	38.80	1,841	1,425
	上深谷部処理分区	4.00	4.00	388	307
	江場城南処理分区	158.70	134.61	6,299	5,692
	多度北処理分区	221.16	221.10	4,942	5,368
	多度中処理分区	118.50	76.03	2,519	2,487
	多度南処理分区	95.30	95.06	1,841	1,815
	計	2,415.26	1,923.51	105,332	98,412

区域	処理区名	面　積（ha）		人　口（人）	
		認　可	整　備	認　可	整　備
単独公共下水道	長島処理区	613.80	577.27	14,000	13,898

② 雨水計画

区域	排水区名	面　積（ha）	
		認　可	整　備
流域関連公共下水道（北部処理区）	住吉排水区	100.01	100.01
	江場排水区	220.01	169.71
	西別所川排水区	25.80	25.80
	稗田排水区	8.00	8.00
	蓮花寺川右岸第一排水区	10.20	10.20
	大山田排水区	306.03	306.03
	古川第一（赤尾地区）排水区	35.20	35.20
	古川第二（正和台地区）排水区	20.00	20.00
	古川第三（正和台地区）排水区	16.00	16.00
	播磨地区第一排水区	139.20	97.77
	播磨地区第二排水区	32.80	28.99
	播磨地区第三排水区	8.00	0
	星川第一排水区	46.20	46.20
	星川第二排水区	38.00	38.00
	深谷第二排水区	35.20	33.00
	下深谷排水区	30.60	30.60
	沢北川左岸排水区	5.20	0
	新西方排水区	56.90	56.90
	福島排水区	22.00	0
	西桑名排水区	49.40	0
	西方排水区	76.80	34.42
	江場第一排水区	22.00	0
	西別所排水区	39.17	19.24
	香取排水区	52.00	0
	計	1,394.72	1,076.07

区域	排水区名	面　積（ha）	
		認　可	整　備
単独公共下水道	大島排水区	135.85	135.85

(2)　事業の推移状況

項目＼年度		令和２年度	令和３年度	令和４年度
処理区域内世帯数	(世帯)	46,544	47,598	48,763
処理区域内人口	(人)	110,084	111,327	112,310
全体計画人口	(人)	137,420	129,620	128,900
水洗化世帯数	(世帯)	44,128	44,790	45,420
水洗化人口	(人)	104,586	105,137	105,042
年間総処理水量	(㎥)	12,813,830	12,850,840	12,705,590
有収水量	(㎥)	10,975,387	10,926,570	10,884,964
1日最大処理水量	(㎥)	47,760	51,064	46,322
1日平均処理水量	(㎥)	33,824	34,002	34,602
有収率	(%)	85.7	85.0	85.7
使用料単価	(円)	196.5	195.7	195.8
汚水処理原価	(円)	171.0	164.5	163.3
汚水管布設延長	(m)	666,123.47	674,721.40	683,934.45
雨水管布設延長	(m)	160,661.62	160,786.35	161,278.25
下水道使用料	(千円)	2,156,851	2,138,491	2,131,633
総収益	(千円)	5,037,565	4,986,482	4,966,123
総費用	(千円)	4,551,898	4,448,738	4,441,801

（注）下水道使用料・総収益・総費用は消費税及び地方消費税を含まない。

(3) 受益者負担金制度

下水道が整備されると、周辺の衛生環境は向上し、環境保護にも大きな力を発揮します。また、結果的に土地の利便性が増すという利益を受けることになります。しかし下水道は、誰もが使える公園や道路と異なり、整備された区域内の土地所有者や賃借権・地上権などの権利をお持ちの方のみがその恩恵を受けられるという特徴があります。このため、下水道整備の費用を公費（税金）だけでまかなうことは、整備区域と未整備区域の人々の間に不公平を招くことになってしまいます。受益者負担金制度は、このような不公平をなくすため下水道の恩恵や利益を受ける方に建設費の一部を負担していただく制度です。

この制度は旧桑名市では平成３年度、旧多度町では平成９年度、旧長島町では平成12年度から徴収を開始し、平成16年の合併により単価を283円/㎡に統一しました。

受益者負担金年度別調定額及び収納率

区分＼年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
調定額（円）	57,304,370	39,650,080	45,667,570
収納率（%）	98.15	97.00	96.54

(4) 下水道使用料

（税抜）

種別	基本使用料 １ヶ月につき	従量使用料（１㎥につき）	
一般汚水	1,089円	１㎥から10㎥まで	25円
		10㎥を超え20㎥まで	184円
		20㎥を超え30㎥まで	197円
		30㎥を超え50㎥まで	268円
		50㎥を超え100㎥まで	280円
		100㎥を超え200㎥まで	326円
		200㎥を超え500㎥まで	337円
		500㎥を超え1,000㎥まで	360円
		1,000㎥を超えるとき	394円
公衆浴場汚水	—	1㎥につき	32円
学校プール汚水	—	1㎥につき	140円

（注） 料金改定日　平成29年７月１日

(5) 下水道用途別使用量

区分 / 年度	一般汚水			公衆浴場汚水		
	件数（件）	使用量（㎥）	1件当り（㎥）	件数（件）	使用量（㎥）	1件当り（㎥）
令和２年度	227,974	10,927,773	47.93	26	40,894	1,572.85
令和３年度	231,271	10,825,235	46.81	30	92,110	3,070.33
令和４年度	235,317	10,754,392	45.70	30	101,699	3,389.97
４ 月	13,497	543,236	40.25	0	0	0
５ 月	25,578	1,232,845	48.20	5	17,333	3,466.60
６ 月	13,458	561,469	41.72	0	0	0
７ 月	25,585	1,238,274	48.40	5	17,076	3,415.20
８ 月	13,542	566,232	41.81	0	0	0
９ 月	25,658	1,260,566	49.13	5	16,427	3,285.40
10 月	13,524	549,157	40.61	0	0	0
11 月	25,694	1,240,622	48.28	5	16,775	3,355.00
12 月	13,531	555,025	41.02	0	0	0
１ 月	25,777	1,248,250	48.42	5	16,887	3,377.40
２ 月	13,523	568,913	42.07	0	0	0
３ 月	25,950	1,189,803	45.85	5	17,201	3,440.20

学校プール汚水			合　　計		
件　　数 （件）	使用量 （㎥）	１件当り （㎥）	件　　数 （件）	使用量 （㎥）	１件当り （㎥）
43	6,720	156.28	228,043	10,975,387	48.13
36	9,225	256.25	231,337	10,926,570	47.23
77	28,873	374.97	235,424	10,884,964	46.24
1	8	8.00	13,498	543,244	40.25
7	1,115	159.29	25,590	1,251,293	48.90
4	1,544	386.00	13,462	563,013	41.82
16	13,359	834.94	25,606	1,268,709	49.55
5	6,089	1,217.80	13,547	572,321	42.25
15	3,270	218.00	25,678	1,280,263	49.86
3	529	176.33	13,527	549,686	40.64
8	2,559	319.88	25,707	1,259,956	49.01
11	62	5.64	13,542	555,087	40.99
3	23	7.67	25,785	1,265,160	49.07
2	295	147.50	13,525	569,208	42.09
2	20	10.00	25,957	1,207,024	46.50

(6)　普及促進

①　水洗便所等改造資金融資あっせん

公共下水道の処理区域内（供用開始後）で個人住宅や個人が経営するアパートなどで、既設トイレを水洗トイレに改造する工事と、これと同時に施工する排水設備工事に必要な資金を金融機関から低利で融資を受けられるようにあっせんするもので、資金融資の利率は１％とし、金融機関における利率との差額は市が補給します。

・家屋の新築・改築・増築の利用は不可
・この制度は１家庭１回限り
・対象者は市内在住者
・貸付金

貸付限度額	50万円（共同住宅の場合は１戸20万円以内で総額100万円以内）
利率	１％（年利）
償還方法	36回以内の毎月元利均等償還

融資あっせん制度実績

区分＼年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
件数（件）	0	0	0
融資額（円）	0	0	0
融資利息補てん金額（円）	0	0	0

②　生活扶助世帯に対する水洗便所等改造工事補助金交付

生活扶助世帯の居住に供する住宅の既設トイレを、公共下水道の処理開始の告示の日から３年以内に水洗トイレに改造する工事と、これと同時に施工する排水設備工事に必要最小限の資金を補助します。

・供用開始日以降の新築・改築・増築・移転の利用は不可

補助金交付制度実績　　令和２年度、令和３年度、令和４年度　なし

（7）排水設備工事件数

（単位：件）

区分 年度	新設工事	増設・改築工事	融資あっせん
令和２年度	440	110	0
令和３年度	437	123	0
令和４年度	417	134	0
４ 月	26	10	0
５ 月	24	10	0
６ 月	47	11	0
７ 月	33	4	0
８ 月	33	12	0
９ 月	30	19	0
10 月	31	6	0
11 月	37	10	0
12 月	32	17	0
１ 月	53	11	0
２ 月	41	12	0
３ 月	30	12	0

(8) 下水道排水(排除)基準

この基準を上回るものは、すべて特定施設又は除害施設となり、届出が必要。　H26.12.1改正

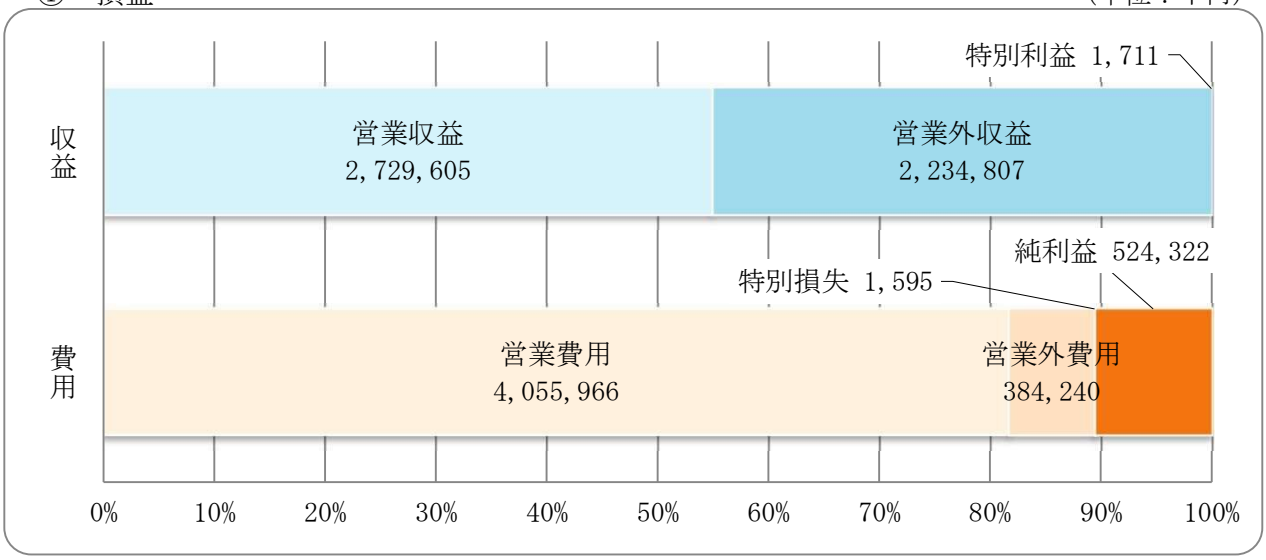
		対象者 / 対象物質又は項目		特定事業場		非特定事業場	
		排水量（㎥/日）		50㎥/日以上	50㎥/日未満	50㎥/日以上	50㎥/日未満
条例で定める基準（処理可能項目）	環境項目等	温度		45℃	45℃	45℃	45℃
		アンモニア性窒素等含有量		380	380	380	380
		水素イオン濃度（pH）		5を超え9未満	5を超え9未満	5を超え9未満	5を超え9未満
		生物化学的酸素要求量（BOD）		600	—	600	—
		浮遊物質量（SS）		600	—	600	—
		沃素消費量		220	220	220	220
		ノルマルヘキサン抽出物質	鉱油	5	5	5	5
			動植物油	30	30	30	30
		窒素含有量		240	240	240	240
		燐含有量		32	32	32	32
政令の基準（処理困難物質）		フェノール類		5	5	5	5
		銅及びその化合物		3	3	3	3
		亜鉛及びその化合物		2	2	2	2
		鉄及びその化合物（溶解性）		10	10	10	10
		マンガン及びその化合物（溶解性）		10	10	10	10
		クロム及びその化合物（溶解性）		2	2	2	2
	健康項目	カドミウム及びその化合物		0.03	0.03	0.03	0.03
		シアン化合物		1	1	1	1
		有機燐化合物		1	1	1	1
		鉛及びその化合物		0.1	0.1	0.1	0.1
		六価クロム化合物		0.5	0.5	0.5	0.5
		砒素及びその化合物		0.1	0.1	0.1	0.1
		水銀及びアルカリ水銀その他水銀化合物		0.005	0.005	0.005	0.005
		アルキル水銀化合物		検出されないこと	検出されないこと	検出されないこと	検出されないこと
		PCB		0.003	0.003	0.003	0.003
		トリクロロエチレン		0.3	0.3	0.3	0.3
		テトラクロロエチレン		0.1	0.1	0.1	0.1
		ジクロロメタン		0.2	0.2	0.2	0.2
		四塩化炭素		0.02	0.02	0.02	0.02
		1,2-ジクロロエタン		0.04	0.04	0.04	0.04
		1,1-ジクロロエチレン		1	1	1	1
		シス-1,2-ジクロロエチレン		0.4	0.4	0.4	0.4
		1,1,1-トリクロロエタン		3	3	3	3
		1,1,2-トリクロロエタン		0.06	0.06	0.06	0.06
		1,3-ジクロロプロペン		0.02	0.02	0.02	0.02
		チウラム		0.06	0.06	0.06	0.06
		シマジン		0.03	0.03	0.03	0.03
		チオベンカルブ		0.2	0.2	0.2	0.2
		ベンゼン		0.1	0.1	0.1	0.1
		セレン及びその化合物		0.1	0.1	0.1	0.1
		ほう素及びその化合物		230(10)	230(10)	230(10)	230(10)
		ふっ素及びその化合物		15(8)	15(8)	15(8)	15(8)
		ダイオキシン類		10	10	10	10

（備考）
- 単位は、ダイオキシン類はpg-TEQ/L、その他はmg/L
- 銅及びその化合物・フェノール類は三重県の上乗せ条例による。
- ［　　］は、直罰対象の排除基準を示す。
- (　)は川へ放流している長島地区の数値を示す。
- 生物化学的酸素要求量（BOD）・浮遊物質量（SS）は、桑名市下水道条例施行規程第７条により50㎥/日未満は規制しない。
- 条例とは、桑名市下水道条例をいう。　（特定事業場）は第８条、（非特定事業場：除害施設）は第９・１０条による。

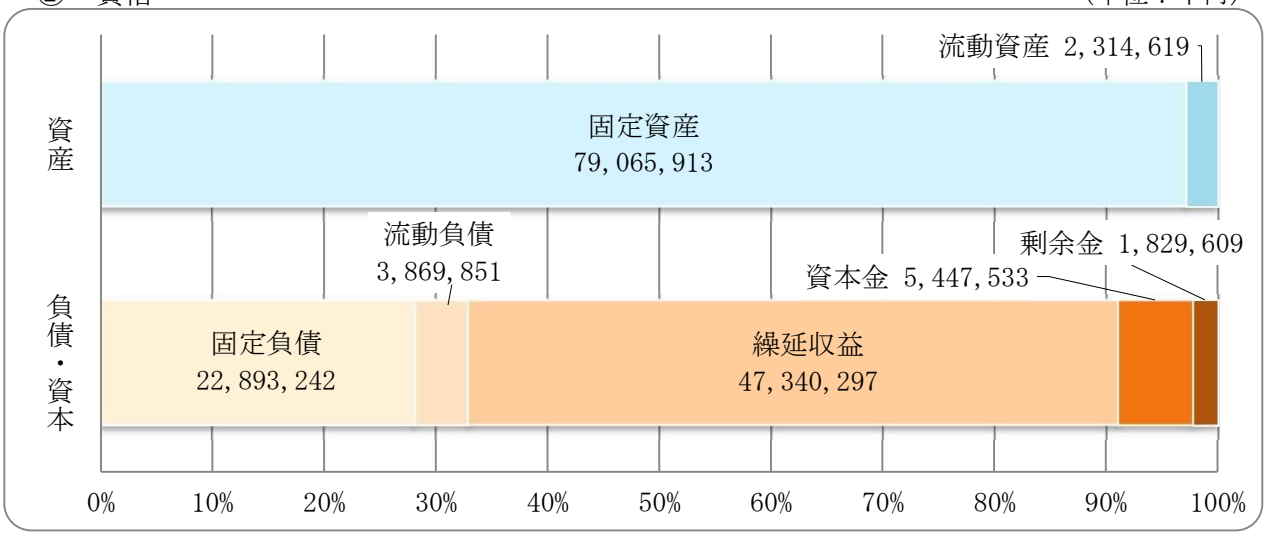
5　財　務　状　況

(1)　概況

①　損益　　（単位：千円）



②　貸借　　（単位：千円）



（注）①損益及び②貸借については、消費税及び地方消費税を含まない。

③　経営状況

収益的収支						資本的収支					
項目		令和3年度	令和4年度	増減額	増減率(%)	項目		令和3年度	令和4年度	増減額	増減率(%)
収入	百万円	4, 987	4, 966	△ 21	△ 0. 4	収入	百万円	3, 449	3, 356	△ 93	△ 2. 7
使用料収入	百万円	2, 138	2, 132	△ 6	△ 0. 3	企業債	百万円	1, 494	1, 320	△ 174	△ 11. 6
繰入金	百万円	763	700	△ 63	△ 8. 3	繰入金	百万円	958	1, 000	42	4. 4
支出	百万円	4, 449	4, 442	△ 7	△ 0. 2	支出	百万円	4, 738	4, 811	73	1. 5
支払利息	百万円	419	378	△ 41	△ 9. 8	建設改良費	百万円	2, 203	2, 325	122	5. 5
減価償却費	百万円	2, 850	2, 875	25	0. 9	元金償還金	百万円	2, 434	2, 386	△ 48	△ 2. 0
職員給与費	百万円	107	98	△ 9	△ 8. 4	収支差引	百万円	△ 1, 289	△ 1, 455	△ 166	△ 12. 9
収支差引	百万円	538	524	△ 14	△ 2. 6	純損益	百万円	538	524	△ 14	△ 2. 6

（注）収益的収支は消費税及び地方消費税を含まず、資本的収支は消費税及び地方消費税を含む。

(2)　比較損益計算書

科目	年度	令和２年度 金額（円）	構成比（%）	対前年比（%）
収益	営業収益	2,880,411,408	57.19	100.48
	下水道使用料	2,156,850,803	42.82	101.07
	他会計負担金	723,175,505	14.36	98.73
	その他営業収益	385,100	0.01	118.33
	営業外収益	2,155,965,614	42.79	97.46
	受取利息及び配当金	8,543	0.00	101.55
	他会計補助金	112,729,786	2.24	94.69
	県補助金	556,000	0.01	100.00
	長期前受金戻入	2,037,410,972	40.44	97.63
	雑収益	5,260,313	0.10	90.92
	特別利益	1,188,157	0.02	95.61
	過年度損益修正益	17,000	0.00	9.38
	その他特別利益	1,171,157	0.02	110.32
	合計	**5,037,565,179**	**100.00**	**99.16**
費用	営業費用	4,078,811,695	89.60	99.71
	汚水管渠費	62,163,848	1.36	86.26
	雨水管渠費	22,789,362	0.50	124.24
	汚水ポンプ場費	68,872,034	1.51	113.16
	雨水ポンプ場費	220,273,329	4.84	88.13
	処理場費	104,977,405	2.31	89.26
	普及促進費	88,990	0.00	114.83
	流域下水道費	545,581,412	11.98	100.57
	業務費	86,803,285	1.91	113.20
	総係費	116,356,670	2.56	136.34
	減価償却費	2,849,042,420	62.59	99.43
	資産減耗費	1,862,940	0.04	94.68
	営業外費用	472,214,729	10.38	90.13
	支払利息及び企業債取扱諸費	465,035,788	10.22	90.00
	雑支出	7,178,941	0.16	99.46
	特別損失	871,589	0.02	58.31
	過年度損益修正損	871,589	0.02	58.31
	合計	**4,551,898,013**	**100.00**	**98.61**
当年度純利益		**485,667,166**	**－**	**104.63**
当年度純損失		**－**	**－**	**－**

令　和　3　年　度			令　和　4　年　度		
金　　額 (円)	構 成 比 (%)	対前年比 (%)	金　　額 (円)	構 成 比 (%)	対前年比 (%)
2,795,842,981	56.07	97.06	2,729,605,158	54.97	97.63
2,138,490,962	42.89	99.15	2,131,632,563	42.92	99.68
657,075,869	13.18	90.86	597,173,995	12.03	90.88
276,150	0.00	71.71	798,600	0.02	289.19
2,189,694,781	43.91	101.56	2,234,806,487	45.00	102.06
8,380	0.00	98.09	8,900	0.00	106.21
105,904,155	2.12	93.95	102,629,800	2.07	96.91
556,000	0.01	100.00	556,000	0.01	100.00
2,077,301,796	41.66	101.96	2,126,009,671	42.81	102.34
5,924,450	0.12	112.63	5,602,116	0.11	94.56
944,570	0.02	79.50	1,710,886	0.03	181.13
0	0.00	－	35,400	0.00	－
944,570	0.02	80.65	1,675,486	0.03	177.38
4,986,482,332	**100.00**	**98.99**	**4,966,122,531**	**100.00**	**99.59**
4,021,812,548	90.40	98.60	4,055,965,904	91.33	100.85
86,492,607	1.94	139.14	77,626,938	1.75	89.75
39,592,519	0.89	173.73	22,040,570	0.50	55.67
59,592,226	1.34	86.53	59,000,101	1.33	99.01
181,829,907	4.09	82.55	199,362,766	4.49	109.64
115,072,161	2.59	109.62	123,826,012	2.79	107.61
50,555	0.00	56.81	100,855	0.00	199.50
484,709,135	10.90	88.84	506,250,660	11.40	104.44
90,923,256	2.04	104.75	94,037,700	2.12	103.43
112,247,299	2.52	96.47	81,280,791	1.83	72.41
2,850,380,684	64.07	100.05	2,874,843,985	64.72	100.86
922,199	0.02	49.50	17,595,526	0.40	1,908.00
425,383,767	9.56	90.08	384,239,782	8.64	90.33
419,125,959	9.42	90.13	377,821,449	8.50	90.15
6,257,808	0.14	87.17	6,418,333	0.14	102.57
1,541,621	0.04	176.87	1,595,522	0.03	103.50
1,541,621	0.04	176.87	1,595,522	0.03	103.50
4,448,737,936	**100.00**	**97.73**	**4,441,801,208**	**100.00**	**99.84**
537,744,396	**－**	**110.72**	**524,321,323**	**－**	**97.50**
－	－	－	－	－	－

（注）消費税及び地方消費税を含まない。

(3)　比較貸借対照表

科目＼年度	令和２年度 金額（円）	構成比（%）	対前年比（%）
固定資産	80,190,840,981	97.69	98.31
有形固定資産	74,402,768,657	90.64	98.42
土地	1,504,008,451	1.83	100.00
建物	1,558,750,564	1.90	96.07
構築物	67,342,395,764	82.04	99.97
機械及び装置	3,528,617,052	4.30	95.01
車両運搬具	6,333	0.00	100.00
工具、器具及び備品	39,577,016	0.05	81.96
建設仮勘定	429,413,477	0.52	31.88
無形固定資産	5,784,241,324	7.05	96.96
地上権	14,581,888	0.02	100.00
施設利用権	5,769,659,436	7.03	96.96
投資	3,831,000	0.00	100.00
出資金	3,831,000	0.00	100.00
その他投資	0	0.00	0.00
流動資産	1,896,239,703	2.31	85.01
現金預金	1,499,245,504	1.83	81.48
未収金	337,221,319	0.41	83.92
貸倒引当金	△ 17,627,120	△ 0.02	91.23
前払金	77,400,000	0.09	955.56
資産合計	**82,087,080,684**	**100.00**	**97.96**
固定負債	24,742,461,851	30.14	95.09
企業債	24,493,469,010	29.84	95.03
他会計借入金	200,000,000	0.24	100.00
引当金	48,992,841	0.06	106.51
退職給付引当金	48,992,841	0.06	106.51
流動負債	3,592,722,812	4.37	88.38
企業債	2,434,495,287	2.97	99.86
他会計借入金	100,000,000	0.12	100.00
未払金	1,005,038,701	1.22	66.82
未払費用	26,410,797	0.03	1,553.37
預り金	13,182,027	0.02	146.02
引当金	13,596,000	0.01	110.14
賞与引当金	11,384,000	0.01	110.01
法定福利費引当金	2,212,000	0.00	110.82
繰延収益	47,536,819,717	57.91	99.07
長期前受金	61,203,828,899	74.56	102.66
収益化累計額	△ 13,667,009,182	△ 16.65	117.45
負債合計	**75,872,004,380**	**92.42**	**97.19**
資本金	4,497,702,595	5.48	109.44
剰余金	1,717,373,709	2.10	106.04
資本剰余金	767,543,132	0.94	100.00
受贈財産評価額	258,387,575	0.32	100.00
他会計負担金	65,739,345	0.08	100.00
工事負担金	47,625,598	0.06	100.00
その他資本剰余金	395,790,614	0.48	100.00
利益剰余金	949,830,577	1.16	111.48
当年度未処分利益剰余金	949,830,577	1.16	111.48
資本合計	**6,215,076,304**	**7.58**	**108.48**
負債資本合計	**82,087,080,684**	**100.00**	**97.96**

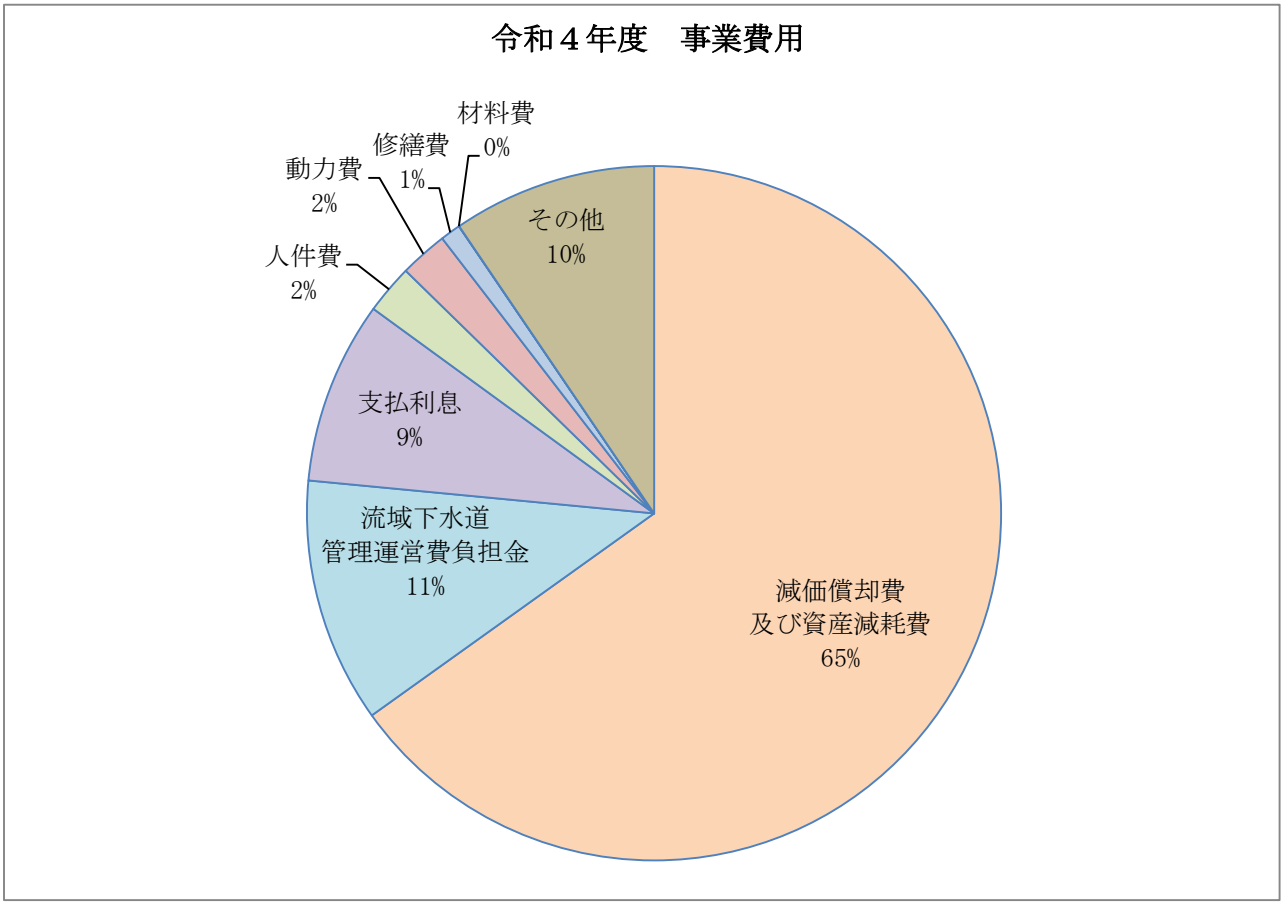
令　和　3　年　度			令　和　4　年　度		
金　　額 (円)	構 成 比 (%)	対前年比 (%)	金　　額 (円)	構 成 比 (%)	対前年比 (%)
79,826,924,625	96.61	99.55	79,065,913,390	97.15	99.05
74,239,571,487	89.85	99.78	73,679,905,496	90.53	99.25
1,504,008,451	1.82	100.00	1,504,008,451	1.85	100.00
1,576,169,690	1.91	101.12	1,586,569,514	1.95	100.66
67,037,892,904	81.13	99.55	66,373,003,933	81.56	99.01
3,250,647,441	3.93	92.12	3,129,331,038	3.84	96.27
6,333	0.00	100.00	1,013,963	0.00	16,010.78
31,582,869	0.04	79.80	25,551,974	0.03	80.90
839,263,799	1.02	195.44	1,060,426,623	1.30	126.35
5,583,522,138	6.76	96.53	5,382,170,934	6.62	96.39
14,581,888	0.02	100.00	14,581,888	0.02	100.00
5,568,940,250	6.74	96.52	5,367,589,046	6.60	96.38
3,831,000	0.00	100.00	3,836,960	0.00	100.16
3,831,000	0.00	100.00	3,831,000	0.00	100.00
0	0.00	0.00	5,960	0.00	0.00
2,801,556,270	3.39	147.74	2,314,619,009	2.85	82.62
2,290,317,635	2.77	152.76	1,897,274,632	2.33	82.84
382,359,777	0.46	113.39	372,197,083	0.46	97.34
△ 17,721,142	△ 0.02	100.53	△ 11,052,706	△ 0.01	62.37
146,600,000	0.18	189.41	56,200,000	0.07	38.34
82,628,480,895	**100.00**	**100.66**	**81,380,532,399**	**100.00**	**98.49**
23,855,340,092	28.87	96.41	22,893,242,119	28.13	95.97
23,601,349,306	28.56	96.36	22,633,950,866	27.81	95.90
200,000,000	0.24	100.00	200,000,000	0.25	100.00
53,990,786	0.07	110.20	59,291,253	0.07	109.82
53,990,786	0.07	110.20	59,291,253	0.07	109.82
4,362,070,585	5.27	121.41	3,869,851,566	4.75	88.72
2,386,019,704	2.89	98.01	2,287,298,440	2.81	95.86
100,000,000	0.12	100.00	100,000,000	0.12	100.00
1,821,462,369	2.20	181.23	1,454,679,897	1.79	79.86
22,713,487	0.03	86.00	1,749,664	0.00	7.70
17,870,025	0.02	135.56	12,440,565	0.02	69.62
14,005,000	0.01	103.01	13,683,000	0.01	97.70
11,726,000	0.01	103.00	11,442,000	0.01	97.58
2,279,000	0.00	103.03	2,241,000	0.00	98.33
47,658,249,518	57.68	100.26	47,340,296,691	58.17	99.33
63,400,276,970	76.73	103.59	65,192,065,654	80.11	102.83
△ 15,742,027,452	△ 19.05	115.18	△ 17,851,768,963	△ 21.94	113.40
75,875,660,195	**91.82**	**100.00**	**74,103,390,376**	**91.05**	**97.66**
4,961,866,006	6.01	110.32	5,447,533,172	6.69	109.79
1,790,954,694	2.17	104.28	1,829,608,851	2.26	102.16
767,543,132	0.93	100.00	767,543,132	0.95	100.00
258,387,575	0.31	100.00	258,387,575	0.32	100.00
65,739,345	0.08	100.00	65,739,345	0.08	100.00
47,625,598	0.06	100.00	47,625,598	0.06	100.00
395,790,614	0.48	100.00	395,790,614	0.49	100.00
1,023,411,562	1.24	107.75	1,062,065,719	1.31	103.78
1,023,411,562	1.24	107.75	1,062,065,719	1.31	103.78
6,752,820,700	**8.18**	**108.65**	**7,277,142,023**	**8.95**	**107.76**
82,628,480,895	**100.00**	**100.66**	**81,380,532,399**	**100.00**	**98.49**

（注）消費税及び地方消費税を含まない。

(4)　事業費用分析表

区分 ＼ 年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度	
		支出額 (円)	構成比 (%)	支出額 (円)	構成比 (%)	支出額 (円)	構成比 (%)
人件費	給料手当等	90,288,217	1.98	86,764,580	1.95	80,014,644	1.80
	退職給付費	29,496,027	0.65	28,083,768	0.63	6,111,821	0.14
	法定福利費	17,987,719	0.40	17,205,982	0.39	15,762,895	0.35
支払利息		465,035,788	10.22	419,125,959	9.42	377,821,449	8.51
減価償却費及び資産減耗費		2,850,905,360	62.63	2,851,302,883	64.09	2,892,439,511	65.11
動力費		63,335,700	1.39	68,723,228	1.54	99,063,033	2.23
修繕費		50,678,372	1.11	46,616,014	1.05	41,701,120	0.94
材料費		27,200	0.00	450,000	0.01	815,000	0.02
流域下水道管理運営費負担金		545,581,412	11.99	484,709,135	10.90	506,250,660	11.40
その他		438,562,218	9.63	445,756,387	10.02	421,821,075	9.50
合計		4,551,898,013	100.00	4,448,737,936	100.00	4,441,801,208	100.00

（注）消費税及び地方消費税を含まない。



(5)　比較資本的収支計算書

科目＼年度	令和２年度 (円)	令和３年度 (円)	令和４年度 (円)
企業債	1,153,400,000	1,493,900,000	1,319,900,000
他会計借入金	100,000,000	100,000,000	100,000,000
他会計負担金	39,875,881	65,596,269	50,680,048
他会計補助金	848,769,383	892,440,681	949,516,157
国庫補助金	658,456,735	813,680,207	806,444,671
負担金	147,904,370	83,272,340	129,353,080
収入合計	2,948,406,369	3,448,889,497	3,355,893,956
建設改良費	1,604,275,038	2,203,395,657	2,325,273,598
企業債償還金	2,437,986,279	2,434,495,287	2,386,019,704
投資	0	0	5,980
他会計借入金償還金	100,000,000	100,000,000	100,000,000
負担金返還金	0	0	41,870
支出合計	4,142,261,317	4,737,890,944	4,811,341,152
差引収支	△ 1,193,854,948	△ 1,289,001,447	△ 1,455,447,196

（注）消費税及び地方消費税を含む。

(6)　企業債

借入先	種類	未償還残高 (円)	構成比 (%)
財務省	政府債	6,536,553,296	26.23
日本郵政株式会社	政府債	3,705,599,027	14.87
地方公共団体金融機構	機構債	9,483,223,348	38.05
市中金融機関	縁故債	5,195,873,635	20.85
合計		24,921,249,306	100.00

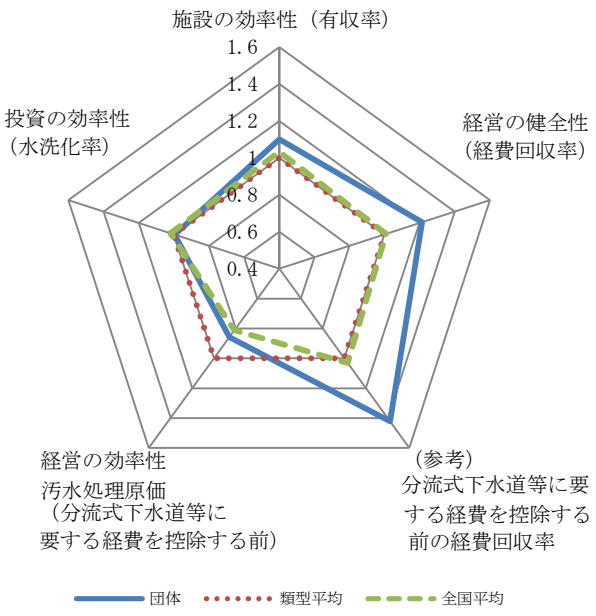
(7)　公共下水道事業比較経営診断表

出典：総務省　令和３年度下水道事業経営指標・下水道使用料の概要

項　　目		桑名市 令和３年度	桑名市 令和４年度	類型平均	全国平均（公共）
事業の概要					
事業別普及率	%	79.7	80.7	－	80.1
進捗率	%	85.9	87.1	96.9	96.2
一般家庭用使用料（１ヶ月20㎥当たり）	円	3,496	3,496	2,924	2,866
処理区域内人口密度	人/ha	45	45	42	60
施設の効率性					
施設利用率	%	61.5	68.5	67.6	62.3
有収率	%	85.0	85.7	77.8	80.4
水洗化率	%	94.4	93.5	94.0	95.7
経営の効率性					
使用料単価	円/㎥	195.7	195.8	160.5	134.4
汚水処理原価	円/㎥	164.5	163.3	162.4	134.8
汚水処理原価（分流式下水道等に要する経費控除前）	円/㎥	164.5	163.3	190.4	154.6
汚水処理原価（維持管理費）	円/㎥	84.2	83.8	80.0	72.2
汚水処理原価（資本費）	円/㎥	80.3	79.5	82.5	62.6
経費回収率	%	119.0	119.9	98.8	99.7
経費回収率（分流式下水道等に要する経費控除前）	%	119.0	119.9	84.3	86.9
経費回収率（維持管理費）	%	232.5	233.7	200.7	186.3
処理区域内人口１人当たりの管理運営費（汚水分）	円/人	16,149	15,825	16,625	14,509
処理区域内人口１人当たりの維持管理費（汚水分）	円/人	8,263	8,120	8,185	7,767
処理区域内人口１人当たりの資本費（汚水分）	円/人	7,886	7,705	8,440	6,743
職員１人当たりの処理区域内人口	人/人	4,840	4,883	3,728	3,948
職員給与費対営業収益比率	%	3.8	3.6	6.1	6.3

項　　目		桑名市 令和３年度	桑名市 令和４年度	類型平均	全国平均（公共）
財政状態の健全性					
総収支比率	%	112.1	111.8	108.8	108.3
経常収支比率	%	112.1	111.8	108.5	106.2
事業別資金不足比率	%	－	－	0.4	23.0
利子負担率	%	1.6	1.5	1.4	1.4
自己資本構成比率	%	65.9	67.1	59.2	62.9
固定資産対長期資本比率	%	102.0	102.0	101.8	101.3
処理区域内人口１人当たりの企業債現在高	千円/人	233	222	222	183

事業効率性の類型平均、全国平均との比較



※類型平均を１とした場合の類型平均及び全国平均との比較
※「経営の効率性」については、外側ほど効率性が高い（汚水処理原価が低い）

（注1）類型平均及び全国平均値は令和３年度
（注2）類型とは、処理区域内人口区分：10万人以上、有収水量密度区分：2.5千㎥/ha～5千㎥/ha、供用開始後年数区分：25年以上の団体

(8) 指標解説

① 事業の概要

	項目		指標解説	算出方法
1	普及率	(%)	下水道事業の整備状況を表しており、公共下水道事業としての普及率を示す。	処理区域内人口 / 行政区域内人口 ×100
2	進捗率	(%)	全体計画に対しての進捗状況を人口割合で表示。	処理区域内人口 / 全体計画人口 ×100
3	一般家庭使用料（1ヶ月20㎥当たり）	(円)	桑名市の場合、1期2ヶ月を料金基準としており、2ヶ月で40㎥を利用した場合の1ヶ月利用料で表示。	
4	処理区域内人口密度	(人/ha)	処理区域面積1haあたりの処理区域内人口を表す。	処理区域内人口 / 処理区域面積

② 施設の効率性

	項目		指標解説	算出方法
1	施設利用率	(%)	汚水処理施設がどの程度利用されているかを示す。	晴天時平均処理水量（㎥/日） / 晴天時処理能力（㎥/日） ×100
2	有収率	(%)	有収率が高いほど使用料徴収の対象とできない不明水が少なく、効率的であることを示す。	年間有収水量 / 年間汚水処理水量 ×100
3	水洗化率	(%)	処理区域内人口のうち、水洗便所を設置して汚水を処理している人口の割合。（公共下水道接続分）	水洗便所設置済人口 / 処理区域内人口 ×100

③ 経営の効率性

	項目		指標解説	算出方法
1	使用料単価	(円/㎥)	汚水（有収水量）1㎥当たりの使用料収入。	使用料収入 / 年間有収水量
2	汚水処理原価	(円/㎥)	汚水（有収水量）1㎥当たりに係る処理費用。	汚水処理費 / 年間有収水量
3	汚水処理原価（維持管理費）	(円/㎥)	汚水（有収水量）1㎥当たりに係る下水道施設の維持管理費。	汚水処理費（維持管理費） / 年間有収水量
4	汚水処理原価（資本費）	(円/㎥)	汚水（有収水量）1㎥当たりに係る資本費（減価償却費・企業債利息等）の金額。	汚水処理費（資本費） / 年間有収水量
5	経費回収率	(%)	汚水処理に要した費用に対する、使用料による回収程度を示す指標。	使用料収入 / 汚水処理費 ×100
6	経費回収率（維持管理費）	(%)	100%を下回った場合は、早急に経費の抑制と使用料の適正化を図る必要がある。	使用料収入 / 汚水処理費（維持管理費） ×100
7	処理人口1人当たりの管理運営費（汚水分）	(円/人)	管理運営費とは、下記2項目の維持管理費と資本費の合計。	管理運営費（汚水分） / 処理区域内人口
8	処理人口1人当たりの維持管理費（汚水分）	(円/人)	処理区域内人口1人当たりにかかっている維持管理費で、効率的な維持管理状況を判断する指標。	維持管理費（汚水分） / 処理区域内人口
9	処理人口1人当たりの資本費（汚水分）	(円/人)	資本費の内訳は、減価償却費と企業債利息等。	資本費（汚水分） / 処理区域内人口
10	職員1人当たりの処理区域内人口	(人/人)	職員一人当たりの処理区域内人口を表す。	処理区域内人口 / 職員数
11	職員給与費対営業収益比率	(%)	営業収益に対する職員給与費の割合で、営業収益が職員にどの程度分配されているかを示す。	職員給与費 / 営業収益－受託工事収益 ×100

④ 財政状態の健全性

	項目		指標解説	算出方法
1	総収支比率	(%)	総収益と総費用の比率を表し、100%未満であると総収支が赤字であることを示す。	総収益 / 総費用 ×100
2	経常収支比率	(%)	総収益、総費用からそれぞれ特別利益、特別損失を除く経常収支の比率で、100%未満であれば経常収支で赤字であることを表す。	経常収益 / 経常費用 ×100
3	事業別資金不足比率	(%)	公営企業の資金不足を料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示す。	資金不足額 / 営業収益－受託工事収益 ×100
4	利子負担率	(%)	利子負担率が高い場合、高金利の企業債を借入れており、経営圧迫の要因となる。	支払利息＋企業債取扱諸費 / 企業債・長期借入金＋一時借入金 ×100
5	自己資本構成比率	(%)	企業経営の安定度を図る指標で、一般的に100%に近いほど安定度が高いといえる。	資本金＋剰余金＋繰延収益 / 負債資本合計 ×100
6	固定資産対長期資本比率	(%)	事業の固定的・長期的な安全性を判断する指標で、100%以下で低いことが望ましい。	固定資産 / 資本金＋剰余金＋固定負債＋繰延収益 ×100
7	処理区域内人口1人当たりの企業債現在高	(千円/人)	処理区域内人口1人当たりの企業債残高を表す。	企業債現在高 / 処理区域内人口

6　農業集落排水事業

(1) 沿革

古野地区浄化センター

農村地域における混住化の進展、生活様式の高度化、農業生産様式の変化など農業及び農村地域を取り巻く状況の変化により、農業用用排水の汚濁が進行し農作物への影響や悪臭の発生など、生産環境及び生活環境に大きな影響を及ぼすようになってきました。

このため、農村地域における資源循環の促進を図りつつ、農業用用排水の水質保全、農業用用排水施設の機能維持及び農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与するため、農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水を処理するため、農業集落排水施設を整備し、生産性の高い農業の実現と活力ある農村社会の形成及び循環型社会の構築に努めています。

桑名市の農業集落排水施設は、旧桑名地区については平成５年度に工事着手した立田・太平農業集落排水処理施設、平成７年度に工事着手した嘉例川クリーンセンターが、それぞれ平成９年５月、平成11年５月に供用を開始しました。旧多度地区については、平成４年度に工事着手した多度北地区浄化センター、平成９年度に工事着手した美鹿地区浄化センター、平成11年度に工事着手した古野地区浄化センターが、それぞれ平成８年４月、平成13年３月、平成15年３月から供用を開始しましたが、多度北地区浄化センターは、令和３年度に公共下水道への接続替えを行ったことにより供用を終了しました。

(2) 普及状況

区分 ＼ 年度		令和２年度	令和３年度	令和４年度
処理区域	世帯数（世帯）	762	541	534
	人口 (a)（人）	2,052	1,413	1,362
水洗化	世帯数（世帯）	725	507	502
	人口 (b)（人）	1,974	1,352	1,304
水洗化率	(b／a)（%）	96.2	95.7	95.7

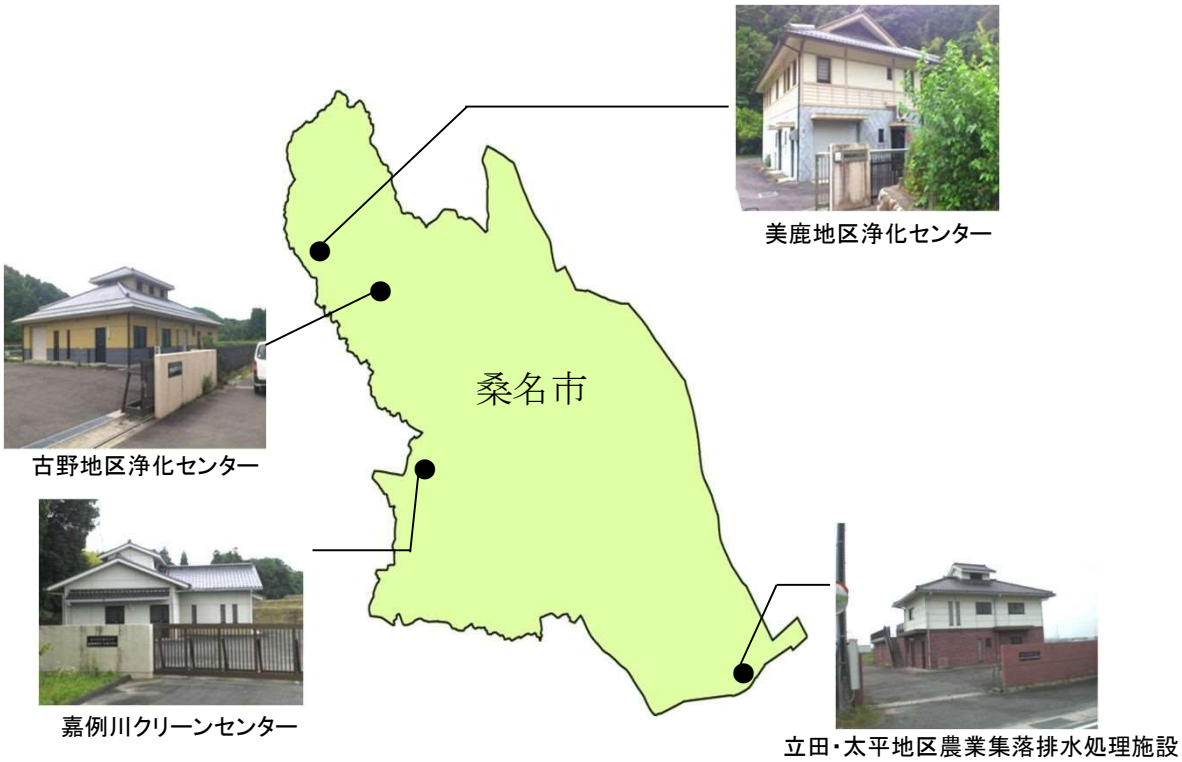
(3) 農業集落排水施設使用料

農業集落排水施設使用料は、下水道使用料の算出と同様となります。

(4)　施設概要

農業集落排水処理施設

	嘉例川クリーンセンター	立田・太平地区農業集落排水処理施設	美鹿地区浄化センター	古野地区浄化センター
竣工	平成10年	平成9年	平成13年	平成15年
所在地	桑名市大字嘉例川字小屋田292-1	桑名市大字太平町81-1	桑名市多度町美鹿471-1	桑名市多度町古野2219-1, 2219-2
敷地面積	1,189.39㎡	1,453.00㎡	1,194.81㎡	1,985.19㎡
処理区域面積	11.4ha	15.7ha	14.4ha	32.2ha
処理計画人口	680人	850人	430人	1,060人
処理方式	JARUS Ⅲ型	JARUS Ⅲ型	JARUS XIV型	JARUS XIV型
計画汚水量	184㎥／日	230㎥／日	117㎥／日	287㎥／日
ＢＯＤ	20mg／ℓ以下	20mg／ℓ以下	20mg／ℓ以下	20mg／ℓ以下
ＣＯＤ	30mg／ℓ以下	30mg／ℓ以下	40mg／ℓ以下	30mg／ℓ以下
ＳＳ	50mg／ℓ以下	50mg／ℓ以下	50mg／ℓ以下	50mg／ℓ以下
処理水放流先	嘉例川 ↓ いなべ川	農業用排水路 ↓ 新堀川 ↓ 揖斐川	田代川 ↓ 肱江川	立合川 ↓ 肱江川



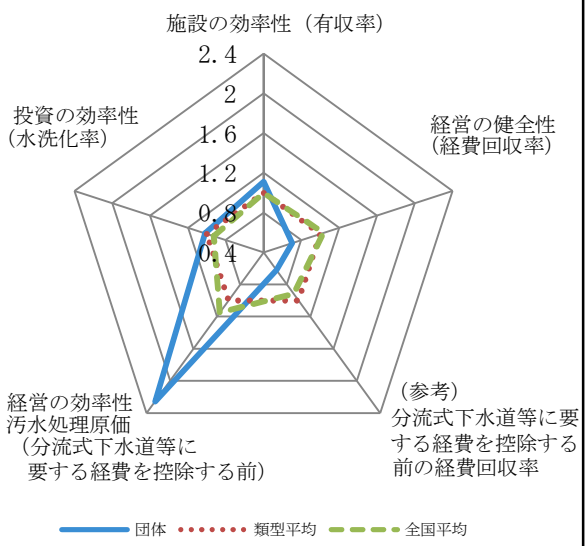
(5) 農業集落排水事業比較経営診断表

出典：総務省　令和３年度下水道事業経営指標・下水道使用料の概要

項目		桑名市 令和３年度	桑名市 令和４年度	類型平均	全国平均（農集）
事業の概要					
事業別普及率	%	1.0	1.0	－	5.1
進捗率	%	46.8	45.1	59.9	57.2
一般家庭用使用料（1ヶ月20㎥当たり）	円/月	3,496	3,496	3,258	3,296
処理区域内人口密度	人/ha	19	18	29	13
施設の効率性					
施設利用率	%	42.9	38.5	58.0	60.9
有収率	%	100.0	100.0	90.0	89.7
水洗化率	%	95.7	95.7	93.9	86.9
経営の効率性					
使用料単価	円/㎥	207.6	206.8	147.6	155.9
汚水処理原価	円/㎥	309.3	499.7	251.6	257.0
汚水処理原価（分流式下水道等に要する経費控除前）	円/㎥	640.9	954.5	423.1	486.5
汚水処理原価（維持管理費）	円/㎥	304.2	499.7	207.2	226.9
汚水処理原価（資本費）	円/㎥	5.1	0.0	44.4	30.1
経費回収率	%	67.1	41.4	58.7	60.7
経費回収率（分流式下水道等に要する経費控除前）	%	32.4	21.7	34.9	32.0
経費回収率（維持管理費）	%	68.3	41.4	71.3	68.7
処理区域内人口1人当たりの管理運営費（汚水分）	円/人	41,151	48,541	26,167	22,258
処理区域内人口1人当たりの維持管理費（汚水分）	円/人	41,151	48,541	21,547	19,655
処理区域内人口1人当たりの資本費（汚水分）	円/人	689	0	4,620	2,603
職員１人当たりの処理区域内人口	人/人	0	0	3,182	3,076
職員給与費対営業収益比率	%	0.0	0.0	12.4	12.8

項目		桑名市 令和３年度	桑名市 令和４年度	類型平均	全国平均（農集）
財政状態の健全性					
総収支比率	%	181.7	145.6	117.4	117.7
経常収支比率	%	87.3	73.7	90.4	95.4
事業別資金不足比率	%	－	－	106.6	73.1
利子負担率	%	－	－	1.7	1.8
自己資本構成比率	%	－	－	59.9	65.5
固定資産対長期資本比率	%	－	－	102.7	103.0
処理区域内人口１人当たりの地方債現在高	千円/人	282	243	314	323

事業効率性の類型平均、全国平均との比較



※類型平均を１とした場合の類型平均及び全国平均との比較
※「経営の効率性」については、外側ほど効率性が高い（汚水処理原価が低い）

（注1）類型平均及び全国平均値は令和３年度
（注2）類型とは、有収水量密度区分：2.5千㎥／ha以上5.0千㎥／ha未満、供用開始後年数25年以上の団体

経営状況

収益的収支 項目		令和３年度	令和４年度	増減額	増減率（%）
収入	百万円	125	114	△ 11	△ 8.8
料金収入	百万円	40	27	△ 13	△ 32.5
繰入金	百万円	85	81	△ 4	△ 4.7
支出	百万円	69	75	6	8.7
支払利息	百万円	10	9	△ 1	△ 10.0
減価償却費	百万円	－	－	－	－
職員給与費	百万円	0	0	0	0.0
収支差引	百万円	56	39	△ 17	△ 30.4

資本的収支 項目		令和３年度	令和４年度	増減額	増減率（%）
収入	百万円	22	62	40	181.8
地方債	百万円	0	5	5	－
繰入金	百万円	21	56	35	166.7
支出	百万円	78	101	23	29.5
建設改良費	百万円	4	28	24	600.0
元金償還金	百万円	74	73	△ 1	△ 1.4
収支差引	百万円	△ 56	△ 39	17	30.4
収支再差引	百万円	0	0	0	0.0

7　合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付

(1)　概要

衛生的な生活環境を実現するため、高度成長期からトイレの水洗化を目的とした単独処理浄化槽が普及しました。しかし、単独処理浄化槽では処理されないトイレ以外の炊事、洗濯、風呂等からの雑排水は、生活排水全体の有機汚濁のうち70%以上を占めるといわれています。水環境を守ることを目的として、平成13年から単独処理浄化槽の新設は禁止され、既に設置されている単独処理浄化槽の使用者はし尿と生活雑排水を併せて処理する合併処理浄化槽への転換に努めるものとされました。

桑名市においては、公共下水道及び農業集落排水認可区域外を対象として、し尿と生活雑排水によって生じる公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を目的として合併処理浄化槽設置者に対して補助金の交付を行っています。

①　事業の変遷

平成13年４月	合併処理浄化槽設置者への補助の開始 （下水道認可区域外・農業集落排水認可区域外）
平成25年４月	補助金限度額の変更
平成26年４月	補助金限度額の変更
平成28年４月	新築、増築または改築に伴う浄化槽補助の廃止

②　合併処理浄化槽設置補助金限度額

補助対象区域	下水道認可区域外・農業集落排水認可区域外	
設置対象建築物	10人槽以下	専用住宅・併用住宅

人槽区分	既存単独処理浄化槽を撤去し、合併処理浄化槽へ転換する場合	既存の単独処理浄化槽を撤去せずに合併処理浄化槽へ変更又はくみ取便槽から合併処理浄化槽へ転換する場合
５人槽	452,000 円	422,000 円
６～７人槽	534,000 円	504,000 円
８～10 人槽	668,000 円	638,000 円

併用住宅：主に居住の用に供する建築物又は延べ床面積の２分の１以上を居住の用に供する建築物

③　実績

平成27年度事業費	17,721千円（118基）	平成28年度事業費	7,932千円（ 18基）
平成29年度事業費	5,422千円（ 13基）	平成30年度事業費	4,418千円（ 10基）
令和元年度事業費	9,624千円（ 24基）	令和 2年度事業費	3,000千円（ 8基）
令和 3年度事業費	7,004千円（ 17基）	令和 4年度事業費	3,590千円（ 8基）

上下水道事業年報
令和４年度版

発　行　令和５年１０月
監　修　桑名市上下水道部　企画総務課
桑名市多度町多度一丁目１番地１
（電話）0594－ 49－2005
（FAX）0594－ 48－3585
（mail）kikakusm@city.kuwana.lg.jp
（URL）http://www.city.kuwana.lg.jp